



香川大学大学院医学系研究科

大学院ガイド2018

医学系研究科
【看護学専攻】修士課程

KAGAWA
UNIVERSITY

Graduate School
of Medicine

Major in Nursing Science

Master's
Course

医学系研究科看護学専攻（修士課程）教育理念

香川大学大学院医学系研究科看護学専攻（修士課程）は、生命と人間の尊重を基盤とし、保健医療、福祉及び社会の諸変化に柔軟に対応できる人材を育成することを目的としています。具体的には人々のQOL（Quality of Life）の向上を目指した科学的、実践的な課題解決ができる能力を有し、グローバルな視野で看護学の発展と人々の健康に寄与する研究を遂行できる人材の育成を目指します。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

香川大学大学院医学系研究科看護学専攻（修士課程）では、その教育理念に基づき、高い倫理観を基盤として、看護学に関する高度な専門的知識と研究能力を備え、その社会的責任を自覚して国内外の広範な看護実践及び看護教育に携わる高度専門職者を育成します。

本研究科を修了し、本学が送り出す修士（看護学）の身につけるべき能力・態度の到達基準は、次のとおりです。

①専門知識・理解

＊看護学に関する高度で実践的な専門知識と理論を理解・修得し活用できると共に、高度専門職者として幅広い知識と自らの専門性に立脚した見識を備えている。

②研究能力・応用力

＊看護現象について、科学的・論理的思考に基づき研究を計画及び遂行する能力と共に、その成果を発信し議論できる能力を備えている。

＊人々の健康に関連する諸課題の解決のため、研究や実践に基づいた専門的知識・技術の創造と開発に努め、看護学の発展に取り組むことができる。

③倫理観・社会的責任

＊看護専門職者として高い倫理観を持った上で、高度専門職者として自律的に行動の選択を行い、人々の健康な生活の実現に貢献する。その社会的責任を自覚し、自己の行動について根拠をもって説明できる能力を備えている。

④グローバルマインド

＊グローバルな視点で保健医療福祉及び社会の変化に柔軟に対応できる能力を備えている。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

香川大学大学院医学系研究科看護学専攻（修士課程）は、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を育成するために、3 分野 10 専門領域において、専門的研究の基盤となる基盤科目（5 科目 10 単位以上）、看護学の基礎的理論の知識を深める各専門領域特論（3 科目 6 単位）、自己の研究課題及び研究方法の明確化のための各専門領域別演習（1 科目 4 単位）と研究を遂行するための特別研究（10 単位）から構成される教育課程を編成・実施します。また多角的な意見を踏まえた研究計画書が作成できるように中間発表会があります。修了要件は、上記 30 単位以上の修得と必要な研究指導を受けた修士論文の審査及び最終試験に合格することです。講義科目はシラバスに明示された多様な形式、研究科目は主及び副指導教員により、大学院生一人ひとりの研究テーマと研究時間に柔軟に対応して行われます。

ディプロマ・ポリシーの各項目の達成は、以下に示す体系的教育をもって実現します。

①専門知識・理解

第 1・2 年次に配置された基盤科目により、看護の理論を学習し、またその教育方法及び管理に関する専門知識を理解・修得します。さらに、臨床科学に関する知見を深めます。引き続き開講する各看護学特論により、看護専門職者として活躍するために必要な幅広い専門の知識を身に付けます。

②研究能力・応用力

第 1 年次前期の基盤科目の「看護研究方法論 1 及び 2」により専門的研究実施の基礎的能力を修得します。後期には、専攻領域単位で行われる各専門領域別演習により自己の研究課題及びその研究方法の明確化を行い、研究計画書を作成します。多角的な意見を踏まえた研究計画書が作成できるように中間発表会で公開指導を受けます。さらに複数の教員の指導による「特別研究」において、自らの専門に関わる課題に対する研究を実施し、一定の結論を導き、これらを修士論文としてまとめることを通じて研究能力・専門応用能力を培います。

③倫理観・社会的責任

第 1 年次前期に開講される「看護倫理学」において、研究倫理、安全教育、情報リテラシー、知財など研究遂行にかかわる倫理だけでなく、看護専門職者として必要な看護倫理及び倫理的意思決定について系統的知識を身に付けます。さらに「看護管理学」において、看護専門職者として法的責任を理解するとともに社会的責任について自覚し、看護実践の質向上に貢献できる能力を培います。

④グローバルマインド

第1年次前期に開講される「国際看護学特論」では、文化の異なる諸外国の看護、その教育、実践、医療福祉政策における看護の役割について修得します。国際的視野に立って世界の看護・保健・医療・福祉の現状を理解し、柔軟に対応できる能力を培います。また、開設される全ての授業科目で適宜、英語文献を講読し、グローバルな視点に立って課題を探究できるスキルを培います。

以上の学修成果の評価は、基本的に講義科目では修得した知識の理解度並びに説明能力により、研究科目では知識・専門的技術を応用して研究を計画・実施できる能力の総合評価により、厳格な成績評価（5段階評価、GPAの活用）で行います。また修士論文は、本研究科の定める学位審査基準に基づき、本研究科で選出された審査委員（主査1名、副主査2名以上）により厳格な審査及び公開での修士論文発表会を実施し、学位論文としての合否判定を行います。

大学院医学系研究科看護学専攻（修士課程）

目 次

1 組織構成	1
2 専門領域および授業科目の概要	1
3 履修方法等	2
4 学位の授与	3
5 平成30年度 行事予定	4
6 平成30年度授業科目および担当教員一覧表	5
7 平成30年度授業時間割(初回授業日)	6
8 ディプロマ・ポリシー(DP)と水準・分野・DPコードについて	7
9 看護学専攻（修士課程）シラバス	8
10 修士論文の作成と提出	
1) 修士論文作成プロセス	55
2) 修士論文作成の要領	57
3) 提出書類・その他	60
4) 学位論文の製本表紙の作成要領	62
11 修士論文中間発表会実施要領	63
12 修士論文に係る医学部倫理委員会申請	63
13 学生生活支援について	64
14 学則・規程等	
香川大学大学院医学系研究科規程	67
香川大学大学院医学系研究科看護学専攻(修士課程)における入学前の既修得単位の認定に関する申合せ	75
香川大学大学院医学系研究科学位規則実施細則	76
香川大学大学院医学系研究科(修士課程)長期履修学生取扱細則	79

大学院医学系研究科看護学専攻(修士課程)

1 組織構成

本学の大学院医学系研究科は、医学部医学科を基盤とした博士課程（医学専攻）と医学部看護学科を基盤とした修士課程(看護学専攻)が設置されています。

看護学専攻（修士課程）は、基礎教育課程での教育研究を基盤とし、大学全体で蓄積した教育研究資源と大学が立地する地域を活用した教育研究を基盤として、看護学の専門性を深めるために、3分野（基礎看護学、臨床看護学、地域看護学）を設置しています。

看護学専攻の分野及び専門領域

分 野	専 門 領 域
基礎看護学	看護医科学
	基礎看護学
臨床看護学	急性期成人看護学
	慢性期成人看護学
	小児看護学
	母性看護学
	老年看護学
地域看護学	精神看護学
	在宅看護学
	地域看護学

2 専門領域および授業科目の概要

1) 専門領域

基礎看護学分野

看護医科学、基礎看護学の領域について教育を行います。最今、Evidence-based Nursing (EBN) が提唱され、看護の知識や技術に関する科学的な実証が不可欠となっています。基礎看護分野では EBN の実践に必要な知識や技術の習得を目指します。

(1) 看護医科学領域

看護医科学においては、看護や介護における医学的な疑問点を、科学的に探求し、その原因や解決法を見いだすための研究を行います。具体的にはアンケート調査や実験研究を中心とした講義、演習、研究を行います。

(2) 基礎看護学領域

基礎看護学は、人間・環境・健康とのかかわりの中で看護を科学的に探究するとともに看護に関する問題を検証し、課題の明確化を行います。さらに、対象の安全性と安楽性を科学的に実証した看護技術の実践への活用方法をはじめ幅広く関心のある看護のテーマについて探求します。

臨床看護学分野

急性期成人看護学、慢性期成人看護学、小児看護学、母性看護学及び老年看護学の領域について教育を行います。学部教育で得られた知識、技術及び深い倫理感を持って、さらに複雑な患者の状態、患者を取り巻く環境を客観的に分析、検討し、倫理と実践の関係を学習します。

(3) 急性期成人看護学領域

急性期成人看護学では健康危機の状況下におかれた対象者に適切な看護支援を提供するための基本となる知識・技術・態度について学びます。また、健康危機の状況下から回復過程にある対象者にはリハビリテーションを促進するための根拠に基づいた対象理解と看護実践を探求します。

(4) 慢性期成人看護学領域

慢性期成人看護学では、行動科学理論の基礎となる認知と行動の発達を学習し、成人の日常生活における人間らしさを科学的に理解します。また、慢性疾患療養過程の不確かさやその過程を軌跡としてとらえ、よりよい看護のあり方と方法を探求します。

これらのプロセスを通して、慢性期成人看護学領域の課題解決の方法と研究入門者としてのマナーや思考力を身につけられるよう支援します。

(5) 小児看護学領域

現代社会における小児と家族の問題について、医療、保健、福祉、教育などの側面から関連する学問分野の諸理論と看護への活用方法を学びます。さらに小児保健、母子保健などの観点から小児看護を検討します。また、小児と

家族に関する国内外の文献および研究論文をクリティークし、各自の研究課題を通して臨床での問題を解決し、看護実践の体系化、理論化を進め、研究能力と高度な臨床実践能力を養います。

(6) 母性看護学領域

女性の生涯を通じたリプロダクティブヘルス／ライツの視点から、生理的、心理・社会的な課題について、探求する能力を養います。具体的には、女性のライフサイクルにおける健康問題や臨床場面の問題について関連する理論を用いて分析し、自らの研究課題を明確にすることによって、女性とその家族の健康支援への貢献を目指して研究を進めていきます。

(7) 老年看護学領域

老年看護学の領域で看護実践において、対象自身の生活および生命の質が重要な問題となっています。対象の看護を行う上で必要な理論や実践について学習します。さらに、老年看護の対象が、疾患や障害の発症を人生の中の転機として捉え、それを自らの人生の中で意味づけ、全体的な存在として機能し、発達するための援助について探求します。

地域看護学分野

精神看護学、在宅看護学、地域看護学の領域について教育を行います。「病院完結型」から「地域完結型」医療への変化・対応が求められる昨今、住民の健康づくりや、病気と共存しながらQOLの維持・向上を目指し、住み慣れた地域や住まいでの生活を支える専門的知識を学修し、研究および実践のあり方を探求します。

(8) 精神看護学領域

精神の健康障害をもつ人への地域リハビリテーションや生活を支えるケア体制の充実が求められています。当事者を含む家族看護アプローチ、多職種連携によるケアシステムについて、既存理論の学修及び文献検討を通じて、各自のテーマを研究的に解決するための研究遂行力を養い、これからの時代を志向した精神看護学を探究します。

(9) 在宅看護学領域

在宅看護学に関連する理論モデルを学習し、在宅で暮らしている人々がより良い健康を保ち、その人らしい生活を送ることができるよう支援する能力を養います。在宅看護に関する諸制度と在宅ケアシステムを理解し、多様な職種と共に在宅療養者を支援するために、効果的な看護を探求します。講義や演習を通して、在宅看護に関する研究課題を見出し、研究計画を立て、自身の研究課題に沿った研究過程を体験します。

(10) 地域看護学領域

地域で生活するあらゆる人々の健康増進と疾患予防をめざす公衆衛生看護活動が効果的に実施できるよう、多様な理論を学びます。また、変化する時代背景と住民の健康課題、それらに対応する行政施策についても理解を深めます。

さらに、各自の研究課題への取り組みを通して、公衆衛生看護の研究および実践能力を養います。

2) 基盤科目

本学の目指す高度職業実践者として必要なケア実践能力、管理的能力及び看護を提供する場を改革するための研究方法に関する能力を修得するために、基盤科目として、理論看護学、看護倫理学、看護研究方法論1、看護研究方法論2、看護教育学、看護管理学、臨床科学、国際看護学特論、養護教育特論の9科目を開設しています。

各分野の授業科目と併せて学習することにより、効果的な教育が期待できます。

3 履修方法等

(1) 修業年限

修業年限は、2年を基準とします。

(2) 修了要件

次の区分により30単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえで、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

- i) 基盤科目5科目10単位以上
- ii) 専門科目のうち同一領域の特論・演習 6 単位
- iii) 専門科目のうち ii) の科目以外の特論を2科目4単位
- iv) 特別研究10単位
- v) 養護教諭専修免許の取得を希望する場合は養護教育特論を必修科目とする。

(3) 単位修得評価

成績評価は、次の基準で行います。

- 秀 : 90 点以上
- 優 : 80 点以上
- 良 : 70 点以上
- 可 : 60 点以上
- 不可 : 60 点未満

(4) 香川大学大学院医学系研究科看護学専攻（修士課程）における入学以前既修得単位認定について

入学前既修得単位の認定に関しては、別途定めます（「学則・規程」）。

4 学位の授与

学位は、修士(看護学)とします。修士の学位は、大学院(修士課程)に 2 年以上在籍し、授業科目について 30 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格した者に授与します。ただし、特に優れた研究業績を上げた者については、上記在学期間を 1 年以上とすることがあります。

5 平成 30 年度 行事予定

	月 日(曜日)	行 事 予 定	学位論文審査日程	対 象 者
前 期	4月3日(火)午前	入学式 (幸町キャンパス)		新入生
	4月3日(火)午後	図書館・事務ガイダンス (医学部キャンパス)		新入生
	4月10日(火)	履修・メディアガイダンス 上級生ガイダンス		新入生 上級生
	4月11日(水)～13日(金)	健康診断(午後)		新入生・上級生
	6月4日(月)～8日(金)		学位論文題目届受付(学務課へ)#	9月修了生
	7月2日(月)～6日(金)		一次審査論文提出(12:00学務課へ)	9月修了生
	7月9日(月)～17日(火)		一次論文審査期間	9月修了生
	7月31日(火)夕方		修士論文発表会準備	9月修了生
	8月1日(水)		修士論文発表会	9月修了生
	8月6日(月)		予備日(修士論文発表会)	9月修了生
	8月17日(金)		最終審査論文提出(主査へ)	9月修了生
	8月20日(月)～24日(金)		最終論文審査期間	9月修了生
	8月20日(月)～22日(水)		中間発表会題目届受付#	未発表者
	8月26日(日)	看護学科編入学試験		(入構禁止)
	8月30日(木)		学位論文提出(12:00学務課へ)	9月修了生
	*9月4日(火)		*修士論文中間発表会	未発表者
	9月15日(土)	看護学科NP育成入試		(入構禁止)
	9月末		学位授与・修了式	9月修了生
後 期	10月1日(月)			大学記念日(休業)
	10月5日(金)～7日(日)	医学部祭		
	11月12日(月)～16日(金)		学位論文題目届受付#	3月修了生
	12月10日(月)～21日(金)		一次審査論文提出(12:00学務課へ)	3月修了生
	1月4日(金)～1月11日(金)		一次審査論文審査期間	3月修了生
	1月18日(金)	センター試験準備		(午後休講)
	1月19日(土)～20日(日)	センター試験		(入構禁止)
	1月22日(火)		修士論文発表会準備	3月修了生
	1月23日(水)		修士論文発表会	3月修了生
	1月28日(月)～1月31日(木)		中間発表会題目届受付#	
	1月25日(金)		予備日(修士論文発表会)	3月修了生
	2月4日(月)		最終審査論文提出(主査へ)	3月修了生
	2月5日(火)～12日(火)		最終論文審査期間	3月修了生
	*2月14日(木)		*修士論文中間発表会	
	2月21日(木)		学位論文提出(12:00学務課へ)	3月修了生
	2月25日(月)	一般前期試験		
	3月24日(日)		学位授与・修了式	3月修了生

* 変更の可能性あり

#学務課対応時間17時まで

6 平成 30 年度授業科目および担当教員一覧表

科目 領域	授業科目	履修 年次	単 位	担当教員
基盤 科目	理論看護学*	1・2	2	前川 泰子、南 妙子、金正 貴美
	看護倫理学*	1・2	2	大森美津子、鈴木 智子、渡邊 久美、峠 哲男
	看護研究方法論 1*	1・2	2	谷本 公重、大森美津子、石上 悦子
	看護研究方法論 2*	1・2	2	市原 多香子、森永 裕美子、真鍋 芳樹
	看護教育学	1・2	2	清水 裕子、松井 妙子
	看護管理学	1・2	2	佐々木 睦子、前川 泰子
	臨床科学	1・2	2	峠 哲男、藤井 豊、筒井 邦彦
	国際看護学特論	1・2	2	谷本 公重、辻 京子
	養護教育特論	1・2	2	平成 30 年度休講
専門 科目	看護医科学特論	1	2	峠 哲男、藤井 豊、筒井 邦彦
	基礎看護学特論	1	2	前川 泰子、南 妙子
	急性期成人看護学特論	1	2	市原 多香子
	慢性期成人看護学特論	1	2	清水 裕子
	小児看護学特論	1	2	谷本 公重、鈴木 智子
	母性看護学特論	1	2	佐々木 睦子、石上 悦子
	老年看護学特論	1	2	大森 美津子
	精神看護学特論	1	2	渡邊 久美
	在宅看護学特論	1	2	松井 妙子
	地域看護学特論	1	2	森永 裕美子、辻 京子
	看護医科学演習	1	4	峠 哲男、藤井 豊、筒井 邦彦
	基礎看護学演習	1	4	前川 泰子、南 妙子
	急性期成人看護学演習	1	4	市原 多香子
	慢性期成人看護学演習	1	4	清水 裕子
	小児看護学演習	1	4	谷本 公重、鈴木 智子
	母性看護学演習	1	4	佐々木 睦子、石上 悦子
	老年看護学演習	1	4	大森 美津子
	精神看護学演習	1	4	渡邊 久美
	在宅看護学演習	1	4	松井 妙子
	地域看護学演習	1	4	森永 裕美子、辻 京子
研究 科目	特別研究	2	10	各指導教員

* 受講推奨科目

履修方法

- 1) 基盤科目 5 科目 10 単位以上
- 2) 専門科目のうち同一領域の特論・演習 6 単位
- 3) 専門科目のうち、上記 2) の科目以外の特論を 2 科目 4 単位
- 4) 研究科目 10 単位
- 5) 養護教諭専修免許の取得を希望する場合は、養護教育特論を必修科目とする

7 平成 30 年度授業時間割(初回授業日)

専攻	科目領域	授業科目	時間割(初回授業日)
看護学専攻	基盤科目	理論看護学*	水・金曜日 6・7 限目, 土曜日 (4/25 : 6 限目)
		看護倫理学*	基本木曜日 6・7 限目 (4/19 : 6 限目)
		看護研究方法論 1*	火曜日 6・7 限目 (4/17 : 6 限目)
		看護研究方法論 2*	火曜日 6・7 限目 (5/16(水) : 6 限目)
		看護教育学	月曜日 6・7 限目 (4/16 : 6 限目)
		看護管理学	集中講義
		臨床科学	集中講義 (4/10 : 7 限目)
		国際看護学特論	集中講義
		養護教育特論	H30 年度休講
	専門科目	看護医科学特論	木曜日(隔週)6・7 限目 (6/28 : 6 限目)
		基礎看護学特論	(7/6 : 6 限目)
		急性期成人看護学特論	(7/4 : 6 限目)
		慢性期成人看護学特論	(7/4 : 7 限目)
		小児看護学特論	木曜日(隔週)6・7 限目 (7/5 : 6 限目)
		母性看護学特論	月曜日 6・7 限目 (7/2 : 6 限目)
		老年看護学特論	履修希望を 6/1 までに担当教員に連絡し調整
		精神看護学特論	(7/10 : 6 限目)
		在宅看護学特論	履修希望を 6/1 までに担当教員に連絡し調整
		地域看護学特論	履修希望を 6/1 までに担当教員に連絡し調整

履修者数や社会人学生の勤務の都合により 2 回目以降の予定は変更の可能性があります。

履修希望の初回授業には必ず参加して、2 回目以降の授業予定を教員と相談して下さい。

基盤科目初回授業予定 : 4/10(火)～

基盤科目	6 限目	7 限目
4/16 (月)	看護教育学	
4/17 (火)	看護研究方法論 1	
4/19 (木)	看護倫理学	
4/25 (水)	理論看護学	
5/16 (水)	看護研究方法論 2	

(集中講義)

臨床科学 4/10 7 限目～
看護管理学 9/9 2 限目～
国際看護学特論 未定

専門科目(各領域特論)初回授業予定 : 6/28(木)～

専門科目	6 限目	7 限目
6/28(木)	看護医科学	
7/2(月)	母性看護学	
7/4(水)	急性期成人看護学	慢性期成人看護学
7/5(木)	小児看護学	
7/6(金)	基礎看護学	
7/10(火)	精神看護学	

※老年看護学特論、在宅看護学特論、地域看護学特論については履修希望を担当教員に連絡し、調整して下さい。

8. ディプロマ・ポリシー (DP) と水準・分野・DPコードについて

ディプロマ・ポリシー (DP) とは、大学毎に設定している修了認定・学位授与に関する方針 (修了までに身につけるべき能力) のことです。

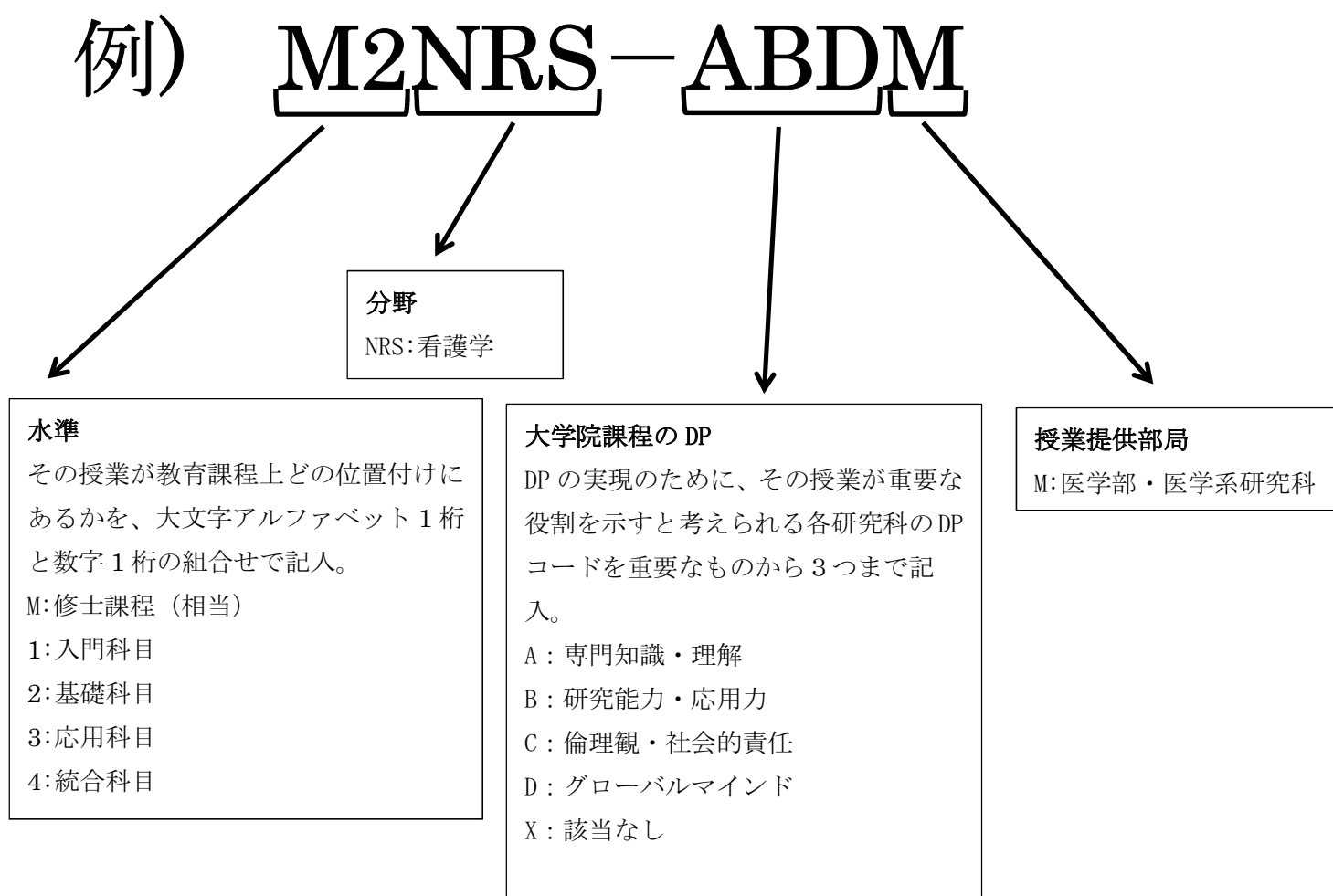
香川大学大学院医学系研究科修士課程看護学専攻のディプロマ・ポリシーの詳細は以下の通りです。

修士の学位は、大学院 (修士課程) に 2 年以上在籍し、授業科目について 30 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格した者に授与します。

ただし、特に優れた研究業績を上げた者については、上記在学期間を 1 年以上とすることがあります。医学系研究科看護学専攻修士課程で学位を授与された者は、下記の能力を持ちます。

1. 看護専門領域において高度で実践的な専門的知識および理論を活用できる能力 (DP コード : A)
2. 看護現象について科学的思考を用いて課題解決するための研究能力 (DP コード : B)
3. 高い倫理的感受性を持った上で解決困難な看護現象を解明できる能力 (DP コード : C)
4. グローバルな視点で保健医療福祉及び社会の変化に柔軟に対応できる能力 (DP コード : D)

DP コードは、その授業が実現に寄与する DP 項目を示すアルファベット (3 文字) と提供部局を示すアルファベット (1 文字) で構成されます。



9 看護学専攻(修士課程)シラバス

基盤科目

理論看護学	9
看護倫理学	10
看護研究方法論1	12
看護研究方法論2	14
看護教育学	15
看護管理学	16
臨床科学	17
国際看護学特論	18
養護教育特論	20

専門科目

看護医科学特論	21
基礎看護学特論	22
急性期成人看護学特論	23
慢性期成人看護学特論	25
小児看護学特論	27
母性看護学特論	29
老年看護学特論	30
精神看護学特論	32
在宅看護学特論	33
地域看護学特論	34
看護医科学演習	35
基礎看護学演習	36
急性期成人看護学演習	38
慢性期成人看護学演習	40
小児看護学演習	42
母性看護学演習	44
老年看護学演習	45
精神看護学演習	47
在宅看護学演習	49
地域看護学演習	51

研究科目

特別研究	53
------	----

ナンバリングコード 授業科目名（時間割コード：960011A） 理論看護学 Theoretical Nursing	科目区分	時間割 前期未定	対象年次及び専攻 医学系研究科
	水準・分野 M2NRS	DP・提供部局 ABCM	対象学生・特定プログラムとの対応
	授業形態 Lg	単位数 2	
	関連授業科目 看護研究方法論，各領域の看護学演習・特別研究		
担当教員名 前川 泰子，南 妙子，金正 貴美	履修推奨科目		
学習時間 講義・演習90分×15回			
授業の概要 理論看護では、研究の目的である理論の生成と検証をしていくために、看護領域における理論の考え方や知の構築方法について教授します。また、受講生にとって修士論文作成にあたり興味・関心のある中範囲理論について教授します。			
授業の目的 修士生が、研究の目的である理論生成や理論検証の「理論」の本質を知することは、その後の修士論文を遂行していくうえで重要である。理論について学ぶことで、看護の知識の構築方法、理論と研究デザインの関連について考えを深める（DPの「専門知識・理解」に対応）ことを目的とする。			
到達目標			学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 理論、概念、変数について説明できる。 2. 看護の知の構成要素が説明できる。 3. 看護領域に関連のある中範囲理論が説明できる。 4. 学習成果を効果的にプレゼンテーションできる。			
成績評価の方法と基準 1. テーマの応じたプレゼンテーション資料の作成と発表（50％） 2. テーマに対する議論の参加度（20％） 3. 最終課題レポート（30％）			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第1回 授業ガイダンス（前川・南・金正） 第2回 看護理論とは（前川・金正） 第3回 概念分析の考え方（金正・前川） 第4回 概念分析の方法（金正・前川） 第5回 サブストラクションの考え方（金正・前川） 第6回 中範囲理論1 看護における中範囲理論（南） 第7回 中範囲理論2 看護の基本姿勢、人間の成長発達に関する理論（南） 第8回 中範囲理論3 危機・ストレス、病気の体験に関する理論（南） 第9回 中範囲理論4 行動変容・行動強化、認識の変容に関する理論 中範囲理論の活用（南） （中範囲理論は院生が興味・関心のある理論を選択する。例えば、自己効力感成人学習理論、エンパワメント、トランスセオリティカル理論、ヘルスビリーフモデルなど） 第10回 看護学の基本的な知のパターン（前川・金正） 第11回 経験的知識の開発―説明することと構造化すること―（前川・金正） 第12回 看護の知の構築 経験知とは（前川・金正） 第13回 看護の知の構築 倫理知とは（前川・金正） 第14回 看護の知の構築 個人知とは（前川・金正） 第15回 看護の知の構築 審美知とは（前川・金正）			
教科書・参考書等 ペギー・L・チン、メオーナ・K・クレイマー著、川原由佳里監訳：看護学の統合的な知の構築に向けて、エルゼビア・ジャパン、2007 佐藤栄子著：中範囲理論入門―事例を通してやさしく学ぶ第2版、日総研出版、2009 参考書 なし			
オフィスアワー 前川：講義予定日の17:30～22:00 看護学科5階517研究室 南：講義予定日の17:30～22:00 看護学科5階515研究室 金正：講義予定日の17:30～22:00 看護学科3階317研究室			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 課題ならびに授業参加については、学生の主体的な参加を求めます。			

ナンバリングコード M1NRS-CBAM-40-Lg2 授業科目名 (時間割コード：960007) 看護倫理学 Nursing Ethics	科目区分	時間割 前期未定	対象年次及び専攻 1～医学系研究科
	水準・分野 M1NRS	DP・提供部局 CBAM	対象学生・特定プログラムとの対応 40
	授業形態 Lg	単位数 2	
担当教員名 大森 美津子, 渡邊 久美, 峠 哲男, 鈴木 智子	関連授業科目	看護研究方法論、各領域の看護学演習・特別研究	
	履修推奨科目		
学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 看護に携わるものは、日常的に倫理的問題に直面している。看護倫理は、そのような問題をどのように考え、意志決定するのかということについて学びを深める。まず、倫理、生命倫理、看護倫理の基本的な理論・原則について学び、臨床の倫理的判断、ケアの倫理、意志決定モデルについて学ぶ。そして、臨床における看護の倫理的問題について検討し、理解を深める。また看護研究を行う上で研究対象の人権擁護を行いながら、研究のプロセスを踏むための基本的な考え方を学び、これからの研究に必要な倫理的問題を検討する。			
授業の目的 医療における倫理の概念を概観し、倫理原則、倫理的問題解決法（DP の「倫理観・社会的責任」、研究上の倫理的課題（DP の「研究能力・応用力」等）について探求する。特に、看護における倫理的問題の解決を通して倫理的判断能力を養うとともに、看護の役割・責務について探求する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 医療における倫理の概念や倫理原則について説明できる。 2. 看護倫理の意志決定モデルについて説明できる。 3. 看護における倫理的問題について、倫理的判断を行うことができる。 4. 医療の倫理における看護の役割・責務について説明できる。 5. 研究上の倫理的課題について説明できる。			
成績評価の方法と基準 評価は、プレゼンテーションの内容、討論への参加、課題レポートにより行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 授業は、各自が興味のあるトピックスを選択し、プレゼンテーションを行います。その後、各発表に対するディスカッションを行います。教員はディスカッションのファシリテーターとアドバイザーとなります。			
第1回	オリエンテーション、倫理の基本的な考え方	大森	
第2回	倫理の原則と重要概念	大森	
第3回	倫理的問題の検討法、ケアの倫理	大森	
第4回	高齢者の倫理的問題の検討	大森	
第5回	看護倫理のための意志決定モデル ステップ1-5	鈴木	
第6回	看護倫理のための意志決定モデル ステップ6-10	鈴木	
第7回	小児の倫理的問題	鈴木	
第8回	小児の倫理的問題の検討	鈴木	
第9回	看護研究における倫理的問題の検討1 看護と科学・研究についての諸問題	渡邊	
第10回	看護研究における倫理的問題の検討2 研究参加者の保護に関する歴史的変遷	渡邊	
第11回	看護研究における倫理的問題の検討3 看護研究論文における倫理的配慮のクリティーク 1	渡邊	
第12回	看護研究における倫理的問題の検討4 看護研究論文における倫理的配慮のクリティーク 2	渡邊	
第13回	看護研究における倫理的問題の検討5 研究公表に関する倫理的配慮	渡邊	
第14回	看護研究の倫理審査について	峠	
第15回	看護倫理に関する学びのまとめ	大森・峠・渡邊・鈴木	
教科書・参考書等 [教科書] Joyce E, Thompson, Hery O 他、ケイコ・キシ・イマイ他訳：看護倫理のための意志決定 10 のステップ、看護協会出版会、2004、3、150円、書籍部 [参考書] サラ・フライ著、片田範子他訳(2010)、看護実践の倫理 第3版、医学書院、2、376円、書籍部 アン I. デーヴィス監修、看護倫理 理論・実践・研究、日本看護協会出版会、2004、3、150円			

ジョンセン他著、赤林他監訳（2006）、臨床倫理学、新興医学出版、3,000円 その他の図書については適宜紹介する。
オフィスアワー 月曜日17時から18時30分
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 倫理に関する感性を高めるために、日常に疑問を持ち、授業に望んで欲しい。また、研究については、研究のプロセスなど、研究計画について少し考えている方が望ましい。

ナンバリングコード M1NRS-BACM-40-Mg2 授業科目名 (時間割コード：960012) 看護研究方法論 1 Methodology of Nursing Research I (Foundation of Nursing Research, Qualitative study)	科目区分	時間割 前期未定	対象年次及び専攻 医学系研究科
	水準・分野 M1NRS	DP・提供部局 BACM	対象学生・特定プログラムとの対応 40
	授業形態 Mg	単位数 2	
担当教員名 谷本 公重, 大森 美津子, 石上 悦子	関連授業科目	看護研究方法論 2	
	履修推奨科目	看護倫理学 理論看護学	
学習時間 授業・演習90分×15回 + 自学自習			
授業の概要 修士論文を作成するにあたり、論文を読む能力と論文を書くために必要な基本的な知識について学ぶ。まずは看護研究の概要について教授し、次に質的なアプローチを教授する。看護実践の中から生まれる研究疑問を、研究論文としてまとめるための知識体系を発展させる基礎能力の涵養を目指す。			
授業の目的 1) 看護実践の中から生まれる研究疑問を明確化し、研究テーマを絞り込み、研究方法を選択し、研究計画書を作成して実践するといった基本的な研究プロセスを理解する (DPの「専門知識・理解」に対応)。 2) 研究に欠かせない文献検索や論文のクリティークについて理解し、研究の演習に活用する。 3) 研究テーマと質的研究の関係について理解を深める。 4) 質的研究方法と研究手法について理解し、自己の研究テーマに沿った研究手法の選択に活用する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 看護研究のめざすものおよび研究のプロセスについて説明することができる。 2) 研究に必要な文献を検索することができる。 3) 質的なアプローチの研究の具体について説明することができる。 4) 研究テーマに沿った研究方法と進め方について説明することができる。			
成績評価の方法と基準 講義の参加度、課題発表内容と提出レポートに基づき、総合的に評価する			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
講義、演習、グループワーク、プレゼンテーションを取り入れながら行うが、個々の研究テーマに基づき、具体的に学びを深めることが望ましい。			
第1回	看護研究方法論 1 のガイダンス	谷本	
第2回	看護研究とは	谷本	
第3回	研究デザインとプロセスの概要 ・看護実践の中から生まれる研究疑問を科学的な看護研究とするために必要な考え方やプロセスを学ぶ		
第4回	看護研究と文献検索・文献検索演習 1 ・研究にとって欠かせない文献検索方法を演習を通して理解する ・データベース紹介、医学中央雑誌検索方法、CiNii検索方法	谷本	
第5回	論文のクリティーク	谷本	
第6回	看護研究と文献検索・文献検索演習 2 ・学外文献申し込み方法、Mendeley利用方法、文献検索演習	谷本	
第7回	研究の概念枠組みとサブストラクション	谷本	
第8回	看護領域における質的研究	石上・大森	
第9回	質的研究方法論の概略について学ぶ	石上・大森	
第10回	質的研究におけるデータ収取方法	石上・大森	
第11回	主な質的研究方法と研究手法 グラウンデッド・セオリー	石上・大森	
第12回	主な質的研究方法と研究手法 現象学	大森・石上	
第13回	主な質的研究方法と研究手法 エスノグラフィー	大森・石上	
第14回	質的研究の質の確保	大森・石上	
第15回	看護研究へ向けてディスカッション	大森・石上	

自己学習

- 第2回 授業資料を読み復習する
- 第3回 研究になる看護実践の中の疑問を考える
- 第4回 演習問題を解く
- 第5回 提示された文献をクリティークする
- 第6回 演習問題を解く
- 第7回 提示された論文の概念枠組みとサブストラクションを考える
- 第8回 看護領域における質的研究を文献をもとに考える
- 第9回 質的研究に特有な名称と方法の概略を知る
- 第10回 インタビューと参与観察の方法を具体的に考える
- 第11回 グラウンデッド・セオリーについて文献をもとに考える
- 第12回 現象学について文献をもとに考える
- 第13回 エスノグラフィーについて文献をもとに考える
- 第14回 質的研究の質の確保について、文献を読み、具体的に考える
- 第15回 質的研究の特徴を踏まえて、研究方法の選択について考える

教科書・参考書等

教科書

- 1. グレグ美鈴他編：よくわかる質的研究の進め方・まとめ方 第2版，医歯薬出版，2016. 3, 780円
- 2. 谷津裕子：Start Up 質的看護研究，学研.

参考書

- 1. D. H. ポリット，B. P. ハングラー、監訳 近藤潤子：看護研究 原理と方法，医学書院，2007.
- 2. P. J. Brink, Wood、小玉香津子・輪湖史子訳：看護研究計画書作成のステップ，日本看護協会，1999
- 3. 北素子、谷津裕子：質的研究の実践と評価のためのサブストラクション，医学書院，2009
- 4. ホロウエイ，S. ウイラー，野口美和子監訳：ナースのための質的研究入門 第2版，医学書院、2008.
- 5. 戈木クレイグヒル滋子：質的研究方法ゼミナール グランデッドセオリー・アプローチを学ぶ
増補版，医学書院，2008
- 6. 山本則子，萱間真美 他：グランデッドセオリー法を用いた看護研究のプロセス，文光堂，2005.
- 7. 木下康仁：ライブ講義M-GTA実践的質的研究法 修正版グランデッドセオリー・アプローチのすべて，弘文堂，2007.
- 8. 木下康仁：M-GTA グランデッドセオリーアプローチの実践 質的研究への誘い，弘文堂，2003.
- 9. 木下康仁：M-GTA 分野別実践編 グランデッドセオリーアプローチ，弘文堂，2005.

オフィスアワー 講義修了後1時間

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

自ら積極的に学び、自らの研究において実践するといった姿勢で臨むこと。

ナンバリングコード M1NRS-BACM-40-Mg2 授業科目名 (時間割コード：960013) 看護研究方法論 2 Methodology of Nursing Research II	科目区分	時間割 前期未定	対象年次及び専攻 医学系研究科
	水準・分野 M1NRS	DP・提供部局 BACM	対象学生・特定プログラムとの対応 40
	授業形態 Mg	単位数 2	
担当教員名 市原 多香子, 森永 裕美子, 真鍋 芳樹	関連授業科目	看護研究方法論 I	
	履修推奨科目	看護倫理学、理論看護学	
学習時間 授業90分×15回+自学自習			
授業の概要 看護領域では研究対象により研究方法が多岐にわたります。修士論文作成に必要な看護研究の概要について、看護研究方法論1において習得した後、看護研究方法論2が始まります。看護研究方法論2では、量的なアプローチによる研究の方法を概説します。とくに、量的研究の手法を紹介し、統計学的な手法を用いた論文を理解する力や、収集したデータを適切に分析する基礎的能力の涵養を目指します。			
授業の目的 1. 研究課題に基づき研究方法を選択し、量的研究に関する基本的な研究方法を理解する (DPの「専門的知識・理解力」に対応)。 2. 研究に必要な統計知識を学び、量的データの統計処理方法と結果のまとめ方を身に付ける (DPの「課題解決する能力」に対応)			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 量的研究の対象となる範囲の方法論を学び、データの性質や扱い方について説明できる。 2. 演習に使用する量的研究の文献を検索することができる。 3. 演習ではアンケート調査を実施することができる。 4. 演習では研究目的に応じた分析手法を選択し、結果としてまとめることができる。			
成績評価の方法と基準 グループワークへの参加度、アンケート用紙の作成と実施、成果報告より総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
量的看護研究と統計に関する講義やグループワークにより展開します。 そのため、自学自習による準備・学習を求めます。			
第1回 ガイダンス 第2回 量的研究方法とは 市原 第3回 調査の枠組み・調査対象者の検討 市原、森永 第4回 アンケートの作成 市原、森永 第5回 アンケート調査の実施 市原、森永 第6回 統計学的アプローチとは 真鍋 第7回 記述統計、分析統計的アプローチ 真鍋 第8回 二群の比較 真鍋 第9回 多群の比較 真鍋 第10回 相関と回帰 真鍋 第11回 主成分分析と因子分析 真鍋 第12回 データ入力 市原、森永 第13回 統計ソフトを用いて分析：記述統計 市原、森永 第14回 統計ソフトを用いて分析：統計解析 市原、森永 第15回 結果として図表の作成 市原、森永			
教科書・参考書等 教科書 なし 参考書 近藤潤子監訳 看護研究 原理と方法 医学書院 南裕子編集 看護における研究 日本看護協会出版会 小笠原知枝・松木光子編集 これからの看護研究基礎と応用 NOUVELLE HIROKAWA 石村 貞夫著 SPSSによる医学・歯学・薬学のための統計解析 東京図書 高木廣文著 エビデンスのための看護研究の読み方・進め方 中山書店 演習の進捗度に合わせて適宜紹介します。			
オフィスアワー 講義終了後1時間			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 自ら積極的に学び、自らの研究において実践する姿勢で臨んでください。			

ナンバリングコード M2NRS-cabM-40-Mp2 授業科目名 (時間割コード：960003) 看護教育学 Nursing Education	科目区分	時間割 前期未定	対象年次及び専攻 1～医学系研究科
	水準・分野 M2NRS	DP・提供部局 ACBM	対象学生・特定プログラムとの対応 40
	授業形態 Lg	単位数 2	
担当教員名 清水 裕子, 松井 妙子	関連授業科目	看護研究方法論 看護倫理学	
	履修推奨科目	看護研究方法論 看護倫理学	
学習時間 授業90分×15回 + 自学自習			
授業の概要 看護学教育の概要を学び、看護教育学研究の課題について研究する。教育の基本要素である目標、計画、評価と、看護教育の特徴である講義から臨床教育までの実施方法を理解する。また、PBL (Problem based learning)、TBL(Team based learning)、Simulated Patient、OSCEを実際に体験し、方法を理解する。			
授業の目的 本授業は、医療機関などにおいて学生や現任者に指導・助言する立場にある看護師・保健師・助産師、養護教諭あるいは看護学の教育研究活動に従事するための基礎となる学科目であり、院生が、それぞれの現場で教育的役割を果たすための意義や方法を学ぶことを目的とする。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 看護学および看護教育学の歴史を概観し、説明できる。 2. 看護学における教育制度・課程、教育評価、指導者養成、生涯教育などについて、概要を説明できる。 3. 看護実践の現場における現任者と実習生に対する 教育的役割の課題と方法が説明できる。 4. 現状の看護の臨床および教育現場に対する問題解決方法を説明できる。			
成績評価の方法と基準 参加度、取り組み態度、プレゼンテーションなど総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
授業計画			
第1回	ガイダンス・日本の看護教育制度・教育課程		松井
第2回	看護学教育方法―授業と演習		松井
第3回	看護学教育方法―実習計画と実習指導		松井
第4～5回	問題基盤型学習(Problem Based Learning)		松井
第6～7回	看護における評価―学習と実践において		清水
第8～9回	スモールグループ法とチーム基盤型学習 (Team Based Learning)		清水
第10～11回	シミュレーション学習―模擬患者 (SP:Simulated Patient) 活用		清水
第12～13回	臨床看護実践能力試験 (OSCE : Objective Structured Clinical Examination)		清水
第14～15回	看護学における教育的課題		清水
【自己学習へのアドバイス】 院生各自がレジュメを準備し、討論形式で行う場合と演習を行う場合がある。			
教科書・参考書等 杉森みどり編著 看護教育学 最新版、医学書院 安永 悟著 (2012) 活動性を高める授業づくり、医学書院 糸賀暢子他著 (2017) 看護教育のためのパフォーマンス評価、医学書院 五十嵐ゆかり編 (2016) 看護にTBL、医学書院 rink著、小玉香津子他訳 (1999) , 「看護研究計画書作成のステップ」日本看護協会出版会、3,465円、書籍部にて購入 ポーリット・ハングラー著、近藤潤子他訳 (1994)、看護研究原理と方法、医学書院、11,807円			
オフィスアワー 授業日の午後 メールで対応する			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 履修上の注意・担当教員からのメッセージ 各自の進行状況に応じて、相談に応じます。			

ナンバリングコード M2NRS-ACBM-40-Lg2 授業科目名 (時間割コード：960004) 看護管理学 Nursing Management	科目区分	時間割 前期未定	対象年次及び専攻 1～医学系研究科
	水準・分野 M2NRS	DP・提供部局 ACBM	対象学生・特定プログラムとの対応 40
	授業形態 Lg	単位数 2	
担当教員名 佐々木 睦子, 前川 泰子	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分（講義＋演習）×15回 ＋自学自習			
授業の概要 看護管理に必要な知識体系について実践と関連づけて講義するとともに、看護サービスの質向上や安全管理、効率的で効果的な看護管理について解説する。			
授業の目的 看護管理に必要な知識体系について、各自の実践現場と関連づけて理解するとともに、看護サービスの質向上や安全管理、効率的で効果的な看護管理が実践できるように演習を通して理解する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 組織とは、看護組織論について説明することができる。 2) 看護サービスと資源のマネジメントについて具体的に述べることができる。 3) リスクマネジメントと医療安全について説明することができる。 4) 看護管理者論とこれからの看護管理のあり方について述べることができる。			
成績評価の方法と基準 課題レポートの提出およびプレゼンテーション、授業への貢献度を総合して行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 講義形式と適宜課題のプレゼンテーションを取り入れて展開します。			
第1回 ガイダンス・看護組織論 (佐々木) 第2回 看護管理者における倫理 (佐々木) 第3回 看護管理における情報 (前川) 第4回 看護管理における情報活用 (前川) 第5回 全人的ケアとチーム医療の取り組み (前川) 第6回 看護管理における人材育成・リフレクション、キャリア支援 (前川) 第7回 リスクマネジメントと医療安全 (佐々木) 第8回 看護管理者における倫理と法的責任、コンプライアンス (佐々木) 第9回 セーフティマネジメントの視点から何をどのように マネジメントするのか (佐々木・前川) 第10回 セーフティマネジメントの視点から何をどのように マネジメントするのか演習 (テーマ選定) (佐々木・前川) 第11回 セーフティマネジメントの視点から何をどのように マネジメントするのか演習 (文献検討) (佐々木・前川) 第12回 セーフティマネジメントの視点から何をどのように マネジメントするのか演習 (内容分析) (佐々木・前川) 第13回 セーフティマネジメントの視点から何をどのように マネジメントするのか演習 (内容まとめ) (佐々木・前川) 第14回 演習内容発表 ・討議 (佐々木・前川) 第15回 これからの看護管理の課題と展望 (佐々木・前川)			
教科書・参考書等 参考書 P. ハーシィ, K・H・ブランチャード, D・E・ジョンソン/山本成二, 山本あづさ訳(2013)：行動科学の展開 新版 人的資源の活用, 生産性出版			
オフィスアワー 随時			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 主体的に受講することを期待します。			

ナンバリングコード M1NRS-ABXM-40-Mg2 授業科目名 (時間割コード：960005) 臨床科学 Clinical Science	科目区分	時間割 前期未定	対象年次及び専攻 1～医学系研究科
	水準・分野 M1NRS	DP・提供部局 ABXM	対象学生・特定プログラムとの対応 40
	授業形態 Mg	単位数 2	
担当教員名 峠 哲男, 藤井 豊, 筒井 邦彦	関連授業科目	看護医科学特論	
	履修推奨科目	特になし	
学習時間 授業90分×15回＋自学自習			
授業の概要 近年の医学の進歩は目覚ましく、遺伝子医学、再生医学や生殖医学に代表される新たな道を歩みつつある。臨床科学の講義では、担当教員の専門領域である神経難病・脳神経科学、消化器病学、ウイルス感染症の分野における最新トピックスを紹介するとともに、看護職が看護ケアを実践し看護研究を進めていく上で必要な種々の疾患の病態生理、診断、治療に関する最新の医学情報を提供する。			
授業の目的 目覚ましく進歩・発展を遂げる医学を理解するためには、医学を支えるものの考え方と、その基礎に立脚した医学研究の進め方を学ぶことが大切である。神経学、消化器学、ウイルス感染症の各分野の疾患及びその研究事例を通して、医学における科学的ものの考え方、研究の進め方を身につけ（a, b）、的確な看護実践に役立てることを目標とする。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 自己免疫性神経疾患の病態生理と治療の概要の理解を促す。 2) パーキンソン病等の神経変性疾患の臨床と研究の現状について理解を促す。 3) ヒトの生理学的実験方法について、演習を通じて理解を促す。 4) 最新の消化器病学の知見の理解を促す。 5) ウイルスとは何かを説明できる。 6) ワクチンによる予防のメカニズムを説明できる。 7) 様々なウイルス感染症を説明できる。 8) 研究に必要な情報セキュリティについて説明できる。			
成績評価の方法と基準 授業への貢献、参加態度、レポートから総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
1 回	研究のための情報セキュリティ	筒井	
2 回	自己免疫性神経疾患の病態生理と治療	峠	
3 回	パーキンソン病と関連疾患の臨床と研究事例	峠	
4 回	ヒトの生理学的実験法の演習(つまみ筋力の測定)	峠	
5 回	ヒトの生理学的実験法の演習(つまみ筋力に影響を与える因子)	峠	
6 回	ヒトの生理学的実験法の演習(正常者とパーキンソン病のつまみ筋力の比較)	峠	
7 回	肝障害の基礎と臨床	筒井	
8 回	ウイルス性肝炎の現状	筒井	
9 回	最近の内視鏡的治療	筒井	
10 回	糖尿病と消化器疾患	筒井	
11 回	ウイルスとは何か	藤井	
12 回	ウイルスのライフサイクル	藤井	
13 回	ワクチンによる予防	藤井	
14 回	様々なウイルス感染症 1 (インフルエンザ)	藤井	
15 回	様々なウイルス感染症 2 (エマージングウイルス)	藤井	
教科書・参考書等 参考書 実証研究の手引き、古谷野亘、長田久雄著、ワールドプランニング、2014、1270円（講義・演習では教科書は使用しないが、参考書と使用するので可能なら購入のこと） 医科ウイルス学、高田賢蔵著、南江堂、2009、9180円（詳しく勉強したい人のための参考書）			
オフィスアワー 月曜日、木曜日午後6時以後			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 講義日程については随時相談に応じます。			

ナンバリングコード M1NRS-DCAM-40-Lx2 授業科目名 (時間割コード：960006) 国際看護学特論 Grobal Nursing Theories	科目区分	時間割 前期未定	対象年次及び専攻 1～医学系研究科
	水準・分野 M1NRS	DP・提供部局 DCAM	対象学生・特定プログラムとの対応 40
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 谷本 公重, 辻 京子 近藤 麻理, 柴崎 三郎	関連授業科目		
	履修推奨科目 看護研究方法論 1、看護研究方法論 2、看護倫理学		
学習時間 講義90分×15回+自学自習			
授業の概要 経済のグローバル化、国際間の移動手段と情報の発達に伴い、人間の活動は国境を越えて拡大している。また、地球温暖化やそれぞれの国や地域で起こっている紛争なども自分たちを安全地帯において考えるわけにはいかない状況がある。このような国際社会において、広い視野に基づき、改めて看護の意味を考える。そして、文化の異なる日本以外の国の看護、その教育、実践、医療福祉政策における看護の役割について学習する。また、発展途上国におけるボランティア活動、国際貢献の実際とそのピットフォールについて理解を深め、国際的視野に立って世界の看護・保健・医療・福祉の現状を理解し、国際看護学の課題と展望を追求する。			
授業の目的 1. 世界の健康問題について理解する 2. 異文化における看護教育、看護実践、看護政策について理解する 3. 発展途上国での保健医療の現状と問題点について理解する 4. 先進国での保健医療の現状と問題点について理解する 5. グローバルな視点から、日本の健康課題について考察する 6. 他の国の人々と積極的に相互理解する行動をとる 7. 国際保健医療における看護の役割について考察する			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 国際保健医療での看護の役割について説明できる 2. 日本とそれ以外の異文化における看護、その教育、実践に関して比較して述べることができる 3. 世界の健康問題について、疫学や生態学等の視点から述べることができる 4. 世界の健康問題について、社会、文化、政治、経済及び保健医療システムの関連から総合的に現状を評価できる 5. グローバルな視点から、日本の健康問題について論理的に説明できる 6. 日本以外の人々と相互理解する行動をとることができる 7. 国際保健医療におけるこれからの看護の役割について、創造的に述べることができる			
成績評価の方法と基準 講義の参加度、レポート課題、講義への貢献度などを総合的に評価します。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第1回	ガイダンス、レポート課題提示 看護基礎教育における「国際看護学」 インターナショナルとグローバル	谷本	
第2回	看護職に求められる国際的視点	近藤	
第3回	国際看護学の概念	近藤	
第3回	国際看護学の概説	近藤	
第4回	国際看護の展開Ⅰ：看護の将来	近藤	
第5回	国際看護の展開Ⅱ：異文化・多文化	谷本	
第6回	諸外国の看護教育	谷本	
第7回	諸外国の看護師資格	谷本	
第8回	看護の国際組織	谷本	
第9回	世界の健康問題：人口	柴崎	
第10回	世界の健康問題：社会経済指標	柴崎	
第11回	世界の健康問題：保健指標	柴崎	
第12回	健康問題の背景	柴崎	
第13回	在日外国人の保健医療問題	辻	
第14回	在日外国人への看護	辻	
第15回	国際看護学特論の学びとまとめ	谷本	
自己学習へのアドバイス 国際的な視野に立っての討論や発表を試みます。 教科書・参考書以外の国際看護に関する情報をインターネットで収集するなどの自己学習が必要です。海外の資料も講読しましょう。			

教科書・参考書等

【教科書】

近藤麻理, 知って考えて実践する国際看護, 医学書院, 2011年, ¥1,800+税

【参考書】

田代順子監修, ワークブック国際保健・看護基礎論, PILAR PRESS, 2016年, ¥2,200+税

田代やよひ編集, 新体系看護学全書 看護の統合と実践③ 国際看護学, メジカルフレンド社, 2012年, 2,100円+税

オフィスアワー 講義当日の18時から18時半と21時45分から22時30分

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

講義内容は受講生との検討により、変更する可能性があります。また、非常勤講師による講義のため、集中講義で行う可能性があります。

ナンバリングコード M2NRS-ACBM-40-Lg2 授業科目名 (時間割コード：960014) 養護教育特論 School Health Care Theories	科目区分	時間割 前期未定	対象年次及び専攻 医学系研究科
	水準・分野 M2NRS	DP・提供部局 ACBM	対象学生・特定プログラムとの対応 40
	授業形態 Lg	単位数 2	
担当教員名 市原 多香子, 大森 美津子	関連授業科目	看護教育学	
	履修推奨科目	看護倫理学、看護研究方法論 1、看護研究方法論 2	
学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 まずは、園児・児童の遠見視力の低下は生活習慣病のひとつであること、また、遠見視力の低下防止の保健教育モデルについて講義・演習・ディスカッションを交え教授する。次に、児童生徒の健康課題と養護教諭が行う研究について教授する。さらに、疾病を持つ子どもと家族、そして支援について教授する。			
授業の目的 学校生活を送る子どもへの養護実践と養護学研究のために必要とされる養護教諭としての必要な保健、教育に関する諸理論を理解するとともに、配慮を必要とする子どもへの支援を医療との連携について理解を深める。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 遠見視力の解剖・生理について理解することができる。 2. 遠見視力低下と生活習慣の関連について説明することができる。 3. 遠見視力低下防止の活動方法について関心を持つことができる。 4. 児童生徒の健康課題と養護教諭が行う研究について理解することができる。 5. 慢性疾患に関して、その症状や医療的ケア、入院中の子どもたちの様子に関して基本的な説明をすることができる。 6. 入院中の子どもたちの学習支援の様子について説明することができる。 7. 復学支援・学校生活支援に関する課題について説明することができる。 8. 配慮を必要とする子どもへの支援に関する医療との連携について説明することができる。			
成績評価の方法と基準 講義の参加度・貢献度、教員から出されたレポート課題の達成度などを総合的に評価します。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
授業は、集中講義でおこなわれる。第1回～5回および第11回～15回は他の教員とのディスカッションする機会がある。また、第6～9回は個別的な講義となる。いずれも目的を明確にして、主体的に参加すること。			
第1回 オリエンテーション		市原・大森	
第2回 園児や児童の遠見視力低下と生活習慣		市原・大森	
第3回 遠見視力低下防止の保健教育モデル		市原・大森	
第4回 遠見視力低下防止の試み<演習>		市原・大森	
第5回 研究グループとのディスカッション		市原・大森	
第6回 前半部分でのまとめ		市原・大森	
第7回 日本の児童生徒の健康課題について文献講読		市原・大森	
第8回 海外の児童生徒の健康課題について文献講読		市原・大森	
第9回 養護教諭として行うべき研究の進め方、研究デザイン		市原・大森	
第10回 養護教諭として行うべき研究のまとめ方		市原・大森	
第11回 小児がんを診断された子どもの理解、学習支援		市原・大森	
第12回 1型糖尿病を診断された子どもの理解、学校での血糖管理		市原・大森	
第13回 アレルギーを持つ子どもとその生活管理		市原・大森	
第14回 病院内病弱・身体虚弱特別支援学級		市原・大森	
第15回 学校での健康チェック		市原・大森	
教科書・参考書等 【教科書】 日本学校保健会出版部：学校保健の動向，丸善出版，2017 (3,024円)			
オフィスアワー 講義終了直後に対応。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 主体的な学びを基に授業に参加してください。			

ナンバリングコード M2NRS-ABCM-40-Lg2 授業科目名 (時間割コード: 961103) 看護医科学特論 Advanced Medical Science of Nursing	科目区分	時間割 前期未定	対象年次及び専攻 医学系研究科
	水準・分野 M2NRS	DP・提供部局 ABCM	対象学生・特定プログラムとの対応 40
	授業形態 Lg	単位数 2	
担当教員名 峠 哲男, 藤井 豊, 筒井 邦彦	関連授業科目	臨床科学	
	履修推奨科目	特になし	
学習時間 授業90分×15回+自学自習			
授業の概要 看護に関する医学的問題点を探求するために必要な基礎知識として、人体、特に神経、消化器の構造と生理的機能と、それら器官の老化や障害に起因する疾病の病態生理や病理、さらには生化学や分子生物学の知識を習得する。			
授業の目的 神経系、消化器系の形態・構造と機能及び老化や疾患の病理と病態生理の理解、さらに生化学・分子生化学的方法論や神経生理学的方法論の理解を通して (a)、看護における医療技術の問題点を認識し (b)、また、医療システムの問題点についても認識を深め (c)、基礎的な知識を身につける。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 老化や疾患に対する看護の医療技術の問題点を分析できる 2) 現在の看護における医療システムの問題点について分析できる 3) 文献検索により上記の問題点を探求することができる 4) 上記の問題点を解決するために必要な研究方法を具体的に述べられる			
成績評価の方法と基準 主体的参加状況・発表内容・レポートにより総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第1回	ガイダンス	峠	
第2回	老化の原因と特徴	峠	
第3回	老化の症状と疾病	峠	
第4回	老年医療の看護における現状 (レポート発表)	峠	
第5回	老年医療の看護における問題点 (レポート発表)	峠	
第6回	胆道系疾患の現状	筒井	
第7回	機能的な消化管障害の現状	筒井	
第8回	機能性ディスペプシア (レポート発表)	筒井	
第9回	アルコール性、非アルコール性肝障害の現状	筒井	
第10回	非アルコール性肝障害 (レポート発表)	筒井	
第11回	パンデミックインフルエンザウイルス (抗原変異)	藤井	
第12回	パンデミックインフルエンザウイルス (宿主特異性)	藤井	
第13回	実験研究の一例 ウイルスゲノムのパッケージ機構	藤井	
第14回	実験研究の一例 インコーポレーション・シグナルの解明	藤井	
第15回	まとめ	藤井	
講義と学生の自主学習によるプレゼンテーションを基にして、ディスカッションによる演習を行う。			
教科書・参考書等 教科書 特になし 参考書 ベッドサイドの高齢者の診かた、葛谷雅文、秋下雅弘編、南山堂、2008、5800円 (講義では教科書は使用しないが、参考図書として可能なら購入のこと) 医科ウイルス学、高田賢蔵著、南江堂、2009、9180円 (詳しく勉強したい人のための参考書)			
オフィスアワー 月曜日午後6-8時			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 講義日程については随時相談に応じます。			

ナンバリングコード M2NRS-ABDM-40-Lg2 授業科目名 (時間割コード: 961001) 基礎看護学特論 Advanced Fundamental Nursing I	科目区分	時間割 前期未定	対象年次及び専攻 医学系研究科
	水準・分野 M2NRS	DP・提供部局 ABDM	対象学生・特定プログラムとの対応 40
	授業形態 Lg	単位数 2	
担当教員名 前川 泰子, 南 妙子	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 講義90分 (演習含む) × 15回 + 自学自習			
授業の概要 本授業では、それぞれの看護実践から自己を省察し、問題解決、意思決定、また教育・人材育成、情報活用など各自の課題と解決方法について探究する。加えて、科学的根拠に基づいた看護技術について理解を深め探求する。			
授業の目的 1) 看護実践場面を振り返ることで見出された課題に対して、それに関する文献や先行研究、理論をもとにプレゼンテーション、ディスカッションを通じて課題解決の方法を探求する。 2) 看護技術の現状とその科学的・理論的根拠について理解する。 (以上、DPの「専門知識・理解」「研究能力・応用力」に対応)。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) それぞれの看護実践を振り返り、省察することができる。 2) 課題に対する解決方法について、文献や先行研究、理論をもとに、自己の解決方法について具体的に考えることができる。 3) EBNの基本ステップが説明できる。 4) 学生の関心ある看護技術に関して、現在までに明らかにされている科学的・理論的根拠を説明できる。 (以上、DPの「専門知識・理解」「研究能力・応用力」に対応)。			
成績評価の方法と基準 課題レポートの提出およびプレゼンテーション内容、ディスカッション内容を総合して行います。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第1回 ガイダンス		前川・南	
第2回 看護技術とEBN 導入: EBNの基本		南	
第3回 EBNの基本ステップ (1) 疑問の定式化		南	
第4回 EBNの基本ステップ (2) 文献の批判的吟味		南	
第5回 生活援助技術とEBN (討議、発表を含む)		南	
第6回 診療援助技術とEBN (討議、発表を含む)		南	
第7回 看護技術研究の検討 (討議、発表を含む)		南	
第8回 EBNの看護実践への活用 (討議、発表を含む)		南	
第9回 看護における情報とは (討議、発表を含む)		前川	
第10回 看護における情報活用 (討議、発表を含む)		前川	
第11回 看護実践における問題解決 (討議、発表を含む)		前川	
第12回 看護実践における意思決定 (討議、発表を含む)		前川	
第13回 看護におけるリフレクション (討議、発表を含む)		前川	
第14回 看護における人材育成 (討議、発表を含む)		前川	
第15回 看護におけるキャリア開発 (討議、発表を含む)		前川	
教科書・参考書等 教科書 特になし 参考書 パトリシア・ベナー著, 井部俊子監訳: ベナー看護論 新訳版 初心者から達人へ, 医学書院			
オフィスアワー 前川: 講義予定日の17:30~22:00 看護学科5階517研究室 南: 講義予定日の17:30~22:00 看護学科5階515研究室			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 各自、看護実践における課題を意識して受講されることを期待します。			

ナンバリングコード M2NRS-ABCM-40-Lg2 授業科目名 (時間割コード: 962011) 急性期成人看護学特論 Advanced Adult Health Acute Nursing	科目区分	時間割 前期未定	対象年次及び専攻 医学系研究科
	水準・分野 M2NRS	DP・提供部局 ABCM	対象学生・特定プログラムとの対応 40
	授業形態 Lg	単位数 2	
担当教員名 市原 多香子	関連授業科目	急性期成人看護学演習	
	履修推奨科目	理論看護学 看護研究方法論	
学習時間 授業90分×15回 + 自学自習			
授業の概要 成人看護領域における健康障害を持つ患者や家族に対する看護を理解するための科目です。成人期にある人のケアに関する理論や、健康危機の予防と手術や血管病変の治療からの回復を促進させる有効な看護実践について、文献学習とグループ討議により、自分なりの解決策をこれまでの体験と関連付けて探求します。授業は、ディスカッションや学生の主体的参加によってすすめていきます。(以上、DPの「専門的知識・理解」、「研究能力・応用力」、「倫理観・社会的責任」に対応する)			
授業の目的 健康危機状況はすべての健康レベルで起こります。本講義では、高度専門職業人として必要な知識と能力の一つとして、成人看護領域における健康障害をもつ患者および家族に関する既存の理論と看護実践の現状と課題を理解するとともに、その知識を基盤にし、健康危機状況の予防と回復を促進するための方法を探求する基礎となる能力を身につけることを目的とします。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 学生の興味のあるテーマに関する文献を検索し、提示することができる。 2. 学生の興味のあるテーマに関する文献を精読し、看護の現状と課題について述べるができる。 3. 学習成果として効果的にプレゼンテーションできる。 4. テーマに関する討議に主体的に参加できる。			
成績評価の方法と基準 1. テーマに応じたプレゼンテーション資料の作成と発表、 2. テーマに対する議論の参加度から総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
授業は、各自が興味のあるテーマを下記より選択しプレゼンテーションを行ってもらいます。そのプレゼンテーションをもとに討議をすすめます。そのため、自学自習による準備・学習を求めます。			
第1回 ガイダンス 第2回 健康危機状況にある成人患者の理解に関する理論: ストレス・コーピング 第3回 健康危機状況にある成人患者の理解に関する理論: 危機理論 第4回 リハビリテーションの必要な患者の理解とアセスメントに関する理論: 障害受容 第5回 リハビリテーションの必要な患者の理解とアセスメントに関する理論: ICFモデル 第6回 健康危機状況にある成人患者の看護援助に関する理論: 成人教育 第8回 健康危機状況にある成人患者の看護援助に関する理論: 症状マネジメント 第9回 健康危機状況にある成人患者の看護援助に関する理論: 健康信念モデル 第10回 健康危機状況にある成人患者の看護援助に関する理論: 変化ステージモデル 第11回 健康障害をもつ患者に必要な看護援助の現状と課題の検討 : 周術期患者の回復促進 第12回 健康障害をもつ患者に必要な看護援助の現状と課題の検討 : 循環機能障害患者の回復促進 第13回 健康障害をもつ患者に必要な看護援助の現状と課題の検討 : 生活習慣病の重症化予防 第14回 健康障害をもつ患者に必要な看護援助の現状と課題の検討 : 廃用症候群予防 第15回 健康障害をもつ患者に必要な看護援助の現状と課題の検討 : 運動機能障害患者の回復促進			
教科書・参考書等 教科書 なし 参考書 小島操子: 看護における危機理論・危機介入、Kinpodo、2013年 上田敏: ICFの理解と活用、きょうされん、2016年 野川道子: 看護実践に活かす中範囲理論、2016年			

佐藤栄子：事例を通してやさしく学ぶ中範囲理論入門、2014年 大川弥生：よくする介護を实践するためのICFの理解と活用、中央法規、2015年 南雲直二：社会受容、荘道社、2002年 松本千明：健康行動理論の基礎、医歯薬出版株式会社、2012年 曾根智史訳：健康行動と健康教育、医学書院、2009年
--

オフィスアワー 講義終了後1時間

履修上の注意・担当教員からのメッセージ 積極的に討論に参加し、自分の関心領域・専門領域を関連させて探求してほしい。
--

ナンバリングコード M2NRS-ABCM-40-Lg2 授業科目名 (時間割コード：962021) 慢性期成人看護学特論 Chronic nursing theory for adults	科目区分	時間割 前期未定	対象年次及び専攻 医学系研究科
	水準・分野 M2NRS	DP・提供部局 ABCM	対象学生・特定プログラムとの対応 40
	授業形態 Lg	単位数 2	
担当教員名 清水 裕子	関連授業科目	看護教育学	
	履修推奨科目	看護教育学	
学習時間 授業90分×15回 + 自学自習			
授業の概要 本授業では、研究入門者である修士学生が成人看護研究にとりかかる前に、関連する基本概念を理解するための科目である。 人間の完態である成人は、生涯発達の看護学を理解する上での基本モデルであり、成人看護研究を学ぶことで他の発達段階での研究の理解をも深めることができる。 具多雨的には、成人の人間らしさを科学的に理解するために、認知と行動の発達を行動科学理論でとらえ、また慢性疾患の不確かさや病の経過を軌跡としてとらえる。さらに死に向かう人間の生きる意味や逆境を生き抜く強さなどを哲学的な観点からとらえ、慢性期看護のあり方を考える。これらを通して、看護者の態度価値、看護者に必要な哲学的人間観の涵養を目指している。			
授業の目的 哲学的、科学的観点から成人看護研究方法を学び、各自の研究計画への示唆を与えることである。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
到達目標 1. 慢性期にある成人の役割課題が説明できる。 2. 慢性期にある成人への有用な看護方法が説明できる。			
成績評価の方法と基準 授業や討論への参加度、資料など成果物、発表などを評価資料とする。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
授業計画 授業は参加型とする。 自らの疑問や関心に関連する事項を発表し、討論を展開することが基本である。 第1回 ガイダンス・成人看護研究トピックス 清水 第2回 研究における思考パターン—量と質の特性論とタイプ論 清水 第3回 慢性期の研究方法———量と質の混合研究法 清水 第4回 成人看護のための行動科学Ⅰ—認知 清水 第5回 成人看護のための行動科学Ⅱ—発達 清水 第6回 成人看護のための行動科学Ⅲ—行動理論 清水 第7回 成人看護のための行動科学Ⅲ—認知行動理論 清水 第8回 成人疾病と看護—不確かさ理論 清水 第9回 成人疾病と看護—不確かさ理論の応用 清水 第10回 成人疾病と看護—病みの軌跡理論 清水 第11回 成人疾病と看護—病みの軌跡理論の応用 清水 第12回 成人看護における存在論—ケアリング 清水 第13回 成人看護における存在論—スピリチュアルケア 清水 第14回 成人看護における態度価値とwell-beingとヘルスプロモーション 清水 第15回 成人看護における態度価値とwell-beingとQOL 清水			
【自学自習へのアドバイス】 各授業の際には、院生各自が必ず、資料となるレジュメを準備し、討論形式で進める。			

教科書・参考書等

教科書 なし

参考図書

Roach, M. S. (鈴木智之・操華子・森岡崇訳) アクト・オブ・ケアリング, ゆみる出版, 1996 (2, 100円)

Waldemar Kippes, スピリチュアルケア, サンパウロ, 1999 (2, 300円)

Pierre Woog (ed.), 黒江ゆり子他訳, 慢性疾患の病みの軌跡, 医学書院, 1995 (2, 700円)

Pearman, R. R. & Albritton, S. C.、園田由紀訳, MBTIへの招待, 金子書房, 2002 (3, 500円)

Walker, L. O. & Avant, K. C. (中木高夫・川崎修一訳) 看護における理論構築の方法, 医学書院, 2008 (3, 800円)

清水裕子編著、ヒューマンケアと看護学、ナカニシヤ出版、2014

オフィスアワー 学生相談は随時, Emailも対応する。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

プレゼンテーション資料は、事前に相談に応じる。

ナンバリングコード M2NRS-ACBM-40-Lg2 授業科目名 (時間割コード：962101) 小児看護学特論 Pediatric Nursing Theories	科目区分	時間割 前期未定	対象年次及び専攻 医学系研究科
	水準・分野 M2NRS	DP・提供部局 ACBM	対象学生・特定プログラムとの対応 40
	授業形態 Lg	単位数 2	
担当教員名 谷本 公重, 鈴木 智子	関連授業科目	小児看護学演習、小児看護学特別研究	
	履修推奨科目 論 2	看護倫理学、看護研究方法論 1、看護研究方法論 2	
学習時間 授業90分×15回＋自学自習			
授業の概要 本研究科小児看護学では、小児看護の臨床現場における複雑で困難な問題を解決し、その看護実践を体系化、理論化することを目指しています。そのため、小児看護学特論は、小児看護において用いられる子どもとその家族に関する諸理論を学際的に探究していきます。授業は、各回のテーマに関して院生による主体的な学びをもとに、参加者によるディスカッションによって進行していきます。また、必要に応じて英語文献の講読も行います。自学自習により、講読を進めて講義に臨んでください。			
授業の目的 子どもを統合体としてとらえた上で、小児看護において重要な理論に関して概観していきます。この事を通して、子どもを理解するとともに、子どもの最善の利益を守るための法律や条約に関して理解を深めます。加えて、子どもを持つ家族に関する理論に関して検討していきます。そして、これらの諸理論に関して、社会情勢を踏まえ、日本の文化の中において適応する際の課題について考察していきます。これらの過程を通して、講義のためにレビューした文献を読み進めることにより、研究の動向が明らかとなり、個々の研究課題の明確化につなげることが可能となります。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 子どもの成長発達に関する原則を列挙することができる。 2. 子どもの権利条約に関する歴史的背景とその内容、現状および課題について説明することができる。 3. 子どもの認知発達に関する理論について述べることができる。 4. 子どもを持つ家族に関する理論について述べることができる。 5. これらの理論を臨床現場における現状に適応し、その課題を説明することができる。 (以上、DPの「専門知識・理解」「倫理観・社会的責任」と「研究能力・応用力」に対応)			
成績評価の方法と基準 講義での討議の内容（50％）およびレポート内容（50％）から、積極性・論理性・理解力・表現力等を総合的に評価します。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 講義は、院生による発表と全体討議で展開する。			
第1回	ガイダンス	谷本・鈴木	
第2回	生涯発達と小児：成長発達の理解—生物学的視点	鈴木	
第3回	成長発達の理解：解剖生理学的視点	鈴木	
第4回	成長発達の理解：心理学的視点	鈴木	
第5回	成長発達の理解：社会学的視点	鈴木	
第6回	子どもの最善の利益を守るための法律・条約	谷本	
第7回	医療現場において子どもとその家族の最善の利益を守るためのケアモデル	谷本	
第8回	子どもの認知発達に関する理論：ピアジェの思考発達段階説	谷本	
第9回	子どもの関係性の発達：マラーの分離—固体化理論、ボルビの愛着理論	谷本	
第10回	子どもの関係性の発達：ボルビの愛着理論	谷本	
第11回	子どもの自我の発達：エリクソンの自我発達理論	谷本	
第12回	子どもの自我の発達：フロイトの心理学的理論	谷本	
第13回	子どもの生活援助に関する理論	谷本	
第14回	健康危機状態にある子どもとその家族への援助に関する理論	谷本	
第15回	諸理論適応による事例検討とその課題	谷本	
教科書・参考書等 【教科書】 ・松森直美, 蝦名美智子編集：小児看護ケアモデル実践集 看護師が行う子ども目線のプレパレーション, へるす出版, 2012年, ¥3,000＋税。			

【参考書】

- ・小嶋謙四郎 著：乳児期の母子関係 アタッチメントの発達 第2版，医学書院，1981年，¥4,500＋税.
- ・バーバラ・M. ニューマン，フィリップ・R. ニューマン 著 福富護 訳：生涯発達心理学：エリクソンによる人間の一生とその可能性 ，川島書店，1988年，¥6,000＋税.
- ・J. Bowlby 著，二木武 監訳：ボウルビィ 母と子のアタッチメント 心の安全基地，医歯薬出版株式会社，1993年，¥2,500＋税.
- ・J. Bowlby 著，黒田実郎，大羽素，岡田洋子，黒田聖一 翻訳，I 愛着行動 新版，岩崎学術出版社，1991年，¥10,000＋税.
- ・Marshall H. Klaus, John H. Kennell 著，竹内徹，柏木哲夫，横尾京子 翻訳，親と子のきずな，医学書院，1998年，¥3,000＋税.

オフィスアワー 講義予定日の18時から22時。また、メール等で適宜受け付けます。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

主体的な学びをもとに授業に参加するとともに、参加者相互で積極的に討論し、論理的思考と表現力の向上を図りましょう。関連する文献は積極的に講読、多読すること。必要に応じて英語論文も講読していただきます。講読する文献に関しては、医学部図書館でガイダンスしていただける医中誌、PubMed等を用いて系統的検索を行い、文献管理ツール（Mendeley）を利用して効率よく管理してください。

ナンバリングコード M2NRS-ABCM-40-Lg2 授業科目名 (時間割コード: 962201) 母性看護学特論 Maternal Nursing Theories I	科目区分	時間割 前期未定	対象年次及び専攻 医学系研究科
	水準・分野 M2NRS	DP・提供部局 ABCM	対象学生・特定プログラムとの対応 40
	授業形態 Lg	単位数 2	
担当教員名 佐々木 睦子, 石上 悦子	関連授業科目	母性看護学演習	
	履修推奨科目	母性看護学演習	
学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 女性の生涯を通じたリプロダクティブヘルス／ライツの概念から、各ライフステージにおける健康問題と課題について理解し、援助の方向性を探求するために、母性看護領域に関連する概念と理論の知識を学習する			
授業の目的 母性看護領域に関連する理論と知識を学び、女性のライフステージにおける課題探求と問題解決について理解する（DPの「専門知識・理解」に対応）			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 女性のライフステージにおける健康問題の特徴と課題について説明できる 2. リプロダクティブヘルス／ライツの概念から、女性の健康問題について援助の方向性が説明できる 3. 母性看護領域に関連する概念と理論について説明できる（DPの「専門知識・理解」に対応）			
成績評価の方法と基準 課題プレゼンテーション30%、課題レポート50%、講義参加度20% 課題への取り組み姿勢や講義への主体的参加等によって総合的に評価する			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
講義および院生の課題についてのプレゼンテーションと課題のディスカッション			
第1回	ガイダンスー講義内容と学習方法	(佐々木・石上)	
第2回	女性のライフステージと健康		
第3回	女性のライフステージにおける健康問題の特徴（思春期・成熟期）	(佐々木・石上)	
第4回	女性のライフステージにおける健康問題の特徴（更年期・老年期）	(佐々木・石上)	
第5回	リプロダクティブヘルス／ライツ		
第6回	リプロダクティブヘルスの主要概念ー性感染症，人工妊娠中絶	(佐々木・石上)	
第7回	リプロダクティブヘルスの主要概念ー不妊と生殖医療	(佐々木・石上)	
第8回	リプロダクティブヘルスの主要概念ードメスティックヴァイオレンス，他	(佐々木・石上)	
第9回	母性看護学領域に関連する概念と理論ー母性と父性	(佐々木・石上)	
第10回	母性看護学領域に関連する概念と理論ー母性の発達，母親役割取得過程	(佐々木・石上)	
第11回	母性看護学領域に関連する概念と理論ージェンダー，セクシュアリティ	(佐々木・石上)	
第12回	母性看護学領域に関連する概念と理論ーエンパワーメント，セルフケア	(佐々木・石上)	
第13回	母性看護学領域に関連する概念と理論ー母子の愛着	(佐々木・石上)	
第14回	母性看護学領域における倫理的課題	(佐々木・石上)	
第15回	母性看護学領域における倫理的課題ー生命倫理	(佐々木・石上)	
自学自習 毎回課題についてディスカッションしていくので，問題意識をもちながら主体的に課題に取り組むことが必要			
教科書・参考書等 教科書 なし 参考書 1. 大日向雅美：[新装版]母性の研究 その形成と変容の過程：伝統的母性観への反証，日本評論社，2016. 2. 鈴木七美：出産の歴史人類学，新曜社，1999. 3. 白井千晶 編：産み育てと助産の歴史．医学書院，2016.			
オフィスアワー 講義終了後，随時			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 課題についてのプレゼンテーションは文献等に基づいて主体的に取り組む 授業は相互作用であるため，学生の主体的参加を求める			

ナンバリングコード M2NRS-ABCM-40-Lg2 授業科目名 (時間割コード：962311) 老年看護学特論 Gerontological Nursing Theories	科目区分	時間割 前期未定	対象年次及び専攻 医学系研究科
	水準・分野 M2NRS	DP・提供部局 ABCM	対象学生・特定プログラムとの対応 40
	授業形態 Lg	単位数 2	
担当教員名 大森 美津子	関連授業科目	老年看護学演習、特別研究	
	履修推奨科目		
学習時間 講義 90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 加齢により老化すること、身体や精神を病むことをマイナス面で捉える傾向にあるが、視点を変えればプラスな面が見えてくる。対象を理解する上で、プラスな面に目を向けることが対象の持っている力を引き出すためには大切である。ここでは、人の人間発達や全人的な見方について文献から学び、老年期の発達課題に焦点を当てて学びを深める。そして、病気の高齢者の体験を抄読し、互いの体験を共有して、対象の理解を深めるとともに、病気や障害の体験の意味についても考える。さらに、老年看護の専門的知識や理論について学ぶ。さらに、地域包括ケアシステムにおける老年看護のあり方や認知症高齢者の専門的ケアについて探求する。			
授業の目的 高齢者を人間発達の視点で捉えることを学ぶ。また、高齢者とその家族を理解するために、重要な専門的知識や理論（DPの「専門知識・理解」に対応）について学ぶ。人間発達の視点に立ち、高齢者を援助する方法について考える。また、高齢者とその家族を援助する上で必要な専門的知識や理論について学ぶ。さらに地域包括ケアシステムにおける老年看護や認知症高齢者の専門的ケア（DPの「グローバルマインド」に対応）のあり方について探求する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 高齢者について、人間発達の視点から説明できる。 2. 高齢者とその家族の理解を促す専門的知識や理論について説明できる。 3. 人間発達の視点を踏まえ、高齢者とその家族への援助について説明できる。 4. 理論に基づく高齢者とその家族への援助について説明できる。 5. 地域包括ケアシステムにおける老年看護について説明できる。 6. 認知症高齢者の専門的ケアの考えを説明できる。			
成績評価の方法と基準 プレゼンテーションの内容、授業での発言内容、課題レポートを総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 講義、テーマに基づいた院生のプレゼンテーション、テーマに関するディスカッション、レポート			
第1回	オリエンテーション 人間発達・全人的な見方について	大森	
第2回	エリクソンの老年期の心理社会的課題の理論	大森	
第3回	エリクソンの老年期の心理社会的課題の実践・研究	大森	
第4回	地域包括ケアシステムとは	大森	
第5回	地域包括ケアシステムにおける連携について	大森	
第6回	認知症高齢者の体験	大森	
第7回	認知症高齢者ケアと研究	大森	
第8回	バリデーションの理論	大森	
第9回	バリデーションの実践・研究	大森	
第10回	心と体のつながり・病や老いの捉え方	大森	
第11回	グリーフワークの理論	大森	
第12回	グリーフワークの実践・研究	大森	
第13回	アクティビティの理論	大森	
第14回	アクティビティの実践・研究	大森	
第15回	人間発達・理論から捉えた対象理解・援助のあり方のまとめ	大森	
第1回	講義形式で行う。		
第2回	エリクソンの老年期の心理社会的課題の理論について文献をもとに討論する。		
第3回	エリクソンの老年期の心理社会的課題の実践・研究について討論する。		
第4回	地域包括ケアシステムについて文献をもとに討論する。		
第5回	地域包括ケアシステムにおける連携について文献をもとに討論する。		
第6回	認知症高齢者の体験について文献・DVDをもとに討論する。		
第7回	認知症高齢者ケアと研究について討論する。		
第8回	バリデーションの理論について文献をもとに討論する。		
第9回	バリデーションの実践・研究について討論する。		
第10回	心と体のつながり・病や老いの捉え方について文献をもとに討論する。		

- 第11回 グリーフワークの理論について文献をもとに討論する。
 第12回 グリーフワークの実践・研究について討論する。
 第13回 アクティビティの理論について文献をもとに討論する。
 第14回 アクティビティの実践・研究について討論・実践する。
 第15回 人間発達・理論から捉えた対象理解・援助のあり方について討論する。

教科書・参考書等

教科書 特になし

参考書 老年期—生き生きしたかわりあい エリック・H. エリクソン , ヘレン・Q. キヴニック, ジョーン・M. エリクソン著, みすず書房, 1997, 4, 105円

オフィスアワー 月曜日17時から18時30分

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

研究テーマや実践の中から、関心を持ち、積極的に討論に参加して、人間発達や全人的な見方について理解して欲しい。地域包括ケアシステムについて関心を持って欲しい。

ナンバリングコード M2NRS-ABCM-40-Lg2 授業科目名 (時間割コード：963201) 精神看護学特論 Mental Health and Psychiatric Nursing Theories	科目区分	時間割 前期未定	対象年次及び専攻 医学系研究科
	水準・分野 M2NRS	DP・提供部局 ABCM	対象学生・特定プログラムとの対応 40
	授業形態 Lg	単位数 2	
担当教員名 渡邊 久美	関連授業科目	精神看護学演習	
	履修推奨科目	看護倫理学、理論看護学	
学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 まず我が国の精神保健の制度と現代社会における諸課題を概観する。精神保健を実践する援助者としての自己成長を促すため、自己の哲学的基盤を洞察し、援助者としての自身のあり方を考える。 次に、セルフケア理論や対人援助技術などの精神看護領域の理論を学ぶとともに、事例検討により精神健康に障害をもつ人とその家族への支援の在り方について議論する。そして、精神科における疾病概念や治療法の変遷を踏まえたうえで、医療とケアの調整を担う看護の専門性を発揮した、援助職や家族とのパートナーシップ形成に基づくケアの在り方を探求する。			
授業の目的 我が国の精神保健福祉施策の動向を理解することで、スティグマや偏見などの現代社会における精神障害者を取りまく課題を理解する。精神保健を実践する援助者には対象の理解は言うに及ばず、自己の理解も求められる。自己の理解のために、書籍の輪読を通して哲学的基盤を養うことを目的とする。 また、精神看護の専門性に根差し、対象のストレス緩和から自己実現までを支援するアプローチ法、ケアモデルの開発に向け、既存の理論や先行研究、事例検討に基づき、日本人の特性に添ったケアの在り方を探求する。(以上D Pの「専門知識・理解」、「研究能力・応用力」、「倫理観・社会的責任」に対応する)			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 日本の精神障害者の処遇及び法制度の変遷を理解できる。 2. 現代社会における精神保健の現状と課題について説明できる。 3. 援助者としての自己を見つめ、哲学と看護を結び付けて考えることができる。 4. 精神科臨床における看護アプローチ法やモデル開発に向けた研究方法を理解できる。 5. 精神看護の立場から、多職種や家族との協働に関する課題を述べることができる。			
成績評価の方法と基準 プレゼンテーション内容、ディスカッション内容、レポートから総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第1回 ガイダンス・精神看護学の前提 第2回 精神保健福祉の歴史の変遷と法制度 (1) -精神保健福祉法の成立まで 第3回 精神保健福祉の歴史の変遷と法制度 (2) -障害者総合支援法の成立まで 第4回 精神保健福祉の歴史の変遷と法制度 (3) -その他の精神保健関連法規 第5回 現代のメンタルヘルスに関する諸問題 (1) -小児・青年期 第6回 現代のメンタルヘルスに関する諸問題 (2) -成人期・老年期 第7回 精神看護の哲学的基盤 (1) -身体と精神・知情意について 第8回 精神看護の哲学的基盤 (2) -習慣について 第9回 精神看護の哲学的基盤 (3) -言葉の働き、精神活動と文学など 第10回 精神看護学で用いる主要理論 (1) -セルフケア看護理論 (オレム - アンダーウッド) 第11回 精神看護学で用いる主要理論 (2) -対人関係的技術 第12回 精神看護学における当事者へのアプローチ法 (1) -疾病概念と診断の意義 第13回 精神看護学における当事者へのアプローチ法 (2) -認知行動療法・治療的関わり 第14回 精神保健福祉における多職種との協働 第15回 まとめ			
教科書・参考書等 教科書なし 参考書 基弘他編：精神医学と疾病概念、みすず書房 吉川悟編：システム論からみた援助組織の協働、金剛出版 その他、授業で適宜紹介する。			
オフィスアワー 随時			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 精神保健の歴史や文化的背景を踏まえ、これからの時代に求められる看護モデルの開発に向けて、現場の課題から研究課題 (Research Question) の明確化につなげていきましょう。			

ナンバリングコード M2NRS-ACBM-40-Lg2 授業科目名 (時間割コード：963105) 在宅看護学特論 Advanced Home Care Nursing I	科目区分	時間割 前期未定	対象年次及び専攻 医学系研究科
	水準・分野 M2NRS	DP・提供部局 ACBM	対象学生・特定プログラムとの対応 40
	授業形態 Lg	単位数 2	
担当教員名 松井 妙子	関連授業科目	在宅看護学演習、在宅看護学特別研究、精神看護学特論、看護教育学	
	履修推奨科目	看護研究方法論1・2、看護医科学特論	
学習時間 授業90分×15回 + 自学自習			
授業の概要 在宅看護学に関して、学生の興味に沿った課題で授業を展開する。日本における在宅療養者支援の制度や支援方法を学び、実践の在り方およびその教育について討議する。また、在宅看護学の研究に必要なことを理解するために授業を展開する。課題に関する文献を素材にして話し合い、課題への理解を深める授業を行う。			
授業の目的 在宅療養者および家族の健康を支援するために必要な看護の在り方を考える。在宅看護の特徴、ケアマネジメント、チームアプローチに関する基本的知識を理解し、地域・在宅ケアについて考える。在宅看護や関連領域の文献を用いた発表や話し合いを通して、在宅特有の支援方法と課題を明確にし、今後の在宅医療と看護の在り方について探究することを目的とする。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 学生の関心領域について、明確に述べることができる 2. 学生の関心領域に関する文献を検索し、提示できる 3. 学生の関心領域に関する文献を読み解き、在宅看護の課題として提示できる 4. 在宅療養者支援の現状と課題について述べるができる 5. 在宅療養者支援の質向上を目指した教育の現状と課題について述べるができる			
成績評価の方法と基準 評価は、1. テーマに応じたプレゼンテーション内容、2. 討議の参加度と深さ、3. 提出レポートにより総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 下記のテーマを見本に学生の興味に沿ったプレゼンテーションをもとに、ディスカッションを行う。 第1回 ガイダンス、在宅看護の対象 第2回 日本の在宅看護の歴史と変遷 第3回 在宅療養者の特徴 第4回 在宅療養者支援のアセスメント内容 第5回 ケアマネジメント理論 第6回 看護とケアマネジメント 第7回 他職種との連携とチームアプローチ 第8回 チームアプローチの質評価 第9回 在宅療養者支援におけるチームアプローチ研究 第10回 訪問看護の質評価・ケアの質評価と改善方法 第11回 在宅看護の現状と在宅看護の展望 第12回 在宅看護学研究の動向 第13回 在宅看護学研究の展望 第14回 在宅看護学教育の現状と展望 第15回 まとめ			
教科書・参考書等 教科書 なし 参考書 ・公益法人日本看護協会編、平成29年版看護白書、訪問看護の新たな展開、日本看護協会出版会 ・在宅ケア学会編、在宅ケア学 (全6巻)、ワールドプランニング、2015。 ・エイミー・Cエドモンドソン、野津智子訳、チームが機能するとはどういうことか、英治出版 ・石垣和子、上野まり、看護学テキストNICE、在宅看護論、南江堂			
オフィスアワー 授業の前後			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 学生の専門分野及び関心領域と地域・在宅看護を関連させて探求すること			

ナンバリングコード M2NRS-ABDM-40-Lg2 授業科目名 (時間割コード: 963005) 地域看護学特論 Community Health Nursing Theories I	科目区分	時間割 前期未定	対象年次及び専攻 医学系研究科
	水準・分野 M2NRS	DP・提供部局 ABDM	対象学生・特定プログラムとの対応 40
	授業形態 Lg	単位数 2	
担当教員名 森永 裕美子, 辻 京子	関連授業科目	看護研究方法論 1, 看護研究方法論 2, 理論看護学, 看護倫理学	
	履修推奨科目	地域看護学演習	
学習時間 講義 90分×15回+自学自習			
授業の概要 地域看護学は個人や家族・特定集団などによって構成されている地域全体を視野におき、現代の健康課題に対応できる個人・家族・集団・地域のエンパワメントの向上を目指す学問である。地域看護活動は、地域で生活している人々を理解しパートナーシップを形成していくが、それらの活動は、社会環境の変化や健康課題と密接関係している。そこで、現代の健康課題やそれらに対応した法令や制度について文献を通して考える。			
授業の目的 社会環境の変化と健康課題を下記の項目をとおして理解する。 1. 社会情勢の変化を①人口および疾病構造の変化、②経済・産業の構造変化、③技術発展とその健康影響、④グローバル化および価値観の多様化、⑤地方分権化をとおして理解できる (DPの「専門知識・理解」に対応)。 2. 生活環境、災害から健康課題を理解できる。 3. 健康の社会的決定要因および健康課題に対応するための資源や法令、制度について理解できる。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 文献を熟読し、内容を理解できる。 2. 社会環境の変化と健康課題について説明できる。 3. 健康課題に対応するための資源や法令、制度について説明できる。			
成績評価の方法と基準 主体的参加状況や毎回のレジュメと文献カードの内容により、総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第1回	ガイダンス, 社会環境の変化と最近の健康課題トピックス	森永・辻	
第2回	ケアと健康の関係を考える	森永・辻	
第3回	健康に影響する社会的・環境的・遺伝的要因	森永・辻	
第4回	ソーシャル・キャピタルと健康	森永・辻	
第5回	社会的レベルのケアに関わる要因と政策	森永・辻	
第6回	ケアにおける「多対多モデル」	森永・辻	
第7回	地域資源をつなぎ開発するマネジメント	森永・辻	
第8回	社会疫学 (健康格差の研究)	森永・辻	
第9回	健康格差社会について (社会人間関係と健康)	森永・辻	
第10回	健康格差社会について (社会と健康をつなぐもの)	森永・辻	
第11回	健康格差社会について (社会のあり様と健康)	森永・辻	
第12回	健康格差社会について (社会と健康をめぐる課題)	森永・辻	
第13回	連携・協働・ネットワークに関するモデルと方法	森永・辻	
第14回	地域看護学関連文献クリティーク	森永・辻	
第15回	地域看護関連文献のクリティーク	森永・辻	
【自学自習】 2回～15回 指定文献を熟読し、毎回レジュメを作成すること。また、関係する文献を提示するとともに、文献カードを作成すること。			
教科書・参考書等 テキスト 近藤克則: 健康格差社会, 医学書院, 最新版. その他 近藤克則: 講座ケア 新たな人間-社会像に向けて 4 ケアと健康 資料は随時配布する			
オフィスアワー 授業終了後 1 時間			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 自ら学ぶ姿勢を持ち、おおいにディスカッションできるよう準備してください。			

ナンバリングコード M3NRS-BACM-40-Ex4 授業科目名 (時間割コード：961104) 看護医科学演習 Seninar in Medical Science of Nursing	科目区分	時間割 前期未定	対象年次及び専攻 1～2医学系研究科
	水準・分野 M3NRS	DP・提供部局 BACM	対象学生・特定プログラムとの対応 40
	授業形態 Ex	単位数 4	
担当教員名 峠 哲男, 藤井 豊, 筒井 邦彦	関連授業科目	特になし	
	履修推奨科目	看護医科学特論、臨床科学	
学習時間 授業90分×30回＋自学自習			
授業の概要 看護に関連する医学的論文をインターネットで検索する能力、さらには論文を読解して論文の要旨を述べる能力、研究計画の立て方、研究の進め方や解析方法及び研究結果に対する考察の仕方を習得し、研究計画書や修士論文作成に必要な基礎的知識を習得する。			
授業の目的 実際に研究計画書を作成するため、自ら看護に関する医学的な問題点を認識する (b)。関係する論文や先行研究を収集する能力を身につける (a、c)。各自の研究テーマの策定と、その研究方法の基本を理解する (b)。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 関心のある論文を検索・検討し、自らの研究課題との関連性を明確化できる。 2. 研究の立案、研究の進め方、研究方法を選択できる。 3. 研究結果の予測と考察の仕方について説明できる。 4. 最終的に研究計画書を作成できる。			
成績評価の方法と基準 各自の学習の内容と密度、研究計画書作成の過程の各ステップに関するプレゼンテーション、討論への参加及び研究計画書の完成度を総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
1 回	文献検索の仕方	峠、藤井、筒井	
2 回	文献検索 (邦文)	〃	
3 回	文献検索 (英文)	〃	
4 回	文献検索 文献の抽出	〃	
5 回	文献検索 文献の絞り込み	〃	
6 回	各自が興味を持つ研究分野についてプレゼンテーション	〃	
7 回	各自が興味を持つ研究分野についてプレゼンテーション	〃	
8 回	各自の研究予定のテーマについてプレゼンテーション	〃	
9 回	各自の研究予定のテーマについてプレゼンテーション	〃	
10 回	関連する文献の輪読	〃	
11 回	関連する文献の輪読	〃	
12 回	関連する文献の輪読	〃	
13 回	関連する文献の輪読	〃	
14 回	関連する文献の輪読と研究テーマの絞り込み	〃	
15 回	関連する文献の輪読と研究テーマ案	〃	
16 回	関連する文献の輪読と研究テーマ案の修正	〃	
17 回	研究テーマと研究計画の概略	〃	
20 回	研究テーマの修正と研究計画の概略	〃	
21 回	研究計画書の作成	〃	
22 回	研究計画書の修正	〃	
23 回	研究計画書の再修正	〃	
24 回	研究計画書のプレゼンテーション	〃	
25 回	研究計画書の再々修正とプレゼンテーション	〃	
26 回	倫理審査書類の作成	〃	
27 回	倫理審査書類の作成	〃	
28 回	倫理審査書類の修正	〃	
29 回	倫理審査のWEB上での申請	〃	
30 回	研究計画書の提出	〃	
教科書・参考書等 参考書 1. 実証研究の手引き、古谷野亘、長田久雄著、ワールドプランニング、2014、1270円 2. SPSSによる統計処理の手順、石村貞夫、石村光資郎著、東京図書、2013、3024円 (講義・演習では教科書は使用しないが、参考書と使用するので可能なら購入のこと)			
オフィスアワー 月曜日、木曜日午後6時以後			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 講義日程については随時相談に応じます。			

ナンバリングコード M3NRS-BCDM-40-Ex4 授業科目名 (時間割コード：961005) 基礎看護学演習 Seminar in Fundamental Nursing	科目区分	時間割 前期未定	対象年次及び専攻 1～医学系研究科
	水準・分野 M3NRS	DP・提供部局 BCDM	対象学生・特定プログラムとの対応 40
	授業形態 Ex	単位数 4	
担当教員名 前川 泰子, 南 妙子	関連授業科目	基礎看護学特論	
	履修推奨科目	看護研究方法論 1, 看護研究方法論 2	
学習時間 授業90分×30回 + 自学自習			
授業の概要 基礎看護学領域でそれぞれの関心のあるテーマについて、国内外の先行研究レビューを行い、研究課題を明確化することを支援します。そして、研究課題に適した研究方法を検討し、研究計画書の作成、中間発表会、倫理委員会受審の各プロセスにおいて支援します。			
授業の目的 基礎看護学領域でそれぞれの関心のあるテーマについて、国内外の先行研究レビューを行い、研究課題を明確化する。また研究課題に適した研究方法を検討し、研究計画書の作成、中間発表会、倫理委員会受審に向けて準備することを目的とする。 (以上、DPの「研究能力・応用力」「専門知識・理解」に対応)			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 研究疑問に対して、国内外の先行研究レビューを行い、研究課題を明確化できる。 2. 各自の研究課題を解決するための研究方法を選択できる。 3. 研究デザインの設計ならびに、研究計画書の作成ができる。 4. 研究における倫理的配慮について理解し、倫理委員会受審に向けて準備ができる。			
成績評価の方法と基準 課題レポートの提出およびプレゼンテーション内容、ディスカッション内容を総合して行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
ディスカッションやプレゼンテーションを取り入れて展開する。			
第1 回 ガイダンス 第2 回 基礎看護学に関する文献検索 第3 回 基礎看護学に関する研究の動向 第4 回 基礎看護学に関する研究論文 1 クリティーク 第5 回 基礎看護学に関する研究論文 2 クリティーク 第6 回 基礎看護学に関する研究論文 3 クリティーク 第7 回 研究テーマ検討 第8 回 研究テーマに関連する文献検討 第9 回 研究目的の検討 第10回 研究デザイン 第11回 研究目的の明確化 第12回 研究方法の検討 第13回 研究の倫理的配慮の検討 第14回 研究計画書の作成 第15回 中間発表 第16回 研究計画書の作成 (研究テーマの修正) 第17回 研究計画書の作成 (研究目的の修正) 第18回 研究計画書の作成 (研究デザインの修正) 第19回 研究計画書の作成 (研究対象の修正) 第20回 研究計画書の作成 (研究方法の修正) 第21回 研究計画書の作成 (研究方法の修正) 第22回 倫理的配慮の修正 第23回 倫理審査申請書の作成 第24回 倫理審査申請書の作成 (必要資料の作成) 第25回 倫理審査申請書の作成 (必要資料の作成) 第26回 倫理審査申請書の修正 第27回 倫理審査申請書, 必要資料の修正 第28回 研究計画書, 倫理審査申請書・必要資料のまとめ 第29回 研究計画発表 第30回 まとめ			

教科書・参考書等		
研究方法論等で紹介された図書の活用を勧める。他、適宜提示する。		
オフィスアワー	前川：講義予定日の17：30～22:00	看護学科5階517研究室
	南：講義予定日の17：30～22:00	看護学科5階515研究室
履修上の注意・担当教員からのメッセージ		
各自研究計画は、研究目的を絶えず意識して進めることを心がけて下さい。		

ナンバリングコード M3NRS-BACM-40-Ex4 授業科目名 (時間割コード：962012) 急性期成人看護学演習 Adult Health Acute Nursing Seminar	科目区分	時間割 前期未定	対象年次及び専攻 医学系研究科
	水準・分野 M3NRS	DP・提供部局 BACM	対象学生・特定プログラムとの対応 40
	授業形態 Ex	単位数 4	
担当教員名 市原 多香子	関連授業科目	急性期成人看護学特論、看護研究方法論	
	履修推奨科目	看護研究方法論	
学習時間 授業90分×30回＋自学自習			
授業の概要 健康危機状況の予防や様々な機能障害から回復促進するための看護実践の中から、問題となる看護現象を研究疑問として捉え、自らの研究課題を焦点化していく支援を行います。文献学習により研究課題とその意義を明確にして、研究課題の解決に向けた適切な研究方法をディスカッションによって追求します。このプロセスを経て研究計画書の作成を支援します。			
授業の目的 成人看護領域における健康障害をもった対象とその家族の問題となる看護現象について、文献検討およびクリティークを通して自らの研究課題を焦点化し、研究課題を解決する適切な研究方法を理解したうえで研究計画書を作成する力を身につけることを目的とします。(以上、DPの「研究能力・応用力」、「専門的知識・理解」、「倫理観・社会的責任」に対応する)			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 研究疑問に関して文献レビューを行い、研究課題を明確にできる。 2. 研究課題を解決するための多様な研究方法について学習し、発表できる。 3. 研究で主要概念となる用語を定義し説明できる。 4. 発表した研究方法の中で、研究課題の解決に適した研究方法を根拠をもって選択できる。 5. 研究計画書を作成することができる。			
成績評価の方法と基準 プレゼンテーション資料、研究計画書の内容を総合的に判断します。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
研究計画書を作成するステップの基本となる知識について、各自が整理したものをプレゼンテーションし、参加者相互のディスカッションを通して理解を深めます。			
第1回	研究計画書を作成するための導入		
第2回	研究論文クリティークその1：因子探索研究		
第3回	研究論文クリティークその2：実態調査研究		
第4回	研究論文クリティークその3：関係探索研究		
第5回	研究論文クリティークその4：介入研究		
第6回	リサーチクエスション		
第7回	リサーチクエスションに関連した文献検索		
第8回	リサーチクエスションに関する文献検討：研究対象者		
第9回	リサーチクエスションに関する文献検討：研究デザイン		
第10回	リサーチクエスションに関する文献検討：測定方法		
第11回	研究課題の明確化		
第12回	研究の概念枠組み		
第13回	研究方法の検討：研究デザイン		
第14回	研究方法の検討：主要概念の定義		
第15回	研究方法の検討：研究背景・意義・目的		
第16回	研究方法の検討：研究対象者		
第17回	研究方法の検討：測定方法		
第18回	研究方法の検討：分析		
第19回	研究方法の検討：研究の倫理的配慮		
第20回	研究計画書の作成：背景		
第21回	研究計画書の修正：背景		
第22回	研究計画書の作成：意義・目的		
第23回	研究計画書の修正：意義・目的		
第24回	研究計画書の作成：倫理的問題		
第25回	研究計画書の修正：倫理的問題		
第26回	研究計画書の作成：研究方法		
第27回	研究計画書の修正：研究方法		
第28回	研究計画書の作成：発表		
第29回	研究計画書の修正：発表		
第30回	まとめ		

教科書・参考書等

教科書なし

参考書

D. F. ポーリット&C. T. ベック著、近藤潤子監訳、看護研究-原理と方法、第2版、医学書院、2011年(9500円+税)

Pamela J. Brink、小玉香津子訳、看護研究計画書-作成の基本ステップ、日本看護協会、2000年

南裕子：看護における研究、日本看護協会出版会、2008年

木原正博：医学的研究のデザイン、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2016年

小笠原知枝：これからの看護研究 基礎と応用、NOUVELLE HOROKAWA、H19年

古谷野亘：実証研究の手引き、ワールドプランニング、2001年

前田樹海：APAに学ぶ看護系論文執筆ルール、医学書院、2013年

オフィスアワー 講義終了後1時間

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に研究テーマに関する多くの書物や文献をよく読んで、知識を整理してから授業に臨んでください。

ナンバリングコード M3NRS-BCAM-40-Ex4 授業科目名 (時間割コード：962022) 慢性期成人看護学演習 Chronic nursing exercises for adults	科目区分	時間割 前期未定	対象年次及び専攻 医学系研究科
	水準・分野 M3NRS	DP・提供部局 BCAM	対象学生・特定プログラムとの対応 40
	授業形態 Ex	単位数 4	
担当教員名 清水 裕子	関連授業科目	看護教育学 看護研究方法論	
	履修推奨科目	看護教育学 看護研究方法論	
学習時間 授業90分×30回 + 自学自習			
授業の概要 慢性期成人看護学演習では、修士論文計画書作成と中間発表が主な内容である。 学生の関心領域のテーマについて文献検索し、クリティークを繰り返して研究テーマを絞り込む。 研究テーマを明らかにするための研究方法の妥当性を検討して、倫理委員会受審までの研究計画書を作成する。その段階で中間発表会に臨み、発表方法や質疑応答の方法を学び、研究方法を具体化していく段階までを行う。			
授業の目的 慢性期成人慢性期から終末期にある成人とその家族の看護を発展させるために、各自が選択したテーマに基づいて、実現可能性のある研究計画を概ね作成できる。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 研究疑問を研究課題として明確化できる。 2. 研究課題に関連する文献検索を行って実現可能性を明らかにできる。 3. 研究に用いる主要概念を整理・説明することができる。 4. 研究課題を解決する妥当な研究方法を説明できる。 5. 以上から、計画書として作成し、他者の質疑に応答できる。			
成績評価の方法と基準 参加度、取り組み態度、プレゼンテーション、計画書内容など総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
授業計画 研究計画書を作成するためのに必要な基本知識と計画書作成までの学習内容を適切に発表し、発展させる。 第1回 授業ガイダンス 清水 第2回 研究計画書の作成までのガイダンス 清水 第3回 現象の分析 清水 第4回 研究疑問の作成方法 清水 第5回 研究疑問の記述方法 清水 第6回 文献検索の方法 清水 第7回 文献検索演習 清水 第8回 文献検索：国内 清水 第9回 文献検索：海外 清水 第10回 研究課題に対応する文献の検索結果の発表 清水 第11回 研究の意義の明確化 清水 第12回 研究の意義の記述方法 清水 第13回 概念分析の考え方 清水 第14回 概念の抽出 清水 第15回 概念分析文献 清水 第16回 研究の主要概念の説明と整理 清水 第17回 研究デザインの考え方 清水 第18回 研究デザインの検討 清水 第19回 研究デザインの記述方法 清水 第20回 研究方法の検討 清水 第21回 分析枠組みの考え方 清水 第22回 データ収集法 清水 第23回 調査方法 清水 第24回 研究における倫理的問題の検討 清水 第25回 研究倫理と研究者の態度 清水 第26回 研究倫理の審査方法 清水 第27回 研究計画書：背景と意義 清水 第28回 研究計画書：目的と方法 清水 第29回 抄録の作成 清水 第30回 中間発表会における発表と質疑応答 清水			

【自学自習へのアドバイス】 各授業は、院生各自が資料となるレジュメを準備し、討論形式で行う。
教科書・参考書等 教科書 アメリカ心理学会（著），前田 樹海（翻訳），江藤 裕之（翻訳），田中 建彦（翻訳），APA論文マニュアル第2版，医学書院，東京，4100円，2011. 古谷野亘・長田久雄，実証研究の手引き，KKワールドプランニング，東京，0992. マルカム・ノールズ，成人教育の現代的実践，鳳書房，2012. 参考図書 島井哲志，ポジティブ心理学，ナカニシヤ出版，京都，2014. 3000円 羽鳥健司，臨床健康心理学，ナカニシヤ出版，京都，2017. 3200円
オフィスアワー ゼミ日に実施する。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 各自の進行状況にあわせて相談に応じる。

ナンバリングコード M3NRS-BACM-40-Ex4 授業科目名 (時間割コード：962103) 小児看護学演習 Pediatric Nursing Seminar	科目区分	時間割 前期未定	対象年次及び専攻 1～医学系研究科
	水準・分野 M3NRS	DP・提供部局 BACM	対象学生・特定プログラムとの対応 40
	授業形態 Ex	単位数 4	
担当教員名 谷本 公重, 鈴木 智子	関連授業科目	小児看護学特論、小児看護学特別研究	
	履修推奨科目	看護倫理学、看護研究方法論1、看護研究方法論2、小児看護学特論、小児看護学特別研究	
学習時間 授業90分×30回＋自学自習			
授業の概要 それぞれのテーマに沿って文献をクリティークおよびレビューしつつ、研究テーマの明確化を支援します。さらに、文献検討をすすめて自己の研究方法を具体的に検討し、研究計画書の作成を支援します。なお、院生間の発表、ディスカッションは概念の明確化や論理的表現を助けます。履修者には積極的に参加する事を求めます。			
授業の目的 小児看護分野での主要なテーマに関する論文をクリティーク・レビューし、研究テーマを決定する。そのうえで、研究の基本要件を踏まえて、研究計画書を作成することを目的とする。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 研究の問いに関して文献レビューを行い、研究課題を明確化できる。 2. 自己の研究課題を過去の研究の蓄積の中で適切に位置づけることができる。 3. 研究課題に応じた適切な研究対象者や研究方法を選択できる。 4. 研究計画書を作成できる。 (以上、DPの「研究能力・応用力」「専門知識・理解」および「倫理観・社会的責任」に対応)			
成績評価の方法と基準 講義での発言、プレゼンテーションや討議の内容およびレポートから、積極性・論理性・理解力・表現力等を総合的に評価します。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
講義および院生によるプレゼンテーションと討議で展開する。そのため、自学自習による準備・学習が必要。			
第1回：文献のクリティークとレビュー（復習） 谷本・鈴木 第2回：興味ある量的研究をクリティーク 鈴木 第3回：興味ある量的研究（英語）をクリティーク 谷本 第4回：興味ある質的研究をクリティーク 谷本 第5回：興味ある質的研究（英語）をクリティーク 谷本 第6回：既読の文献による知見の整理 谷本 第7回：リサーチクエッションの明確化 谷本 第8回：研究すべき問題の発見 谷本 第9回：研究テーマの明確化 谷本 第10回：リサーチミーティング：研究テーマ 谷本・鈴木 第11回：研究目的の明確化 谷本 第12回：研究目的の文章化 谷本 第13回：研究方法の検討－研究デザイン 谷本 第14回：研究方法の検討－研究枠組み 谷本 第15回：研究方法の検討－仮説の立案 谷本 第16回：研究方法の検討－対象の選定、取り込み基準、除外基準 谷本 第17回：研究方法の検討－可能性のある対象者への不利益検討 谷本 第18回：研究方法の検討－倫理的配慮 谷本 第19回：研究方法の検討－分析方法 プロセス 谷本 第20回：研究方法の検討－分析方法 信頼性・妥当性・真実性 谷本 第21回：分析方法に関する演習－自己の方法に応じて演習 谷本 第22回：分析方法に関する演習－質であればインタビュー演習 谷本 第23回：分析方法に関する演習－量であれば統計ソフト演習 谷本 第24回：リサーチミーティング：研究方法 谷本・鈴木 第25回：研究計画書作成－ひな形の選択 谷本 第26回：研究計画書作成－目的・背景・意義・方法 谷本 第27回：研究計画書作成－研究参加への同意を得る方法、同意書・撤回書作成 谷本 第28回：研究計画書作成－データ管理 谷本 第29回：医学部倫理委員会への電子申請 谷本 第30回：リサーチミーティング：進捗状況に関して 谷本・鈴木			

教科書・参考書等

【教科書】

- ・ Burns N, Grove SK (2005)/ 黒田裕子, 中木高夫, 逸見功訳 (2015): パーンズ&グローブ看護研究入門ー評価・統合・エビデンスの生成ー, エルゼビア・ジャパン. (9,720円)
- ・ APA(2010)/前田樹海, 江藤裕之, 田中建彦訳 (2011): APA論文作成マニュアル, 医学書院. (4,104円)
- ・ 前田樹海, 江藤裕之 (2012): APAに学ぶ看護系論文執筆のルール, 医学書院. (1,944円)

【参考書】

- ・ Hulley, SB. et al (2007)/木原雅子, 木原正博訳 (2014): 医学的研究のデザイン(第4版), メディカル・サイエンス・インターナショナル. (5,076円)
- ・ Mitchell HK. (2010)/木原雅子, 木原正博訳 (2013): 医学的介入の研究のデザインと統計, メディカル・サイエンス・インターナショナル. (3,996円)
- ・ Byrne, DW. et al. (1998)/木原正博, 木原雅子訳 (2001): 国際誌にアプセプトされる医学論文, メディカル・サイエンス・インターナショナル. (4,860円)
- ・ Burns N, Grove SK (2005)/ 黒田裕子, 中木高夫, 逸見功訳 (2015): パーンズ&グローブ看護研究入門ー評価・統合・エビデンスの生成ー, エルゼビア・ジャパン. (9,720円)

オフィスアワー 講義予定日の18時から22時。また、メール等で適宜受け付けます。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

講読する文献に関しては、医学部図書館でガイダンスしていただける医中誌、PubMed等を用いて系統的に検索を行い、文献管理ツール (Mendeley) を利用して効率よく管理してください。

実際に研究に取り掛かるためには、年2回開催される修士論文中間発表会での発表および医学部倫理委員会での申請が必要となります。このことを考慮し、計画的に研究計画を作成することが必要です。

ナンバリングコード M3NRS-BCAM-40-Ex4 授業科目名 (時間割コード: 962203) 母性看護学演習 Maternal Nursing Seminar	科目区分	時間割 前期未定	対象年次及び専攻 1～医学系研究科
	水準・分野 M3NRS	DP・提供部局 BCAM	対象学生・特定プログラムとの対応 40
	授業形態 Ex	単位数 4	
担当教員名 佐々木 睦子, 石上 悦子	関連授業科目	母性看護学特論	
	履修推奨科目	母性看護学特論	
学習時間 講義90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 母性看護学領域における自己の研究課題と研究方法について探求する能力を養う			
授業の目的 文献による先行研究の検討から, 自己の研究課題に即した研究方法の明確化をはかる 研究が実施できるよう準備をする (DPの「研究能力・応用力」に対応)			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 文献による研究の動向から, 研究テーマについて検討できる 2. テーマにより研究目的が明確にできる 3. 研究計画書が作成できる 4. 中間発表に向けて準備し発表できる 5. 研究計画書の修正ができる			
成績評価の方法と基準 プレゼンテーション, レポート内容と研究計画書で総合的に評価する.			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
講義と演習、課題へのプレゼンテーション、ディスカッション			
第 1回－第 2回 ガイダンス, 母性看護学領域における研究の動向 第 3回－第 4回 母性看護学領域における研究の動向 第 5回－第 6回 母性看護学領域の研究論文クリティーク 第 7回－第 8回 母性看護学領域の研究論文クリティーク 第 9回－第10回 文献クリティークによる研究課題の検討－量的研究 第11回－第12回 文献クリティークによる研究課題の検討－質的研究 第13回－第14回 研究課題の明確化 第15回－第16回 研究課題の明確化 第17回－第18回 研究計画書－研究デザインの検討 第19回－第20回 研究計画書－研究方法論の検討 第21回－第22回 研究計画書－研究方法論の検討 第23回－第24回 研究計画書－倫理的問題 第25回－第26回 研究計画の発表準備 第27回－第28回 研究計画の発表 第29回－第30回 研究計画書修正, まとめ			
自学自習 講義時間だけでは十分に検討された研究計画書作成は難しいため, 主体的な自学自習が重要			
教科書・参考書等 参考書 1. D.F. ポーリット／C.T. ベック, 近藤潤子監訳: 看護研究－原理と方法(第2版), 医学書院, 2010. 2. キャロル・ガービッチ, 上田礼子他訳: 保健医療職のための質的研究入門, 医学書院, 2003. 3. 谷津裕子: Start Up質的看護研究 第2版, 学研, 2015. 4. I. ホロウエイ S. ウイラー, 野口美和子監訳: ナースのための質的研究入門第2版, 医学書院, 2006. 5. 戈木クレイグヒル滋子: 質的研究方法ゼミナール, グランデットセオリー・アプローチを学ぶ, 第2版, 医学書院, 2013. 6. 山本則子, 萱間真美他: グランデットセオリー法を用いた看護研究のプロセス, 文光堂, 2002. 7. APA(アメリカ心理学会), 前田樹海, 江藤裕之, 田中建彦訳: APA論文作成マニュアル第2版, 医学書院, 2011. *随時提示する			
オフィスアワー 講義終了後, 随時			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ *国内外の看護系学会に積極的に参加し, 最新の研究動向やプレゼンテーションの実際を学ぶことで, 研究能力育成を期待する. *授業の準備等, 学生の主体的参加を求める.			

ナンバリングコード M3NRS-BACM-40-Ex4 授業科目名 (時間割コード：962312) 老年看護学演習 Gerontological Nursing Seminar	科目区分	時間割 前期未定	対象年次及び専攻 医学系研究科
	水準・分野 M3NRS	DP・提供部局 BACM	対象学生・特定プログラムとの対応 40
	授業形態 Ex	単位数 4	
担当教員名 大森 美津子	関連授業科目	老年看護学特論、特別研究	
	履修推奨科目	看護研究方法論、看護研究特論	
学習時間 授業 90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 研究の概要について理解を深めた上で、様々な視点から研究テーマを検討し、研究テーマを絞り込む。研究に用いられる概念に基づいた文献検討を行い、その概念に関する研究について見識を深め、研究方法を検討する。研究計画書の作成を行い、中間発表により得られた意見も参考に研究計画書を修正する。			
授業の目的 老年看護の領域の対象とその家族が置かれている状況や体験について学ぶと共に、老年看護の領域の対象とその家族の看護及び援助の実態（DP「専門的知識・理解」に対応）について学ぶ。その中で、修士論文のテーマを明らかにし、研究テーマに関連する文献検討を行う。研究方法を検討し、修士論文の計画書の作成（DP「研究能力・応用力」に対応）をめざす。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 関心のある老年看護の対象の体験や看護の実態について説明できる。 2. 研究テーマに関連する文献検討を行い、修士論文のテーマを決めることができる。 3. 研究テーマに適切な研究方法を説明できる。 4. 計画する研究に必要な倫理的配慮を説明できる。 5. 修士論文の計画書を作成できる。			
成績評価の方法と基準 レポートと修士論文の計画書を総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第1回	オリエンテーション	大森	
第2回	研究計画書の作成方法-使用する本を決める	大森	
第3回	研究計画書の作成方法-テーマを定める方法を考える	大森	
第4回	研究計画書の作成方法-研究方法を決める方法を考える	大森	
第5回	研究計画書の作成方法-倫理的配慮を考える	大森	
第6回	文献批判による内容の把握-研究の背景	大森	
第7回	文献批判による内容の把握-研究テーマ	大森	
第8回	文献批判による内容の把握-研究方法	大森	
第9回	文献批判による内容の把握-論理の一貫性	大森	
第10回	研究テーマに関する検討-研究成果	大森	
第11回	研究テーマに関する検討-研究成果のまとめ	大森	
第12回	研究テーマに関する検討-論理の一貫性	大森	
第13回	研究テーマに関する検討-研究の意義	大森	
第14回	研究テーマに関連する文献検討-論理的展開	大森	
第15回	研究テーマに関連する文献検討-対象	大森	
第16回	研究テーマに関連する文献検討-研究方法	大森	
第17回	研究テーマに関連する文献検討-倫理的配慮	大森	
第18回	研究計画書の作成 (研究テーマ)	大森	
第19回	研究計画書の作成 (研究の背景・意義)	大森	
第20回	研究計画書の作成 (研究の目的)	大森	
第21回	研究計画書の作成 (研究の方法)	大森	
第22回	研究計画書の作成 (研究の倫理的配慮)	大森	
第23回	中間発表	大森	
第24回	研究計画書の作成 (研究テーマの修正)	大森	
第25回	研究計画書の作成 (研究の背景・意義の修正)	大森	
第26回	研究計画書の作成 (研究の目的の修正)	大森	
第27回	研究計画書の作成 (研究の方法の修正)	大森	
第28回	研究計画書の作成 (研究の倫理的配慮の修正)	大森	
第29回	研究計画発表	大森	
第30回	研究計画書のまとめ・提出	大森	

第1回	研究に関する講義を振り返る。
第2回	研究計画書の作成方法-使用する本を決め、内容をまとめる
第3回	研究計画書の作成方法-テーマを定める方法を発表する
第4回	研究計画書の作成方法-研究方法を決める方法を考え発表する
第5回	研究計画書の作成方法-倫理的配慮を考え発表する
第6回	文献批判による内容の把握-研究の背景について批判する
第7回	文献批判による内容の把握-研究テーマについて批判する
第8回	文献批判による内容の把握-研究方法について批判する
第9回	文献批判による内容の把握-論理の一貫性について批判する
第10回	研究テーマに関する検討-研究成果と比較する
第11回	研究テーマに関する検討-研究成果をまとめる
第12回	研究テーマに関する検討-論理の一貫性について検討する
第13回	研究テーマに関する検討-研究の意義について検討する
第14回	研究テーマに関連する文献検討-論理的展開を理解する
第15回	研究テーマに関連する文献検討-対象を考える
第16回	研究テーマに関連する文献検討-研究方法を考える
第17回	研究テーマに関連する文献検討-倫理的配慮を考える
第18回	研究計画書の作成 研究テーマを検討する
第19回	研究計画書の作成 研究の背景・意義を検討する
第20回	研究計画書の作成 研究の目的を検討する
第21回	研究計画書の作成 研究の方法を検討する
第22回	研究計画書の作成 研究の倫理的配慮を検討する
第23回	中間発表で発表する
第24回	研究計画書の作成 研究テーマの修正する
第25回	研究計画書の作成 研究の背景・意義を修正する
第26回	研究計画書の作成 研究の目的を修正する
第27回	研究計画書の作成 研究の方法を修正する
第28回	研究計画書の作成 研究の倫理的配慮を修正する
第29回	研究計画を発表し、意見を聞く
第30回	研究計画書をまとめ提出する。
教科書・参考書等	
教科書 特になし	
参考書 よくわかる質的研究方法の進め方・まとめ方 第2版, グレグ美鈴他編, 医歯薬出版, 2016, 3,780円	
オフィスアワー 月曜日17時から18時30分	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ	
わかりやすい研究に関する本を参考にしながら、関心のあるテーマに主体的に取り組んで欲しい。	

ナンバリングコード M3NRS-BACM-40-Ex4 授業科目名 (時間割コード: 963202) 精神看護学演習 Mental Health and Psychiatric Nursing Seminar	科目区分	時間割 前期未定	対象年次及び専攻 医学系研究科
	水準・分野 M3NRS	DP・提供部局 BACM	対象学生・特定プログラムとの対応 40
	授業形態 Ex	単位数 4	
担当教員名 渡邊 久美	関連授業科目	精神看護学特論	
	履修推奨科目	看護研究特論	
学習時間 授業 90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 研究の概要について理解を深めた上で、様々な視点から研究テーマを検討し、研究テーマを絞り込む。研究に用いられる概念に基づいた文献検討を行い、その概念に関する研究について見識を深め、研究方法を検討する。研究計画書の作成を行い、中間発表により得られた意見も参考に研究計画書を修正する。			
授業の目的 精神看護の対象となるメンタルヘルスに問題を持つ人や、精神障害者及びその家族の置かれている状況と看護及び援助の実態について学ぶ。その中で、修士論文のテーマを明らかにし、研究テーマに関連する文献検討を行う。研究方法を検討し、修士論文の計画書を作成する。(以上、D Pの「研究能力・応用力」、「専門知識・理解」、「倫理観・社会的責任」に対応する)			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 精神看護の対象となる当事者とその家族が置かれている状況や体験を説明できる。 2. 精神看護の対象となる当事者とその家族への看護について説明できる。 3. 修士論文のテーマを述べることができる。 4. 研究テーマに関連する文献検討の結果を、順序立てて説明できる。 5. 修士論文の計画書を作成できる。			
成績評価の方法と基準 レポート(一貫性・論理性・発展性)と修士論文の計画書を総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 講義、テーマに基づいた院生のプレゼンテーション、テーマに関するディスカッション、レポート			
第1回 オリエンテーション 第2回 文献クリティーク(日本における現状と課題) 第3回 文献クリティーク(諸外国の現状と課題) 第4回 文献クリティーク(自己の経験に基づく課題の整理) 第5回 文献クリティーク(首尾一貫性の確認、用語の定義の検討) 第6回 文献クリティーク(研究デザインとエビデンスレベル) 第7回 文献クリティーク(サブストラクション) 第8回 文献クリティーク(社会的意義の観点から) 第9回 研究テーマ検討(周辺領域との比較) 第10回 研究テーマ検討(Research Questionの検討; 上位目標の確認) 第11回 研究テーマ検討(Research Questionの検討; 研究目的の明確化) 第12回 研究テーマに関連する文献検討(研究方法; 質的研究の種類) 第13回 研究テーマに関連する文献検討(研究方法; 質的研究/M-GTAを中心に) 第14回 研究テーマに関連する文献検討(研究方法; 量的研究/理論的枠組み) 第15回 研究テーマに関連する文献検討(研究方法; 量的研究/研究デザインと統計処理) 第16回 研究テーマに関連する文献検討(研究方法; プログラム評価の理論) 第17回 研究テーマに関連する文献検討(研究方法; プログラム評価の方法) 第18回 研究計画書の作成(研究テーマの検討) 第19回 研究計画書の作成(研究の背景・意義の検討) 第20回 研究計画書の作成(研究の目的の検討) 第21回 研究計画書の作成(研究の方法の検討) 第22回 研究計画書の作成(研究の倫理的配慮の検討) 第23回 中間発表 第24回 研究計画書の作成(研究テーマの修正) 第25回 研究計画書の作成(研究の背景・意義の修正) 第26回 研究計画書の作成(研究の目的の修正) 第27回 研究計画書の作成(研究の方法の修正) 第28回 研究計画書の作成(研究の倫理的配慮の修正) 第29回 研究計画発表 第30回 まとめ			

教科書・参考書等
教科書 なし
参考書 プログラム評価の理論と方法, ピーター・H・ロッシ著, 大島巖監訳 (日本評論社, 2005)
オフィスアワー 月曜日17時から18時30分
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 日頃から関心のあるテーマの国内外の研究成果に着目し、周辺領域の文献にも視野を広げていきましょう。

ナンバリングコード M3NRS-BCAM-40-Ex4 授業科目名 (時間割コード：963103) 在宅看護学演習 Seminar in Home Care Nursing	科目区分	時間割 前期未定	対象年次及び専攻 1～医学系研究科
	水準・分野 M3NRS	DP・提供部局 BCAM	対象学生・特定プログラムとの対応 40
	授業形態 Ex	単位数 4	
担当教員名 松井 妙子	関連授業科目	在宅看護学特論、在宅看護学特別研究	
	履修推奨科目	看護研究方法論、看護倫理学	
学習時間 授業90分×30回 + 自学自習			
授業の概要 教員は学生の関心領域に沿って、先行研究の動向を調べ、文献レビューを行うよう指導する。学生が興味を持つ研究課題を明確にし、概念モデルの作成、研究目的の明確化、研究対象の選定、分析方法など研究計画書の概要を作成するよう指導する。			
授業の目的 ① 在宅看護学分野における学生自身の関心領域の論文を読み、研究のキーワードを明らかにする。 ② 在宅看護学分野における学生自身の関心領域の論文をクリティークし、文献レビューを行い、研究課題を明確にする。 ③研究課題から研究目的を明確にする。 ④研究目的に沿った研究方法を検討し、研究計画を立てる。 ⑤自身の研究計画のプレゼンテーションを行い、研究計画の修正を行う。 ⑥修士論文中間発表会においてプレゼンテーションを行う。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自己の関心領域について、適切なキーワードを述べることができる。 2. 自己の関心領域に関する先行研究を収集することができる。 3. 先行研究のレビュー、クリティークを行い、文献レビューをまとめることができる。 4. 自己の関心領域の中で、研究課題の位置づけを明確に示すことができる。 3. 自己の関心領域に関する論文の研究目的を明確に示すことができる。 4. 研究目的に応じた適切な研究対象や研究方法を選択できる。 5. 学生の関心に沿った研究計画書を作成できる。 6. 研究計画を公開発表会でプレゼンし、研究の質を向上するために意見を収集し、研究計画書を修正できる。			
成績評価の方法と基準 評価は、演習授業におけるプレゼンテーション内容、参加状況、作成された研究計画書の内容により総合的に評価します。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
院生によるプレゼンテーションと討議で展開する。			
第1回 在宅看護関連の論文クリティーク 第2回 研究プロセスの理解 第3回 論文クリティークの意義と実践 第4回 論文クリティーク演習1：質的研究のクリティーク 第5回 論文クリティーク演習2：量的研究のクリティーク 第6回 文献レビューについて：論文クリティークの内容の文章化 第7回 リサーチ・クエスチョンについて 第8回 研究テーマの明確化 第9回 論文クリティーク演習3：研究テーマ関連の論文 第10回 論文クリティーク演習4：より広範囲での関連を探索する 第11回 知見の整理 第12回 リサーチ・クエスチョンから研究仮説へ 第13回 研究課題の抽出 第14回 研究目的について 第15回 概念モデルについて 第16回 概念モデル演習1：作成の手順 第17回 概念モデル演習2：実践 第18回 研究目的の明確化 第19回 研究目的に沿った概念枠組みの明確化 第20回 研究デザインの明確化			

第21回 研究対象の選定とその方法
 第22回 分析方法の明確化
 第23回 研究の信頼性と妥当性、信用性、信用可能性について
 第24回 研究計画書の機能と内容
 第25回 研究計画書作成演習1：背景と重要性
 第26回 研究計画書作成演習2：文献レビューの作成、予備研究について
 第27回 研究計画書作成演習3：倫理的配慮について
 第28回 研究計画書作成演習4：作成と検討
 第29回 修士論文中間発表会におけるプレゼンテーションの準備演習
 第30回 修士論文中間発表会におけるプレゼンテーション

教科書・参考書等

教科書、使用しない

参考書

- ・松村 真司著、概念モデルをつくる、NPO法人健康医療評価研究機構
- ・中木 高夫／川崎 修一訳、看護における理論構築の方法、医学書院
- ・山田智恵里監訳、看護の重要コンセプト20：看護分野における概念分析の試み、エルゼビア・ジャパン
- ・石井京子、ナースのための質問紙調査とデータ分析、第2版、医学書院
- ・野口 美和子、伊庭 久江訳、ナースのための質的研究入門 研究方法から論文作成まで、第2版、医学書院
- ・古谷野亘、長田久雄、実証研究の手引き 調査と実験の進め方・まとめ方、ワールドランニング
- ・中山和弘、看護学のための多変量解析入門、医学書院

オフィスアワー 随時

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

学生の専門領域と在宅看護を関連させて探求すること

ナンバリングコード M3NRS-BCAM-40-Ex4 授業科目名 (時間割コード: 963003) 地域看護学演習 Community Health Nursing Seminar	科目区分	時間割 前期未定	対象年次及び専攻 1～医学系研究科
	水準・分野 M3NRS	DP・提供部局 BCAM	対象学生・特定プログラムとの対応 40
	授業形態 Ex	単位数 4	
担当教員名 森永 裕美子, 辻 京子	関連授業科目	看護研究方法論 1, 看護研究方法論 2	
	履修推奨科目	地域看護学特論	
学習時間 講義 90分×30回+自学自習			
授業の概要 1. 量的ならびに質的研究、そして両者を一緒に用いるミックス法をデザインしていく際に必要となる概念枠組み、研究のプロセスとそのプロセスを進めていくためのアプローチについて学ぶ。 2. 地域看護学分野における各自の研究を進めるために、地域看護研究の進め方とまとめ方を学ぶ。 3. 各自のテーマに関連した文献をクリティークすることを通して、先行研究の動向を踏まえつつ、各自の研究テーマを決定し研究計画書を作成する。 4. M2生の研究進捗状況の発表をもとに、系統だった看護研究の進め方を学ぶ			
授業の目的 1. 看護研究の地域看護研究の進め方とまとめ方が理解できる (DPの「研究能力・応用力」に対応)。 2. 自らの研究テーマ・目的・方法を明確にして、研究計画書を作成できる。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 先行研究の動向を文献レビューにまとめ、自らの研究の方向性を確認できる。 2. 各自の研究テーマを決定する。 3. 研究テーマに沿った研究目的を研究可能な次元に具体化できる。 4. 研究目的に沿った研究対象を選定できる。 5. 研究目的に沿った研究方法を選択できる。 6. 研究計画書を作成できる。			
成績評価の方法と基準 出席状況および主体的参加状況 (10%), 発表資料 (20%) 研究計画書の完成度 (70%)			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
文献1を読み理解しよう 第1回: ガイダンス, 研究デザインの枠組み 森永・辻 第2回: 文献レビュー, 執筆戦略と倫理的配慮 森永・辻 第3回: 序論について, 目的の言明 森永・辻 第4回: 研究上の問いと仮説, 理論の活用 森永・辻 : 自らのテーマと研究デザイン・文献レビューの発表 森永・辻 第5回: 定義・限界・意義 森永・辻 第6回: 自らの研究の序論・目的・仮説・理論の活用について発表 森永・辻 第7回: 量的研究法 森永・辻 第8回: 自らの研究の定義・限界・意義について発表 森永・辻 第9回: 質的研究法 森永・辻 第10回: 自らの研究計画書の発表 その1 森永・辻 第11回: ミックス法 森永・辻 第12回: 自らの研究計画書の修正と発表 その2 森永・辻 文献2を読み理解しよう 第13回: 地域保健活動と研究 森永・辻 : 地域保健活動における疫学研究 : 自らの研究計画書の修正と発表 その3 第14回: 地域看護活動における質的研究 森永・辻 : 地域保健活動における経済評価 : 自らの研究計画書の修正と発表 その4 第15回: 研究計画書のまとめ・提出 森永・辻 【自学自習のアドバイス】 第1回～第8回 文献1の講義の範囲を読む, 前回の講義を復習し発表資料を作成する 第9回～第12回 文献1の講義の範囲を読む, 研究計画を作成する 第13回～第14回 文献2の講義範囲を読む, 研究計画書を作成する 第15回 研究計画書を完成させる			

教科書・参考書等

1. JonW.Creswell著, 操華子・森岡崇訳: 研究デザインー質的・量的・そしてミックス法ー, 日本看護協会出版会, 最新版.
2. 横山美江: 地域看護研究の進め方・まとめ方, 医歯薬出版, 最新版.
3. その他 授業中に順次紹介する。

オフィスアワー 授業終了後 1 時間

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

研究計画書の作成に向け、積極的に取り組んでください。

ナンバリングコード 授業科目名（時間割コード：965001） 特別研究 Master's Thesis	科目区分	時間割 前期未定	対象年次及び専攻 医学系研究科
	水準・分野 M4NRS	DP・提供部局 BACM	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Ex	単位数 10	
担当教員名 谷本 公重，峠 哲男，藤井 豊，前川 泰子，市原 多香子，清水 裕子，佐々木 睦子，大森 美津子，渡邊 久美	関連授業科目	各領域特論・演習	
	履修推奨科目 理学	看護研究方法論1、看護研究方法論2、看護倫理	
学習時間 授業90分×75回＋自学自習			
授業の概要 各自の研究テーマを倫理的課題を考慮の上、探究し、研究を企画・実施し、修士論文を完成することをねらいとしています。 修士論文の作成にあたっては、国内外の知見を総覧し、研究課題を明確にできる能力や研究目的を追求できる合理的な判断力と実践力、データ分析に関わる質的・量的技法の修得を促していきます。また、研究成果を科学的に根拠づけ、科学の発展に寄与できる論文の完成をめざします。			
授業の目的 研究計画書に基づき研究方法論を決定するとともに、用いる方法論の実際を修得する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 研究テーマや研究目的を決定し、自己の研究計画について説明することができる。 2. 文献検討後、レビューとして記述することができる。 3. データの収集方法、分析方法の妥当性について説明することができる。 4. 倫理的配慮について記述することができる。 5. 科学的論文のあり方を説明することができる。 6. 自己の研究課題を論文としてまとめ、修士論文発表会において発表することができる。 (以上、DPの「研究能力・応用力」「専門知識・理解」および「倫理観・社会的責任」に対応する)			
成績評価の方法と基準 研究過程での学習内容、修士論文および発表内容等を総合して評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 院生と指導教員との対面授業を主とするが、途中において、教室全体での討議（リサーチミーティング）をおこない、研究を実施していきます。授業の進行は、個々の研究課題および研究方法により、異なります。データを収集・分析しながら、論文作成を同時に行う場合もあります。 指導教員に適切に指導を受け、研究実施・論文作成をおこなってください。			
第1回 研究計画の再検討：一貫性の検討 第2回 研究計画の再検討：研究方法の再検討 第3回 研究計画の再検討：倫理的課題の再検討 第4回 研究計画の再検討：追加文献レビュー 第5回 データ収集：対象者へのアプローチ 第6回 データ収集：インフォームドコンセント・アセント 第7回 データ収集：自己の研究方法に応じて初回データ収集 第8回 データ収集：引き続き、初回データ収集を行う 第9回 初回データの入力 第10回 初回データの入力内容のチェック 第11回 初回データの修正 第12回 初回データの検討 第13回 初回データに基づき、データ収集方法の検討 第14回 リサーチミーティング：データ収集方法の提示 第15回 リサーチミーティング：データ収集の修正 第16回 データ収集：見直したデータ収集方法による 第17回 データ収集：適宜指導を受けながらデータ収集を行う 第18回 データ収集：データの入力を行いながらデータ収集を行う 第19回 データ収集：データの整理を行いながらデータ収集を行う 第20回 データ整理：自己の研究方法に応じてデータの整理を行う 第21回 データ整理：客観的資料となるようデータを整理する 第22回 データ整理：入力内容の確認 第23回 データ整理：入力内容に関して、指導を受ける 第24回 リサーチミーティング：基本データの確認 第25回 リサーチミーティング：データ整理方法の修正			

- 第26回 データ分析：自己の研究方法に応じてデータ分析
- 第27回 データ分析：分析のプロセスを残す
- 第28回 データ分析：データの質の評価－信頼性
- 第29回 データ分析：データの質の評価－妥当性
- 第30回 データ分析：データの質の評価－信用性
- 第31回 データ分析：データの質の評価－明解性
- 第32回 データ分析：データの質の評価－確認可能性
- 第33回 データ分析：データの質の評価－転用可能性
- 第34回 リサーチミーティング：分析結果の提示
- 第35回 リサーチミーティング：分析結果の検討
- 第36回 データ分析：ミーティングに基づき適宜修正
- 第37回 結果の要約：結果として記述
- 第38回 結果の要約：研究方法に応じた図表作成
- 第39回 結果の要約：研究方法に応じた結果の記述
- 第40回 結果の要約：客観的・具体的記述
- 第41回 結果の要約：論理的記述
- 第42回 リサーチミーティング：結果の説明
- 第43回 リサーチミーティング：結果の検討
- 第44回 結果の要約：ミーティング結果に基づく修正
- 第45回 結果の要約：結果完成
- 第46回 考察：明らかになったことの確認
- 第47回 考察：結果の解釈
- 第48回 考察：結果は何を意味しているのか
- 第49回 考察：自己の主張を客観的に証明
- 第50回 考察：既存の知識との比較
- 第51回 考察：解釈の妥当性の記述
- 第52回 考察：研究目的達成のために研究方法は適切であったか
- 第53回 考察：看護への示唆
- 第54回 考察：研究の限界
- 第55回 考察：今後の研究課題
- 第56回 リサーチミーティング：考察の説明
- 第57回 リサーチミーティング：考察の検討
- 第58回 考察：ミーティング結果に基づく修正
- 第59回 考察：考察の完成
- 第60回 論文作成：作成要領の確認
- 第61回 論文作成：IMRAD
- 第62回 論文作成：序論（研究問題）
- 第63回 論文作成：序論（研究問題の重要性）
- 第64回 論文作成：序論（研究設問や研究仮説など）
- 第65回 論文作成：文献レビュー
- 第66回 論文作成：目的
- 第67回 論文作成：方法（研究デザイン、対象と設定）
- 第68回 論文作成：方法（データ収集用具、手法、データ分析）
- 第69回 論文作成：結果
- 第68回 論文作成：考察
- 第69回 論文作成：研究の限界
- 第70回 論文作成：引用文献リスト確認
- 第71回 論文作成：結論
- 第72回 論文作成：タイトル、キーワード
- 第73回 論文作成：要旨
- 第74回 発表準備、抄録・発表要旨の作成
- 第75回 修士論文審査後の論文修正、提出

教科書・参考書等

【教科書】

- ・APA(2010)/前田樹海，江藤裕之，田中建彦訳(2011)：APA論文作成マニュアル，医学書院。（4,104円）
- ・グレッグ美鈴他編：よくわかる質的研究の進め方・まとめ方 第2版，医歯薬出版，2016。（3,780円）

その他、各自の研究課題・研究手法に応じて、適宜、指導教員より指示があります。

【参考書 特になし】

オフィスアワー 各指導教員による。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

香川大学大学院医学系研究科（看護学専攻）修士課程では、院生の研究課題に関して、年2回開催される修士論文中間発表会において公開指導を受けること、加えて、医学部倫理委員会に倫理審査申請をおこない、承認を得ることを指導しています。計画的に研究を実施してください。

10 修士論文の作成と提出

1) 修士論文作成プロセス 3月修了予定者

(1) 学位論文題目届受付

学位論文題目届受付期間中17時までの間に、学位論文題目届（様式501）を学務課大学院担当に提出する。

(2) 一次審査論文受付

一次審査論文受付期間中、最終12時までの間に、以下を添えて学務課大学院担当に提出する。

- ・学位論文審査願（様式502） 1部
 - ・学位論文（審査用最終論文表紙をつける）（様式506） 3部
 - ・学位論文の内容の要旨（様式503） 4部
 - ・論文目録（様式504） 4部
- （参考文献は修士論文作成に参考にした修士生自身による論文がある場合に記入）
- ・履歴書（様式505） 4部

(3) 一次論文審査期間

指定期間中に主査、副主査により3月修了候補者出席のもと実施する。

(4) 修士論文発表会

発表会用資料はA3用紙3枚以内とする。

発表はPower Point（パワーポイント）を使用可とする。

予備日あり

(5) 修正した修士論文に様式506を付けて、指定期限までに主査に3部提出する。

＊この時、学位論文表紙（様式507）1枚を併せて提出する。

＊論文題目に変更がある場合は、学位論文題目変更届（様式）を提出する。

(6) 最終論文審査期間

指定期間中に主査、副主査により実施する。

(7) 学位論文提出

最終論文審査終了後、主査からの審査報告に基づき作成された学位論文を受付期間の最終12時までに学務課大学院担当に2部提出する。

＊この時、コピーした学位論文表紙（様式507）をつける。

＊大学院担当に2部提出されたうちの1部を、大学院担当から主査に送付する。

(8) 学位授与決定（3月中旬の医学系研究科教授会専門委員会）

(9) 学位授与 学位記授与式（幸町キャンパス）

(10) 製本された報告用学位論文（最終論文表紙原本をつけたもの）を学位授与式前日までに、1部、学務課に提出する。この時、学位論文提出期間までに提出された論文と引き換えにする。

9月修了予定者

(1) 学位論文題目届受付

学位論文題目届受付期間中17時までの間に、学位論文題目届（様式501）を学務課大学院担当に提出する。

(2) 一次審査論文受付

一次審査論文受付期間中、最終12時までの間に、以下を添えて学務課大学院担当に提出する。

- ・学位論文審査願（様式502） 1部
 - ・学位論文（審査用最終論文表紙をつける）（様式506） 3部
 - ・学位論文の内容の要旨（様式503） 4部
 - ・論文目録（様式504） 4部
- （参考文献は修士論文作成に参考にした修士生自身による論文がある場合に記入）
- ・履歴書（様式505） 4部

(3) 一次論文審査

指定期間中に主査、副主査により9月修了候補者出席のもと実施する。

(4) 修士論文発表会

発表会用資料はA3用紙3枚以内とする。

発表はPower Point（パワーポイント）を使用可とする。

予備日あり

(5) 修正した修士論文に様式506を付けて、指定期限までに主査に3部提出する。

＊この時、学位論文表紙（様式507）1枚を併せて提出する。

＊論文題目に変更がある場合は、学位論文題目変更届（様式）を提出する。

(6) 最終審査期間

指定期間中に主査、副主査により実施する。

(7) 学位論文提出

最終論文審査終了後、主査からの審査報告に基づき作成された学位論文を受付期間の最終12時までに学務課大学院担当に2部提出する。

＊この時、コピーした学位論文表紙（様式507）をつける。

＊2部の配布先は、主査と学務課に各1部

(8) 学位授与決定（9月中旬の医学系研究科教授会専門委員会）

(9) 学位授与

9月下旬 学位記授与式（医学部キャンパス）

(10) 製本された報告用学位論文（学位論文表紙原本をつけたもの）を学位授与式前日までに1部、学務課に提出する。この時、学位論文提出期間までに提出された論文と引き換えにする。

2) 修士論文作成の要領

- (1) 原稿は、P Cを用いて作成する。
- (2) 原稿は、新仮名づかいを用い、原則として常用漢字とする。句読点は、「，．」を用いる。
- (3) 単位は、原則として国際単位系（SI）とする。特殊な単位を用いるときは、簡単な説明を加える。
- (4) 外国の固有名詞（人名、地名など）は、原語のまま、またはカタカナ表記とする。
- (5) 略語は、論文にしばしば繰り返される語について差し支えないが、初出の時には、完全な用語を用い、その後略語を用いることを明記する。
- (6) 論文には、内容が理解できるように1200字程度の要旨をつけ、3～5個のキーワードをつける。
- (7) 論文の構成は、原則として次のようにする。項目分けは、I、1、1）、(1)、①の区分とする。

【論文構成】

表紙 …… 様式506、507用紙使用

要旨、キーワード

目次

I. 序論（ページ1、2、3・・・を入れる）

II. 文献レビュー

III. 目的

IV. 方法

V. 結果

VI. 考察

VII. 研究の限界

VIII. 結論

提言

謝辞

引用文献

図、表 （ページ1、2、3・・・を入れる）

資 料 （調査用紙、その他）（ページ1、2、3・・・を入れる）

- (8) 図・表は、図の下に図1、表の上に表1などの番号をつける。
- (9) 文献は、本文の引用箇所の型に¹⁾、^{1、2)}^{1～4)}など番号で示し、本文原稿の最後に一括して引用番号順に記載する、文献の著者が3名までは全員、4名以上の場合は、最初の3名を記し、それ以上は「，他」または「，et al.」とする。欧文原稿の場合はすべて半角文字

を使用し、雑誌名および書籍名をイタリックで表示する（注意：和文の場合は斜字体にしない）。

雑誌などの略語については、和文誌は医学中央雑誌に、英文誌はINDEX MEDICUSおよびINTERNATIONAL NURSING INDEXに従って記載する。

【文献の記載例】

① 雑誌の場合

著者名（西暦発行年）：表題，雑誌名，巻(号)，開始頁-終了頁.

例：香川太郎，讃岐花子，宇鈍美子，他（2017）：看護研究の文献リストに必要な情報，香川大学看護学雑誌，20（1），20-30.

（注意：和文の場合、カッコ「（ ）」、カンマ「，」およびピリオド「.」ハイフン「-」等は全角）

Kagawa, T., Sanuki, H., Udon, Y., et al. (2017): How to write a reference list for nursing articles. *Nursing Journal of Kagawa University*, 20 (1), 20-30.

② 書籍の場合

著者名（西暦発行年）：書籍名（版数），出版社名，発行地.

例：香川太郎（2017）：看護研究の文献リストに必要な情報（第2版），香川大学出版会，香川.

Kagawa, T. (2017): *How to write a reference list for nursing articles* (2nd ed.), Kagawa University Press, Kagawa.

（注意：出版社名は最も簡潔な形式で示し、「株式会社」や「一般社団法人」などは省く。以下同様。）

③ 翻訳書の場合

原著者名（原著発行年）／訳者名（翻訳書発行年）：翻訳書名（版数），出版社名，発行地.

例：Smith, K. U., & Johnson, D. I. (2010) / 香川太郎，讃岐花子訳（2017）：看護研究文献リストをどう書くか，香川大学出版会，香川.

（注意：書籍が初版のみの場合は版数を記載しない。以下同様。）

④ 分担執筆の文献で著者と書籍に編者（監修者）が存在する場合

著者名（西暦発行年）：表題，編集者名，書籍名（版数），引用箇所の開始頁-終了頁，出版社名，発行地.

例：宇鈍美子（2005）：文献リストの書き方，香川太郎，讃岐花子編，看護研究（第7版），123-146，香川大学出版会，香川.

Udon, Y. (2005): How to write a reference list, Kagawa, T. & Sanuki, H. (Eds.), *Nursing Research* (7th ed.), 123-146, Kagawa University Press, Kagawa.

⑤ 電子文献の場合

・DOIがある学術論文

著者名（出版年）：論文名，誌名，巻（号），開始頁-終了頁，doi: xx,xxxxxx （参照年月日）

Kagawa, T., Sanuki, H., Udon, Y. (2017): How to write a reference list for nursing articles, *Nursing Journal of Kagawa University*, 20 (1), 20-30. doi: xx,xxxxxx

（注意：doi [Digital Object Identifier デジタルオブジェクト識別子] 番号の後にはピリオドはつけない。）

・DOIのない学術論文

著者名（出版年）：論文名，誌名，巻（号），開始頁-終了頁，http://www.xxxxxxx （参照年月日）

Kagawa, T., Sanuki, H., Udon, Y. (2017): How to write a reference list for nursing articles, *Nursing Journal of Kagawa University*, 20 (1), 20-30, http://www.xxxxxxx （参照 2017年5月5日）

（注意：URLの後にはピリオドはつけない。また、ハイパーリンクは削除する。以下同様。）

⑥ Webサイト、Webページ

著者名（投稿・掲載の年月日）：Webサイトの名称，http://www.xxxxxxx（参照年月日）

例：厚生労働省：平成26年度特定健康診査・特定保健指導の実施状況について，http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshou/iryouseido01/dl/info03_h26_00.pdf （参照 2017年2月22日）

(10) 論文の書式は、以下のとおりとする。

- ① A 4 版紙縦書きとし、左35mm、右20mm、上30mm、下30mmの余白をとり、横書きで作成する。
- ② 本文の字体は、和文は明朝体 11 ポイント、英文はTimes New Romanを標準とし、35 字×36行で打ち出す。
- ③ 論文は、表紙、要旨、目次、本文、付録（図表、資料）の順に添付し、製本する。
なお、図表および資料については、本文の最後に各々一括して編集し、添付する。
- ④ 本文（序論から引用した文献まで）の頁（ページ）の記載については、序論から引用文献の最後頁まで、－1－ －2－ －n－ のようにつける。
- ⑤ 資料（図表・同意書・依頼書・調査用紙）には、本文と区別し、－1－ －2－ －n－ の頁番号をつける。それらの記入場所は、下中央とする。

3) 提出書類・その他

用紙は医学部ホームページ（医学研究科）よりダウンロードし、以下の様式に則って各自作成する。

(様式 501)

学 位 論 文 題 目 届 平成 年 月 日	
医学系研究科長 殿	指導教員承認印
看護学 専攻 _____ 分野 学籍番号 _____ ふりがな _____ 氏 名 _____ 印	
下記のとおり学位論文題目をお届けします。 記 学位論文題目	

(様式 502)

平成 年 月 日	
香川大学長 殿	
看護学専攻 _____ 分野 学籍番号 _____ 氏 名 _____ 印	
学 位 論 文 審 査 願	
香川大学学位規則第7条第1項の規定に基づき、下記の書類を提出いたしますので御審査願います。	
記	
1 学 位 論 文	3 部
2 学位論文の内容の要旨	4 部
3 論 文 目 録	4 部
4 履 歴 書	4 部
備考 1 学位論文は、表紙を付けたものを3部提出すること。 2 参考論文がある場合は、各3部添付すること。 3 論文目録及び履歴書は、それぞれ原本1部及び写し3部を提出すること。	

(様式 503)

*			
整理番号	香大医修 第	号	
学位論文の内容の要旨			
専 攻	看護学	分 野	
学籍番号		氏 名	
論文題目			
(論文要旨) 			
(備考) 論文要旨は、日本語で800字以内にまとめてください。			

(様式 504)

報告番号	香大医修 第	号	
論 文 目 録			
専 攻		分 野	
学籍番号		氏 名	
学位論文 1 題 目 「○○○○○・……………」 2 参考文献 参考論文 1 題目「○○○○○・……………」 参考論文 2 題目「○○○○○・……………」 平成 年 月 日 学位申請者 氏名 _____ 印			
(注) 1 論文題目が外国語の場合、日本語訳を括弧書きで付記してください。 2 4部(原本1部、写し3部を含む。)提出してください。 3 学位申請者氏名は必ず自署してください。			

(様式 505)

整理番号	香大医修 第 号
------	----------

履 歴 書

(ふりがな) 氏 名 生年月日	や し ま は な こ 屋 島 花 子 昭和〇〇年〇〇月〇〇日生	男 ・ 女
現 住 所	香川県木田郡三木町池戸1750-1	本 籍 香 川 都 道 府 県

学 歴

昭和〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇高等学校卒業
 昭和〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇大学〇〇学部卒業
 昭和〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻修士課程入学

職歴及び研究歴

昭和〇〇年〇〇月〇〇日 香川大学医学部附属病院看護部看護師に採用

上記のとおり相違ありません。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

氏名 _____ 印

(注)

- 1 年月日は、申請日（論文提出日）としてください。
- 2 学歴は高等学校卒業以降、年次を追って記載してください。
- 3 職歴及び研究歴は、一つにまとめて記載してください。
- 4 学位論文提出時には4部（写し3部を含む。）提出してください。
- 5 学位申請者氏名は必ず自署してください。

(様式 506) 審査用最終論文表紙

香川大学大学院医学系研究科看護学専攻修士論文

題 目 (20P)

〔 和 文 〕
〔 英 文 〕

学籍番号 _____

氏 名 _____ 15P

指導教員承認印

審査用論文の表紙として使用する
 上余白 30mm 下余白 30mm
 左余白 35mm 右余白 26mm

(様式 507) 学位論文表紙

香川大学大学院医学系研究科看護学専攻修士論文

題 目 (20P)

〔 和 文 〕
〔 英 文 〕

学籍番号 _____

氏 名 _____ 15P

審 査	主 査	副 査	副 査
承認印			

審査用論文の表紙にはコピーを使用し、
 本紙は製本提出用に使用する。

上余白 30mm 下余白 30mm
 左余白 35mm 右余白 26mm

(様式) 学位論文題目変更届

平成 年 月 日

医学系研究科長 殿

指導教員承認印

看護学 専攻 _____ 分野

学籍番号 _____

ふりがな _____ 印
 氏 名 _____

学位論文題目変更届

学位論文審査の結果、学位論文題目に変更が生まれました。
 つきましては、下記のとおり題目を変更したいので、お届けいたします。

記

【変更前】

【変更後】

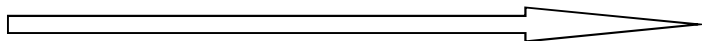
4) 学位論文の製本表紙の作成要領

1. 製本用の修士論文の表紙は黒色系のカバーを用い、表紙と背表紙に課題名、年及び氏名を金文字で印刷すること。

背表紙	香川大学大学院医学系研究科看護学専攻修士論文	1 cm	↑ 全長 30 センチ ↓	上 1 センチあける
(3. を 参照)	和文タイトル 英文タイトル	大学名 7 cm		香川大学大学院医学系研究科 看護学専攻修士論文
	平成 年 月	タイトル 11 cm		タイトル —サブタイトル—
	氏 名	氏名 5 cm		香川花子
		西暦 2 cm		下 4 センチあける
		4 cm		西暦修了年 年度ではなく、 暦通りの西暦年

2. 大学保存 1 冊
指導教員・副主査 各 1 冊
本人 必要冊
(その他、コピー版として、簡易製本で多数作成するのは、論文のオリジナル性を考慮すると、好ましくない。)

3. 背表紙 (作成例)



4. どこで製本しても良いが、体裁は、出来るだけ統一することが望ましい。
5. 経費は自費とする。
6. 提出日・提出場所

大学保存版は 3 月修了者・9 月修了者ともに、学位授与式前日までに、医学部学務課大学院担当に提出する。この時に、簡易製本の冊子と差し替える。製本された学位論文は、図書館医学部分館に保存する。

1 1 修士論文中間発表会実施要領

1) 中間発表会発表題目届

指定された期間内に発表題目届（様式）を医学部ホームページ（医学研究科）よりダウンロードして学務課大学院担当に提出する。

2) 修士論文中間発表会

(1) 発表資料作成

中間発表会抄録フォーマット（様式）およびパワーポイントフォーマット（様式）を医学部ホームページ（医学研究科）よりダウンロードして、前日までに作成する。

(2) 日程

あらかじめ指定された日に開催されるが、発表者数により変更の可能性がある。掲示板およびメール等の連絡に注意すること。

発表会前日夕方に、発表会オリエンテーションを行う。

1 2 修士論文に係る医学部倫理委員会申請

香川大学大学院医学系研究科（看護学専攻）修士課程では、院生の研究課題に関して、年2回開催される「中間発表会」において公開指導を受けること、加えて、医学部倫理委員会に倫理審査申請をおこない、承認を得ることを指導している。計画的に研究を実施すること。

13 学生生活支援について

1 入学料の免除

入学前1年以内において、本学に入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、また本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合などの特別な事情により入学料の納付が著しく困難であると認められた者については、願い出により選考の上、入学料の全額又は半額を免除することがある。

なお、前述及び経済的理由により納付期限（入学手続期間）までに入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者については、願い出により選考の上、入学料を指定された期日まで徴収を猶予することがある。

2 授業料免除

学業優秀と認められる者で、上記と同様な理由により、授業料を所定の期日までに納入することが困難な者は、願い出により選考の上、その期の授業料の全額又は半額を免除することがある。

3 独立行政法人日本学生支援機構（育英奨学事業）

人物、学業ともに優れ、かつ健康であって経済的理由により修学が困難な者に対して、選考の上、日本学生支援機構奨学規程に基づいて、次の奨学金が貸与される。

種 別	貸与月額
第一種奨学金（無利子）	50,000 円又は 88,000 円
第二種奨学金（有利子）	5 万円、8 万円、10 万円、13 万円、15 万円の 5 種類から選択

4 学生教育研究災害傷害保険制度

大学に学ぶ学生が被る種々の正課中及び課外活動中及び通学中の災害に対する被害救済の措置を目的とした制度。正課中及び課外活動中に生じた急激かつ偶然な外来の事故や、住居と学校施設等との間の通学、学校施設間相互の移動中に発生した事故によって、身体に傷害を被った場合に保険金が支払われる。

本学では、この保険制度を採用し、入学者全員加入とし、各自で保険加入手続きを行うよう指導している。

5 学研災付帯学生生活総合保険

上記4の保険と同時に加入手続きを行ってもらい、在学中に偶発的な事故及び臨床実習中における他人への賠償責任事故・針刺し事故等感染事故を補償する制度。医学系研究科ではこの保険に加入することを勧めている。

6 健康管理

学生、教職員の保健管理業務を専門的に取り扱うことを目的として、専任の医師、保健師、臨床心理士の在籍する保健管理センター医学部分室を設置している。定期健康診断の他に、心身の健康や精神面の相談対応を行っている。具体的には、定期健康診断後の証明書発行や、

簡単な応急処置・急病対応、カウンセラーによる相談を行っている。

7 学生生活相談

学務課（管理棟 1 階）の窓口において、修学上の問題、学内の施設案内等、どんな小さいことでも相談にのりますので、一人で思い悩むことなく、気軽に相談してください。

8 特別待遇学生（特待生）制度

学業成績、人物共に特に優れた者に授業料免除を与える制度がある。

9 学会発表助成

国内及び海外における研究発表を行う場合の旅費の補助がある。

10 長期履修制度

職業を有している等の事情による者は、申し出により審査を行い認可された場合、3 年を修業年限とする長期履修制度がある。

11 教育訓練給付制度指定

一定の条件を満たす雇用保険の一般被保険者（在職者）または一般被保険者であった者（離職者）が、厚生労働大臣の指定する教育訓練を受講し修了した場合、教育訓練施設に支払った教育訓練経費の 20%（支給要件期間が 3 年以上の者。ただし、初回に限り、1 年以上の者。）に相当する額（上限 10 万円）をハローワーク（公共職業安定所）から支給する。

12 注意！

- 1) 連絡事項は看護学科教育研究棟 1 階の大学院生用掲示板で行う。

14 学則・規程等

- ・香川大学大学院医学系研究科規程・・・・・・・・・・67
- ・香川大学大学院医学系研究科看護学専攻(修士課程)における入学前の
既修得単位の認定に関する申合せ・・・・・・・・・・75
- ・香川大学大学院医学系研究科学位規則実施細則・・・・・・・・76
- ・香川大学大学院医学系研究科（修士課程）長期履修学生取扱細則・・・79

注意）最新の規程は、香川大学の HP で確認してください。

香川大学 HP ＞ 情報公開 ＞ 規則等

医学部公式サイト＞医学部内向け＞規程集＞医学部規程集検索

○香川大学大学院医学系研究科規程

(趣旨)

第1条 この規程は、香川大学大学院学則第4条第5項の規定に基づき、大学院医学系研究科（以下「研究科」という。）について必要な事項を定める。

(専攻)

第2条 研究科に、次の専攻を置く。

修士課程

看護学専攻

博士課程

医学専攻

(人材の養成及びその他教育研究上の目的)

第3条 修士課程は、生命と人間の尊重を基盤とし、保健医療、福祉及び社会の諸変化に柔軟に対応できる人材を育成することを目的としている。具体的には人々のQOL（Quality of Life）の向上を目指した科学的、実践的な課題解決ができる能力を有し、グローバルな視野で看護学の発展と人々の健康に寄与する研究を遂行できる人材の育成を目指す。

2 博士課程は、医学の領域において、国際的な広い視野を持った研究者として自立し、独創的な研究活動を行うに必要な高度な研究能力とその基礎となる豊かな学識を備えるとともに、研究・生命倫理に関し高い見識を有する研究者を育成し、もって医学の進歩と社会福祉の向上に寄与することを目指す。

(教育方法)

第4条 研究科の教育は、授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）により行う。

2 研究科の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

(指導教員)

第5条 学生の研究指導のため、指導教員を置く。

2 指導上必要な場合には、副指導教員を置くことができる。

(授業科目及び履修単位数)

第6条 修士課程における専攻の授業科目及び履修単位数は、別表第1のとおりとする。

2 博士課程における各専攻の授業科目及び履修単位数は、別表第2のとおりとする。

(履修方法)

第7条 修士課程の学生は、在学期間中に第5条第1項に規定する授業科目について、次の区分により30単位以上を修得しなければならない。

- (1) 基盤科目 5 科目 10 単位以上
- (2) 専門科目のうち同一領域の特論・演習 6 単位
- (3) 専門科目のうち、上記(2)の科目以外の特論を 2 科目 4 単位
- (4) 研究科目 10 単位
- (5) 養護教諭専修免許の取得を希望する場合は養護教育特論を必修科目とする。

2 博士課程の学生は、在学期間中に第 5 条第 2 項に規定する授業科目について、次の区分により 30 単位以上を修得しなければならない。

- (1) 共通科目 6 単位
- (2) 専門科目 所属するコースの 2 科目群のうち主科目を選択する。
主科目 8 単位以上（主指導教員の開講する科目を 1 科目以上含む。ただし、がんプロフェッショナル養成コースは除く。）
副科目 4 単位以上（主科目以外のすべての科目の履修が可能で、コースを越えてよい。）

- (3) 研究科目 8 単位

3 教育上有益と認められる場合は、他研究科等の授業科目を履修することができる。

4 学生は、他の研究科等の授業科目を履修しようとするときは、研究科長を経て当該研究科長等の許可を受けなければならない。

（成績評価）

第 8 条 授業科目の試験又は研究報告の成績は、秀、優、良、可又は不可の評語をもって表し、秀、優、良及び可を合格とする。

（学位）

第 9 条 研究科において授与する学位は、修士又は博士とし、専攻分野として修士にあつては看護学、博士にあつては医学の名称を付記するものとする。

（雑則）

第 10 条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、医学系研究科教授会が定める。

附 則

- 1 この規程は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 15 年 9 月 30 日に香川医科大学大学院（以下「旧香川医科大学大学院」という。）に在学し、かつ平成 16 年 3 月 31 日に旧香川医科大学大学院に在学する者（以下「在学者」という。）及び在学者の属する年次に転入学等する者が在学しなくなるまでの間、旧香川医科大学大学院を修了するために必要とされる教育課程その他教育に必要な事項は、旧香川医科大学の大学院学則、大学院医学系研究科規程その他の規程等の定めるところによる。

附 則（平成 17 年 4 月 1 日）

- 1 この規程は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

2 平成16年度以前に入学した者の教育課程及び修了要件は、改正後の第5条第2項及び別表第2の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附 則（平成19年4月1日）

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成19年4月1日）

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成20年4月1日）

この規程は、平成20年4月1日から施行する。ただし、平成20年3月31日までに入学した学生については、なお従前の例による。

附 則（平成21年4月1日）

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成22年4月1日）

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成23年4月1日）

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成24年4月1日）

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成26年4月1日）

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成28年4月1日）

この規程は、平成28年4月1日から施行する。ただし、平成28年3月31日までに入学した学生については、なお従前の例による。

附 則（平成29年4月1日）

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成30年4月1日）

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

別表第1

専攻	科目領域	授業科目	履修年次	単位
看護学 専攻	基盤科目	理論看護学＊	1・2	2
		看護倫理学＊	1・2	2
		看護研究方法論1＊	1・2	2
		看護研究方法論2＊	1・2	2
		看護教育学	1・2	2
		看護管理学	1・2	2
		臨床科学	1・2	2
		国際看護学特論	1・2	2
		養護教育特論	1・2	2
	専門科目	看護医科学特論	1	2
		基礎看護学特論	1	2
		急性期成人看護学特論	1	2
		慢性期成人看護学特論	1	2
		小児看護学特論	1	2
		母性看護学特論	1	2
		老年看護学特論	1	2
		精神看護学特論	1	2
		在宅看護学特論	1	2
		地域看護学特論	1	2
		看護医科学演習	1	4
		基礎看護学演習	1	4
		急性期成人看護学演習	1	4
		慢性期成人看護学演習	1	4
		小児看護学演習	1	4
		母性看護学演習	1	4
		老年看護学演習	1	4
		精神看護学演習	1	4
		在宅看護学演習	1	4
		地域看護学演習	1	4
	研究科目	特別研究	2	10

履修方法

- 1) 基盤科目 5科目10単位以上
- 2) 専門科目のうち同一領域の特論・演習 6単位
- 3) 専門科目のうち、上記2)の科目以外の特論を2科目4単位
- 4) 研究科目10単位
- 5) 養護教諭専修免許の取得を希望する場合は養護教育特論を必修科目とする。

別表第2

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
共通科目			医科学概論	1前	2			○	○	
			医科学特論	1前	2			○	○	○
			希少糖科学特論	1後	1			○	○	
			研究・生命倫理	1前	1			○	○	
			小計（4科目）	—	6	0	0	—	—	—
専門科目	基礎臨床研究医・生命科学研究者育成コース	ライフサイエンス科目群	希少糖の機能	1・2通	4			○	○	
			発達神経科学	1・2通	4			○	○	
			分子形態学特論	1・2通	2			○	○	
			組織細胞科学特論	1・2通	4			○	○	
			神経細胞生物学特論	1・2通	4			○	○	
			神経生理学	1・2通	4			○	○	
			生体分子センサー特論	1・2通	4			○	○	
			呼吸循環生理学	1・2通	4			○	○	
			循環生理シグナル伝達学	1・2通	4			○	○	
			薬理学特論	1・2通	4			○	○	
			脂質生物学	1・2通	4			○	○	
			酵素学実験法	1・2通	4			○	○	
			医用有機化学特論	1通	4			○	○	
			医用分析化学特論	2通	4			○	○	
			分子内分泌学	1・2通	4			○	○	
			核医学画像解析	1・2通	2			○	○	
			毒性病理学	1・2通	2			○	○	
			分子神経病理学	1・2通	4			○	○	
			免疫組織化学	1・2通	4			○	○	
			免疫制御学	1・2通	4			○	○	
			寄生虫学特論	1・2通	2			○	○	
			衛生動物学特論	1・2通	2			○	○	
			微生物ゲノム科学	1・2通	2			○	○	
			生活習慣病予防論	1・2通	2			○	○	
			臨床疫学	1前	1			○	○	
			生物統計学	1前	1			○	○	
			医療管理学	1後	1			○	○	
			健康危機管理論	2前	1			○	○	
			国際保健論	2後	1			○	○	
			法医学特論	1・2通	2			○	○	
			医学教育学特論	1・2通	2			○	○	
			遺伝情報解析学	1・2通	4			○	○	
			疾患ゲノム情報学	1・2通	4			○	○	
			生体分子立体構造学	1・2通	2			○	○	
			実験動物学・動物遺伝学	1・2通	2			○	○	
			糖鎖構造解析	1・2通	2			○	○	
			小計（36科目）	—	0	105	0	—	—	—

専門科目	基礎臨床研究医・生命科学研究者育成コース	トランスレーショナルリサーチ科目群	希少糖と生活習慣病	1・2通	2		○	○	
			バイオイメージング技術の開発・応用	1通	2		○	○	
			中耳・内耳バイオイメージング	2通	2		○	○	
			形成外科におけるバイオイメージング	2通	2		○	○	
			細胞シグナル伝達学に基づくトランスレーショナルリサーチ	1・2通	4		○	○	
			生活習慣病診断・治療の前臨床開発	1・2通	4		○	○	
			iPS細胞の応用	1・2通	2		○	○	
			糖鎖情報と臨床応用	1・2通	4		○	○	
			発がん機構	1・2通	2		○	○	
			免疫機能を調整する薬剤の開発	1・2通	4		○	○	
			微生物共生システムと応用	1・2通	2		○	○	
			健康測定・アセスメント	1・2通	2		○	○	
			医療経済・テクノロジーアセスメント	1前	1		○	○	
			医療政策論	1後	1		○	○	
			死因究明技術の開発	1・2通	2		○	○	
			タンパク質分子設計	1・2通	2		○	○	
			精神神経疾患の創薬科学	1・2通	4		○	○	
			臨床アウトカムとしてのQOL評価の応用	1前	1		○	○	
			臨床アウトカムとしての画像解析システム	1後	1		○	○	
			睡眠（終夜脳波システム）の臨床開発	1・2通	4		○	○	
			認知症診断の技術研究	1・2通	4		○	○	
			脂質異常症と心血管病	1・2通	4		○	○	
			食塩感受性高血圧モデルの臨床応用	1・2通	2		○	○	
			周産期の脳発達と子供の健康	1通	4		○	○	
			高速液体クロマトグラフィーの臨床応用	2通	2		○	○	
			近赤外線分光法を用いた臨床研究	2通	2		○	○	
			骨軟部腫瘍研究の臨床応用	1・2通	4		○	○	
			前立腺がんの新規マーカーの開発	1通	2		○	○	
			低侵襲手術術式の開発	2通	2		○	○	
			癌とマイクロRNA	1通	2		○	○	
			癌と遺伝子異常	2通	2		○	○	
			分子イメージングの臨床応用	1・2通	4		○	○	
			動脈硬化症への遺伝子治療	1・2通	4		○	○	
			病理診断学の臨床応用	1・2通	4		○	○	
			神経保護薬の臨床開発	1・2通	4		○	○	
			医工融合による医療機器開発	1・2通	1		○	○	
			救急・生体侵襲制御	1・2通	2		○	○	
			臨床栄養・微生物学	1・2通	4		○	○	
			小計（38科目）	—	0	101	0	—	

専門科目	高度医療人育成コース	臨床医・メデイカルスタッフ養成科目群	希少糖医学	1前	1		○	○	
			地域医療学	1後	1		○	○	
			高齢者医療学	1前	1		○	○	
			医療倫理	1前	1		○	○	
			生活習慣病学	1後	1		○	○	
			災害医療・災害医学	1後	1		○	○	
			神経病学	1・2通	2		○	○	
			脳神経外科学	1・2通	2		○	○	
			運動器病学	1・2通	2		○	○	
			精神病学	1・2通	4		○	○	
			腎・泌尿器病学	1・2通	4		○	○	
			感染症学	1・2通	2		○	○	
			血液病学（血液・造血器・リンパ）	1・2通	2		○	○	
			免疫・アレルギー疾患学	1・2通	2		○	○	
			呼吸器病学	1・2通	4		○	○	
			乳腺内分泌外科学	1・2通	2		○	○	
			消化器病学	1・2通	2		○	○	
			循環器病学	1・2通	2		○	○	
			母子周産期医学	1・2通	2		○	○	
			皮膚病学	1・2通	2		○	○	
			眼病学	1・2通	2		○	○	
			口腔病学	1・2通	2		○	○	
			頭頸部病学	1通	2		○	○	
			耳鼻咽喉疾患学	2通	2		○	○	
			放射線医学	1・2通	2		○	○	
			痛み学	1通	2		○	○	
			呼吸循環制御学	2通	2		○	○	
			小児科学	1・2通	2		○	○	
			内分泌代謝学	1通	2		○	○	
			糖尿病学	2通	2		○	○	
			救急救命医学	1・2通	2		○	○	
			形態機能学	1・2通	2		○	○	
			薬学	1・2通	2		○	○	
			小児外科学	1・2通	4		○	○	
			小計（34科目）	—	0	70	0	—	

専門科目	高度医療人育成コース	がんプロフェッショナル養成科目群	共通 コアカリ キュラム	応用 研究 方法 論	がん疫学論	1前		1		○			
					臨床研究論								
					医療統計学								
				悪性腫瘍 の管理と治療	検査、診断法概論	1後		1		○			
					治療法概論								
					治療合併症、支持療法、緩和治療								
					老年腫瘍学								
			がんの心理社会的側面										
			医療倫理学・医療経済学				1・2通		0.5		○		
			医療対話学				1・2通		0.5		○		
			がんチーム医療実習				1・2通		0.5				○
			医療情報学（腫瘍学における情報システム）				1・2通		0.5		○		
			がん専門 共通科目	がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学	2通		1		○				
				臨床検査、病理、放射線診断学	2通		0.5		○				
				臓器別がん治療各論	2通		2		○				
				がん緩和治療	2通		0.5		○				
			がん専門 選択科目	放射線治療法	2通		1		○				
臨床腫瘍学	2・3通			2		○	○						
放射線腫瘍学	2・3通			2		○	○						
小計（13科目）				—	0	13	0	—					
課題研究						3・4通	8	0	0		○	○	

- (1) 共通科目 6 単位、専門科目 16 単位以上、課題研究 8 単位の計 30 単位以上とする。
- (2) 専門科目は 16 単位以上のうち、主科目から 8 単位（主指導教員の開講する科目を 1 科目以上含む。ただし、がんプロフェッショナル養成コースは除く。）、副科目（主科目以外のすべての科目の履修が可能で、コースを越えてよい。）から 4 単位、主科目・副科目に関わらず全ての開講科目から 4 単位以上を履修する。

香川大学大学院医学系研究科看護学専攻(修士課程)における
入学前の既修得単位の認定に関する申合せ

- 1 この申合せは、香川大学大学院医学系研究科看護学専攻(修士課程)において入学前の既修得単位の認定を行うため、香川大学大学院学則第42条及び香川大学大学院入学前の既修得単位の認定に関する規則に定めるもののほか、必要な事項を定める。
- 2 学生が、本学大学院に入学する前に本学又は他の大学(外国の大学を含む。)の大学院において修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)を、本学大学院において修得したものとして認定できる授業科目及び単位数は、次のとおりとする。
 - (1) 主専攻の分野について、特論に限り 1 授業科目 2 単位以内
 - (2) 主専攻以外の分野(共通科目を除く。)について、特論に限り 2 授業科目 4 単位以内
 - (3) 共通科目の分野について、2 授業科目 4 単位以内
- 3 認定した授業科目の成績は、「認定」の標語をもって表す。
- 4 既修得単位の認定を理由として、標準修業年数の短縮は行わないものとする。

附 則

この申合せは、平成16年4月1日から施行する。

香川大学大学院医学系研究科学位規則実施細則

(目的)

第1条 この細則は、香川大学学位規則(以下「規則」という。)第26条の規定に基づき、香川大学大学院医学系研究科(以下「医学系研究科」という。)における修士及び博士の学位授与の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

(申請資格等)

第2条 規則第4条の規定に基づき修士の学位授与を申請することのできる者は、医学系研究科に在学中で、香川大学大学院学則(以下「学則」という。)第43条に規定する単位を修得した者又は申請した日の属する学年末までに修得する見込みが確実な者とし、申請時期は第2年次の12月1日から医学系研究科教授会が指定する日までとする。ただし、優れた研究業績を上げた者については、第1年次の1月31日までとする。

2 規則第5条第1項の規定に基づき博士の学位授与を申請することのできる者は、医学系研究科に在学中で学則第44条に規定する単位を修得した者又は申請した日の属する学年末までに修得する見込みが確実な者とし、申請の時期は第4年次の10月1日から医学系研究科教授会が指定する日までとする。ただし、医学系研究科教授会において優れた研究業績を上げたと認められた者は、医学系研究科教授会専門委員会の指定した期間に学位授与を申請するものとする。

3 規則第5条第2項の規定に基づき学位論文を提出することができる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 博士課程に4年以上在学して所定の単位を修得した後退学した者
- (2) 医学部医学科又は歯学部等の6年制の大学を卒業した者で、基礎医学においては5年以上、臨床医学においては6年以上の研究歴を有するもの
- (3) 前号以外の4年制の大学を卒業した者で、基礎医学においては7年以上、臨床医学においては8年以上の研究歴を有するもの
- (4) その他、医学系研究科教授会が前3号と同等以上と認めた者

第3条 前条に規定する研究歴とは、次に掲げるものとする。

- (1) 大学の専任職員として医学又は歯学の研究に従事した期間
- (2) 大学院の医学研究科又は歯学研究科を退学した者の大学院に在学した期間
- (3) 大学の研究生及び専攻生等として医学又は歯学の研究に従事した期間
- (4) 医学系研究科教授会が前3号と同等以上と認める方法により研究に従事した期間

2 前項の研究に従事した期間のうち、香川大学医学部(以下「医学部」という。)以外に係るものについては、それぞれの研究歴に関する証明書を提出しなければならない。

(学位論文)

第4条 規則第8条による修士又は博士の学位論文は、原則原著論文とする。また、共著による場合は筆頭著者に限るものとし、過去に学位授与の申請が行われなかったものであり、かつ将来も他の共著者から学位授与の申請が行われないものでなければならない。

2 規則第8条による博士の学位論文は、前項に定めるもののほか次の各号に掲げるものとする。

- (1) 課程博士又は論文博士を申請する学位論文は、いずれも英文とする。
- (2) 学位論文は、印刷公表したもの(オンラインによる公表を含む)又は、印刷公表したものでない場合は、学会誌等の掲載受理がなされた証明書等を添付するものとする。
- (3) 前号の学会誌等は、掲載につき厳格な審査制度を具備するものであることを要する。

(審査委員会)

第5条 医学系研究科教授会は、当該学位論文の審査を行うため審査委員会を設置する。

- 2 前項の審査委員は、主査 1 人及び副主査 2 人とし、医学系研究科教授会の構成員の教授は、いずれかを担当するものとする。この場合において、副主査については、授業担当教員(博士課程は 2 人以内、修士課程は 1 人)を担当させることができる。
- 3 前項の規定にかかわらず、医学系研究科教授会が必要と認めたときは、前項の審査委員のほかに当該構成員以外の本学の教員又は他の大学の大学院若しくは研究所等の教員を加えることができる。
- 4 審査委員会は、学位論文の審査のほか修士課程又は博士課程の学生については最終試験を、規則第 5 条第 2 項の規定によるものについては学力の確認を行う。

(資格審査)

第 6 条 規則第 9 条の審査に先立ち、規則第 5 条第 2 項に基づき学位論文を提出する者については研究歴等の申請資格の審査を行うものとする。

- 2 前項の資格審査は、医学系研究科教授会専門委員会が行う。

(外国語の試験)

第 7 条 規則第 12 条に基づく外国語(英語)の試験は、年 2 回行うものとし、学位論文提出者がいずれの時期に試験を受けるべきかは医学系研究科が指定する。

- 2 外国語試験の合格証明書には、有効期限は設けない。また、不合格者には、再度の受験の機会を与える。
- 3 医学部の専任の教職員若しくは医員として在職中の者、研究生として在学中の者又は外国人研究者として在籍中の者は、学位論文の提出前に外国語試験を受けることができるものとする。
- 4 独立行政法人日本学術振興会論文博士号取得希望者に対する支援事業による論博研究者は、学位論文の提出前に外国語試験を受けることができるものとする。

(修士論文発表会)

第 8 条 修士論文の内容については、公開の場で発表しなければならない。

- 2 修士論文の発表会は、2 月に開催する。ただし、必要がある場合は、随時開催することができる。
- 3 修士論文の発表会の運営は、医学系研究科教授会専門委員会が行うものとする。

(公開の学位論文審査)

第 9 条 規則第 5 条第 1 項又は第 2 項の種別にかかわらず学位論文の審査は、公開とする。

- 2 公開の学位論文審査(以下「公開審査」という。)は、学位申請者ごとに実施日を決めて行う。
- 3 公開審査の進行は、当該学位論文の主査が担当する。
- 4 公開審査を受ける者は、1,000 字程度の発表内容要旨を準備し、学会発表形式で発表する。
- 5 公開審査実施に際して、主査の指名する指定討論者を 1 人以上置くものとする。
- 6 指定討論者は、学内外の助教以上の教員または研究所等の研究者であり、審査する学位と同等以上の学位を有する者とする。

(学位授与の時期)

第 10 条 規則第 4 条及び規則第 5 条第 1 項に基づく修士及び博士の学位授与の時期は、原則として学位論文審査願を提出した年度末月の別に定める日とする。ただし、優れた研究業績を上げた者又は標準修業年限を超えて在学した者の修了の時期は、規則第 15 条第 1 項に定める学位授与決定後の 6 月、9 月、12 月又は 3 月の別に定める日とすることができる。

- 2 規則第 5 条第 2 項に基づく博士の学位授与の時期は、規則第 15 条第 1 項に規定する議決が行われた日とする。

(実施細目)

第 11 条 この細則に定めるもののほか、修士及び博士の学位授与の実施に関し必要な事項は、医学系研究科教授会が定めることができる。

附 則

この細則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この細則は、平成 16 年 7 月 8 日から施行する。

附 則

この細則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

1 この細則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

2 改正後の第 4 条第 2 項第 1 号の規定の適用については、次のとおりとする。

(1) 英文による博士課程の学位論文については、平成 20 年 4 月 1 日以後入学する者から適用する。

(2) 英文による論文博士に係る学位論文については、平成 23 年 4 月 1 日以後提出する者から適用する。

附 則

この細則は、平成 20 年 11 月 19 日から施行する。

附 則

この細則は、平成 21 年 6 月 17 日から施行する。

附 則

この細則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この細則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この細則は、平成 26 年 6 月 1 日から施行する。

香川大学大学院医学系研究科（修士課程）長期履修学生取扱細則

（趣旨）

第1条 この細則は、香川大学大学院学則第34条の規定に基づき、医学系研究科修士課程における長期履修学生の取扱いに関し必要な事項を定める。

（対象学生）

第2条 長期履修学生の対象となる学生は、職業を有している等の事情による者で、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することを希望する者とする。

（長期履修の期間等）

第3条 長期履修学生の履修の期間は、3年を限度とし、1年を単位として認める。

2 長期履修学生の1年間に履修登録できる授業の単位数は、20単位を限度とする。ただし、修士課程の修了要件とならない授業科目の単位については、これに含めない。

（申請手続）

第4条 長期履修学生となることを希望する者は、入学前年度の1月末日又は1年次の1月末日までに、長期履修学生申請書（別紙様式第1号）、在職証明書（様式は自由で在職が確認できる書類）等を研究科長に提出する。

（認定の通知）

第5条 医学系研究科は、長期履修の申請に基づき審査の上、長期履修の可否について申請者に対して3月末日までに文書により通知する。

（授業料）

第6条 長期履修学生の授業料の年額は、香川大学大学院学則第57条の定めるところによる。

（長期履修期間の変更）

第7条 長期履修学生で認定された履修期間について、特別な理由により短縮を希望する学生は、1月末日までに、長期履修期間変更願（別紙様式第2号）を研究科長に提出しなければならない。

附 則

この細則は、平成19年6月20日から施行する。

附 則

この細則は、平成20年10月15日から施行する。

平成 年 月 日

香川大学大学院医学系研究科長 殿

申 請 者

受験(学籍)番号

氏 名

印

保証人氏名

印

私は、大学院医学系研究科修士課程において下記のとおり長期履修学生を申請します。

長期履修学生申請書

ふ り が な		男・女	指 導 教 員
氏 名			印
生 年 月 日	年 月 日		
現 住 所	〒 TEL(-)		
勤 務 先 (職種)			
勤務先所在地	〒 TEL(-)		
修学予定年数	年 (修了予定 平成 年 月)		
長期履修希望 理 由			

平成 年 月 日

香川大学大学院医学系研究科長 殿

申 請 者

学 籍 番 号

氏 名

印

保証人氏名

印

私は、大学院医学系研究科修士課程で現在認定されている長期履修期間の変更を、下記のとおり申請します。

長期履修期間変更願

ふ り が な		男・女	指 導 教 員
氏 名			印
生 年 月 日	年 月 日		
現 住 所	〒 TEL(-)		
勤 務 先 (職種)			
勤務先所在地	〒 TEL(-)		
変更願履修期間	年 (修了予定 平成 年 月)		
現認定履修期間	年 (修了予定 平成 年 月)		
履修期間変更 理 由			

領域		基盤科目								専門科目										備考 講義担当者
月日	科目名 時間帯	理論看護学	看護倫理学	看護研究方法論1	看護研究方法論2	看護教育学	看護管理学	臨床科学	国際看護学特論	看護医科学特論	基礎看護学特論	急性期成人看護学特論	慢性期成人看護学特論	小児看護学特論	母性看護学特論	老年看護学特論	精神看護学特論	在宅看護学特論	地域看護学特論	国際看護学特論は、追って揭示する。 専門科目のうち、老年看護学特論および在宅看護学特論の履修を希望する者は、6月15日までに担当教員に連絡をし、相談すること。
4月4日(水)	18:30-20:00																			
4月4日(水)	20:10-21:40																			
4月5日(木)	18:30-20:00																			
4月5日(木)	20:10-21:40																			
4月6日(金)	18:30-20:00																			
4月6日(金)	20:10-21:40																			
4月7日(土)	9:00-10:30																			
4月7日(土)	10:40-12:10																			
4月7日(土)	13:00-14:30																			
4月7日(土)	14:40-16:10																			
4月7日(土)	16:20-17:50																			
4月8日(日)	9:00-10:30																			
4月8日(日)	10:40-12:10																			
4月8日(日)	13:00-14:30																			
4月8日(日)	14:40-16:10																			
4月8日(日)	16:20-17:50																			
4月9日(月)	18:30-20:00																			
4月9日(月)	20:10-21:40																			
4月10日(火)	18:30-20:00																			オリエンテーション、教員紹介 筒井
4月10日(火)	20:10-21:40							●												
4月11日(水)	18:30-20:00																			
4月11日(水)	20:10-21:40																			
4月12日(木)	18:30-20:00																			
4月12日(木)	20:10-21:40																			
4月13日(金)	18:30-20:00																			
4月13日(金)	20:10-21:40																			
4月14日(土)	9:00-10:30																			
4月14日(土)	10:40-12:10																			
4月14日(土)	13:00-14:30																			
4月14日(土)	14:40-16:10																			
4月14日(土)	16:20-17:50																			
4月15日(日)	9:00-10:30																			
4月15日(日)	10:40-12:10																			
4月15日(日)	13:00-14:30																			
4月15日(日)	14:40-16:10																			
4月15日(日)	16:20-17:50																			
4月16日(月)	18:30-20:00					●														松井
4月16日(月)	20:10-21:40																			
4月17日(火)	18:30-20:00		●																	谷本
4月17日(火)	20:10-21:40		●																	谷本
4月18日(水)	18:30-20:00																			
4月18日(水)	20:10-21:40																			
4月19日(木)	18:30-20:00	●																		大森
4月19日(木)	20:10-21:40	●																		大森
4月20日(金)	18:30-20:00																			
4月20日(金)	20:10-21:40																			
4月21日(土)	9:00-10:30																			
4月21日(土)	10:40-12:10																			

領域		基盤科目								専門科目										備考 講義担当者
月日	科目名 時間帯	理論看護学	看護倫理学	看護研究方法論1	看護研究方法論2	看護教育学	看護管理学	臨床科学	国際看護学特論	看護医科学特論	基礎看護学特論	急性期成人看護学特論	慢性期成人看護学特論	小児看護学特論	母性看護学特論	老年看護学特論	精神看護学特論	在宅看護学特論	地域看護学特論	国際看護学特論は、追って揭示する。 専門科目のうち、老年看護学特論および在宅看護学特論の履修を希望する者は、6月15日までに担当教員に連絡をし、相談すること。
4月21日(土)	13:00-14:30																			
4月21日(土)	14:40-16:10																			
4月21日(土)	16:20-17:50																			
4月22日(日)	9:00-10:30																			
4月22日(日)	10:40-12:10																			
4月22日(日)	13:00-14:30																			
4月22日(日)	14:40-16:10																			
4月22日(日)	16:20-17:50																			
4月23日(月)	18:30-20:00					●														松井
4月23日(月)	20:10-21:40					●														松井
4月24日(火)	18:30-20:00		●																	谷本・図書館司書
4月24日(火)	20:10-21:40		●																	谷本
4月25日(水)	18:30-20:00	●																		前川
4月25日(水)	20:10-21:40																			
4月26日(木)	18:30-20:00																			
4月26日(木)	20:10-21:40																			
4月27日(金)	18:30-20:00																			
4月27日(金)	20:10-21:40																			
4月28日(土)	9:00-10:30																			
4月28日(土)	10:40-12:10																			
4月28日(土)	13:00-14:30																			
4月28日(土)	14:40-16:10																			
4月28日(土)	16:20-17:50																			
4月29日(日)	9:00-10:30																			
4月29日(日)	10:40-12:10																			
4月29日(日)	13:00-14:30																			
4月29日(日)	14:40-16:10																			
4月29日(日)	16:20-17:50																			
4月30日(月)	9:00-10:30																			
4月30日(月)	10:40-12:10																			
4月30日(月)	13:00-14:30																			
4月30日(月)	14:40-16:10																			
4月30日(月)	16:20-17:50																			
5月1日(火)	18:30-20:00	●																		大森
5月1日(火)	20:10-21:40	●																		大森
5月2日(水)	18:30-20:00																			
5月2日(水)	20:10-21:40																			
5月3日(木)	9:00-10:30																			
5月3日(木)	10:40-12:10																			
5月3日(木)	13:00-14:30																			
5月3日(木)	14:40-16:10																			
5月3日(木)	16:20-17:50																			
5月4日(金)	9:00-10:30																			
5月4日(金)	10:40-12:10																			
5月4日(金)	13:00-14:30																			
5月4日(金)	14:40-16:10																			
5月4日(金)	16:20-17:50																			
5月5日(土)	9:00-10:30																			

領域		基盤科目								専門科目										備考 講義担当者
月日	科目名 時間帯	理論看護学	看護倫理学	看護研究方法論1	看護研究方法論2	看護教育学	看護管理学	臨床科学	国際看護学特論	看護医科学特論	基礎看護学特論	急性期成人看護学特論	慢性期成人看護学特論	小児看護学特論	母性看護学特論	老年看護学特論	精神看護学特論	在宅看護学特論	地域看護学特論	国際看護学特論は、追って揭示する。 専門科目のうち、老年看護学特論および在宅看護学特論の履修を希望する者は、6月15日までに担当教員に連絡をし、相談すること。
5月5日(土)	10:40-12:10																			
5月5日(土)	13:00-14:30																			
5月5日(土)	14:40-16:10																			
5月5日(土)	16:20-17:50																			
5月6日(日)	9:00-10:30																			
5月6日(日)	10:40-12:10																			
5月6日(日)	13:00-14:30																			
5月6日(日)	14:40-16:10																			
5月6日(日)	16:20-17:50																			
5月7日(月)	18:30-20:00					●														松井
5月7日(月)	20:10-21:40					●														松井
5月8日(火)	18:30-20:00		●																	谷本・図書館司書
5月8日(火)	20:10-21:40																			
5月9日(水)	18:30-20:00																			
5月9日(水)	20:10-21:40																			
5月10日(木)	18:30-20:00	●																		鈴木
5月10日(木)	20:10-21:40	●																		鈴木
5月11日(金)	18:30-20:00	●																		前川・金正
5月11日(金)	20:10-21:40	●																		前川・金正
5月12日(土)	9:00-10:30																			
5月12日(土)	10:40-12:10																			
5月12日(土)	13:00-14:30																			
5月12日(土)	14:40-16:10																			
5月12日(土)	16:20-17:50																			
5月13日(日)	9:00-10:30							●												筒井
5月13日(日)	10:40-12:10							●												筒井
5月13日(日)	13:00-14:30																			
5月13日(日)	14:40-16:10																			
5月13日(日)	16:20-17:50																			
5月14日(月)	18:30-20:00					●														清水
5月14日(月)	20:10-21:40					●														清水
5月15日(火)	18:30-20:00		●																	谷本
5月15日(火)	20:10-21:40		●																	谷本
5月16日(水)	18:30-20:00			●																市原・森永
5月16日(水)	20:10-21:40			●																市原・森永
5月17日(木)	18:30-20:00	●																		鈴木
5月17日(木)	20:10-21:40	●																		鈴木
5月18日(金)	18:30-20:00																			
5月18日(金)	20:10-21:40																			
5月19日(土)	9:00-10:30																			
5月19日(土)	10:40-12:10																			
5月19日(土)	13:00-14:30																			
5月19日(土)	14:40-16:10																			
5月19日(土)	16:20-17:50																			
5月20日(日)	9:00-10:30							●												筒井
5月20日(日)	10:40-12:10							●												筒井
5月20日(日)	13:00-14:30																			
5月20日(日)	14:40-16:10																			

領域		基盤科目								専門科目										備考 講義担当者
月日	科目名 時間帯	理論看護学	看護倫理学	看護研究方法論1	看護研究方法論2	看護教育学	看護管理学	臨床科学	国際看護学特論	看護医科学特論	基礎看護学特論	急性期成人看護学特論	慢性期成人看護学特論	小児看護学特論	母性看護学特論	老年看護学特論	精神看護学特論	在宅看護学特論	地域看護学特論	国際看護学特論は、追って揭示する。 専門科目のうち、老年看護学特論および在宅看護学特論の履修を希望する者は、6月15日までに担当教員に連絡をし、相談すること。
5月20日(日)	16:20-17:50																			
5月21日(月)	18:30-20:00					●														清水
5月21日(月)	20:10-21:40					●														清水
5月22日(火)	18:30-20:00																			
5月22日(火)	20:10-21:40																			
5月23日(水)	18:30-20:00																			
5月23日(水)	20:10-21:40																			
5月24日(木)	18:30-20:00	●																		渡邊
5月24日(木)	20:10-21:40	●																		渡邊
5月25日(金)	18:30-20:00			●																石上 大森
5月25日(金)	20:10-21:40			●																石上 大森
5月26日(土)	9:00-10:30																			
5月26日(土)	10:40-12:10																			
5月26日(土)	13:00-14:30																			
5月26日(土)	14:40-16:10																			
5月26日(土)	16:20-17:50																			
5月27日(日)	9:00-10:30																			
5月27日(日)	10:40-12:10																			
5月27日(日)	13:00-14:30																			
5月27日(日)	14:40-16:10																			
5月27日(日)	16:20-17:50																			
5月28日(月)	18:30-20:00					●														清水
5月28日(月)	20:10-21:40					●														清水
5月29日(火)	18:30-20:00				●															市原・森永
5月29日(火)	20:10-21:40				●															市原・森永
5月30日(水)	18:30-20:00	●																		前川・金正
5月30日(水)	20:10-21:40	●																		前川・金正
5月31日(木)	18:30-20:00																			
5月31日(木)	20:10-21:40																			
6月1日(金)	18:30-20:00			●																石上 大森
6月1日(金)	20:10-21:40			●																石上 大森
6月2日(土)	9:00-10:30																			
6月2日(土)	10:40-12:10							●												峠
6月2日(土)	13:00-14:30							●												峠
6月2日(土)	14:40-16:10							●												峠
6月2日(土)	16:20-17:50																			
6月3日(日)	9:00-10:30																			
6月3日(日)	10:40-12:10																			
6月3日(日)	13:00-14:30																			
6月3日(日)	14:40-16:10																			
6月3日(日)	16:20-17:50																			
6月4日(月)	18:30-20:00					●														清水
6月4日(月)	20:10-21:40					●														清水
6月5日(火)	18:30-20:00				●															真鍋
6月5日(火)	20:10-21:40				●															真鍋
6月6日(水)	18:30-20:00	●																		南
6月6日(水)	20:10-21:40	●																		南
6月7日(木)	18:30-20:00		●																	渡邊

領域		基盤科目								専門科目										備考 講義担当者
月日	科目名 時間帯	理論看護学	看護倫理学	看護研究方法論1	看護研究方法論2	看護教育学	看護管理学	臨床科学	国際看護学特論	看護医科学特論	基礎看護学特論	急性期成人看護学特論	慢性期成人看護学特論	小児看護学特論	母性看護学特論	老年看護学特論	精神看護学特論	在宅看護学特論	地域看護学特論	国際看護学特論は、追って揭示する。 専門科目のうち、老年看護学特論および在宅看護学特論の履修を希望する者は、6月15日までに担当教員に連絡をし、相談すること。
6月7日(木)	20:10-21:40		●																	
6月8日(金)	18:30-20:00																			渡邊
6月8日(金)	20:10-21:40																			
6月9日(土)	9:00-10:30							●												峠
6月9日(土)	10:40-12:10							●												峠
6月9日(土)	13:00-14:30																			
6月9日(土)	14:40-16:10																			
6月9日(土)	16:20-17:50																			
6月10日(日)	9:00-10:30																			
6月10日(日)	10:40-12:10																			
6月10日(日)	13:00-14:30																			
6月10日(日)	14:40-16:10																			
6月10日(日)	16:20-17:50																			
6月11日(月)	18:30-20:00					●														清水
6月11日(月)	20:10-21:40					●														清水
6月12日(火)	18:30-20:00			●																真鍋
6月12日(火)	20:10-21:40			●																真鍋
6月13日(水)	18:30-20:00																			
6月13日(水)	20:10-21:40																			
6月14日(木)	18:30-20:00	●																		渡邊
6月14日(木)	20:10-21:40																			
6月15日(金)	18:30-20:00		●																	大森 石上
6月15日(金)	20:10-21:40		●																	大森 石上
6月16日(土)	9:00-10:30																			
6月16日(土)	10:40-12:10			●																市原・森永
6月16日(土)	13:00-14:30																			
6月16日(土)	14:40-16:10																			
6月16日(土)	16:20-17:50																			
6月17日(日)	9:00-10:30																			
6月17日(日)	10:40-12:10																			
6月17日(日)	13:00-14:30																			
6月17日(日)	14:40-16:10																			
6月17日(日)	16:20-17:50																			
6月18日(月)	18:30-20:00																			
6月18日(月)	20:10-21:40																			
6月19日(火)	18:30-20:00			●																真鍋
6月19日(火)	20:10-21:40			●																真鍋
6月20日(水)	18:30-20:00	●																		南
6月20日(水)	20:10-21:40	●																		南
6月21日(木)	18:30-20:00		●																	峠
6月21日(木)	20:10-21:40		●																	大森・峠・渡邊・鈴木
6月22日(金)	18:30-20:00																			
6月22日(金)	20:10-21:40																			
6月23日(土)	9:00-10:30																			
6月23日(土)	10:40-12:10																			
6月23日(土)	13:00-14:30																			
6月23日(土)	14:40-16:10																			
6月23日(土)	16:20-17:50																			

領域		基盤科目							専門科目										備考 講義担当者
月日	科目名 時間帯	理論看護学	看護倫理学	看護研究方法論1	看護研究方法論2	看護教育学	看護管理学	臨床科学	国際看護学特論	看護医科学特論	基礎看護学特論	急性期成人看護学特論	慢性期成人看護学特論	小児看護学特論	母性看護学特論	老年看護学特論	精神看護学特論	在宅看護学特論	地域看護学特論
6月24日(日)	9:00-10:30																		国際看護学特論は、追って揭示する。 専門科目のうち、老年看護学特論および在宅看護学特論の履修を希望する者は、6月15日までに担当教員に連絡をし、相談すること。
6月24日(日)	10:40-12:10																		
6月24日(日)	13:00-14:30																		
6月24日(日)	14:40-16:10																		
6月24日(日)	16:20-17:50																		
6月25日(月)	18:30-20:00			●															大森 石上
6月25日(月)	20:10-21:40			●															大森 石上
6月26日(火)	18:30-20:00				●														市原・森永
6月26日(火)	20:10-21:40				●														市原・森永
6月27日(水)	18:30-20:00																		
6月27日(水)	20:10-21:40																		
6月28日(木)	18:30-20:00								●										峠
6月28日(木)	20:10-21:40																		
6月29日(金)	18:30-20:00																		
6月29日(金)	20:10-21:40																		
6月30日(土)	9:00-10:30																		
6月30日(土)	10:40-12:10																		
6月30日(土)	13:00-14:30																		
6月30日(土)	14:40-16:10																		
6月30日(土)	16:20-17:50																		
7月1日(日)	9:00-10:30																		
7月1日(日)	10:40-12:10																		
7月1日(日)	13:00-14:30																		
7月1日(日)	14:40-16:10																		
7月1日(日)	16:20-17:50																		
7月2日(月)	18:30-20:00														●				佐々木
7月2日(月)	20:10-21:40																		
7月3日(火)	18:30-20:00			●															市原・森永
7月3日(火)	20:10-21:40			●															市原・森永
7月4日(水)	18:30-20:00											●							市原
7月4日(水)	20:10-21:40												●						清水
7月5日(木)	18:30-20:00													●					谷本
7月5日(木)	20:10-21:40																		
7月6日(金)	18:30-20:00									●									前川・南
7月6日(金)	20:10-21:40																		
7月7日(土)	9:00-10:30																		
7月7日(土)	10:40-12:10																		
7月7日(土)	13:00-14:30																		
7月7日(土)	14:40-16:10																		
7月7日(土)	16:20-17:50																		
7月8日(日)	9:00-10:30																		
7月8日(日)	10:40-12:10																		
7月8日(日)	13:00-14:30																		
7月8日(日)	14:40-16:10																		
7月8日(日)	16:20-17:50																		
7月9日(月)	18:30-20:00																		
7月9日(月)	20:10-21:40																		
7月10日(火)	18:30-20:00																●		渡邊

領域		基盤科目								専門科目										備考 講義担当者
月日	科目名 時間帯	理論看護学	看護倫理学	看護研究方法論1	看護研究方法論2	看護教育学	看護管理学	臨床科学	国際看護学特論	看護医科学特論	基礎看護学特論	急性期成人看護学特論	慢性期成人看護学特論	小児看護学特論	母性看護学特論	老年看護学特論	精神看護学特論	在宅看護学特論	地域看護学特論	国際看護学特論は、追って掲 示する。 専門科目のうち、老年看護学 特論および在宅看護学特論 の履修を希望する者は、6月 15日までに担当教員に連絡を し、相談すること。
8月26日(日)	9:00-10:30	看護学科第3年次編入学学力検査日																		
8月26日(日)	10:40-12:10																			
8月26日(日)	13:00-14:30																			
8月26日(日)	14:40-16:10																			
8月26日(日)	16:20-17:50																			
8月27日(月)	18:30-20:00																			
8月27日(月)	20:10-21:40																			
8月28日(火)	18:30-20:00																			
8月28日(火)	20:10-21:40																			
8月29日(水)	18:30-20:00																			
8月29日(水)	20:10-21:40																			
8月30日(木)	18:30-20:00																			
8月30日(木)	20:10-21:40																			
8月31日(金)	18:30-20:00																			
8月31日(金)	20:10-21:40																			
9月1日(土)	9:00-10:30	●																		前川・金正
9月1日(土)	10:40-12:10	●																		前川・金正
9月1日(土)	13:00-14:30	●																		前川・金正
9月1日(土)	14:40-16:10							●												藤井
9月1日(土)	16:20-17:50							●												藤井
9月2日(日)	9:00-10:30																			
9月2日(日)	10:40-12:10							●												藤井
9月2日(日)	13:00-14:30							●												藤井
9月2日(日)	14:40-16:10							●												藤井
9月2日(日)	16:20-17:50																			
9月3日(月)	18:30-20:00																			
9月3日(月)	20:10-21:40																			
9月4日(火)	18:30-20:00																			
9月4日(火)	20:10-21:40																			
9月5日(水)	18:30-20:00																			
9月5日(水)	20:10-21:40																			
9月6日(木)	18:30-20:00																			
9月6日(木)	20:10-21:40																			
9月7日(金)	18:30-20:00																			
9月7日(金)	20:10-21:40																			
9月8日(土)	9:00-10:30																			
9月8日(土)	10:40-12:10	●																		前川・金正
9月8日(土)	13:00-14:30	●																		前川・金正
9月8日(土)	14:40-16:10	●																		前川・金正
9月8日(土)	16:20-17:50																			
9月9日(日)	9:00-10:30																			
9月9日(日)	10:40-12:10							●												佐々木・前川
9月9日(日)	13:00-14:30							●												佐々木・前川

領域		基盤科目							専門科目										備考 講義担当者
月日	科目名 時間帯	理論看護学	看護倫理学	看護研究1 方法論	看護研究2 方法論	看護教育学	看護管理学	臨床科学	国際看護学特論	看護医科学特論	基礎看護学特論	急性期成人看護学特論	慢性期成人看護学特論	小児看護学特論	母性看護学特論	老年看護学特論	精神看護学特論	在宅看護学特論	地域看護学特論
9月9日(日)	14:40-16:10						●												国際看護学特論は、追って掲示する。
9月9日(日)	16:20-17:50																		専門科目のうち、老年看護学特論および在宅看護学特論の履修を希望する者は、6月15日までに担当教員に連絡をし、相談すること。
9月10日(月)	18:30-20:00																		
9月10日(月)	20:10-21:40																		
9月11日(火)	18:30-20:00																		
9月11日(火)	20:10-21:40																		
9月12日(水)	18:30-20:00																		
9月12日(水)	20:10-21:40																		
9月13日(木)	18:30-20:00																		
9月13日(木)	20:10-21:40																		
9月14日(金)	18:30-20:00						●												佐々木・前川
9月14日(金)	20:10-21:40						●												佐々木・前川
9月15日(土)	9:00-10:30	看護学科AO入試学力検査日																	
9月15日(土)	10:40-12:10																		
9月15日(土)	13:00-14:30																		
9月15日(土)	14:40-16:10																		
9月15日(土)	16:20-17:50																		
9月16日(日)	9:00-10:30																		
9月16日(日)	10:40-12:10																		
9月16日(日)	13:00-14:30																		
9月16日(日)	14:40-16:10																		
9月16日(日)	16:20-17:50																		
9月17日(月)	9:00-10:30																		
9月17日(月)	10:40-12:10																		
9月17日(月)	13:00-14:30																		
9月17日(月)	14:40-16:10																		
9月17日(月)	16:20-17:50																		
9月18日(火)	18:30-20:00																		
9月18日(火)	20:10-21:40																		
9月19日(水)	18:30-20:00																		
9月19日(水)	20:10-21:40																		
9月20日(木)	18:30-20:00						●												佐々木・前川
9月20日(木)	20:10-21:40						●												佐々木・前川
9月21日(金)	18:30-20:00						●												佐々木・前川
9月21日(金)	20:10-21:40						●												佐々木・前川
9月22日(土)	9:00-10:30																		
9月22日(土)	10:40-12:10																		
9月22日(土)	13:00-14:30																		
9月22日(土)	14:40-16:10																		
9月22日(土)	16:20-17:50																		
9月23日(日)	9:00-10:30																		
9月23日(日)	10:40-12:10																		
9月23日(日)	13:00-14:30																		
9月23日(日)	14:40-16:10																		
9月23日(日)	16:20-17:50																		
9月24日(月)	9:00-10:30						●												佐々木・前川
9月24日(月)	10:40-12:10						●												佐々木・前川
9月24日(月)	13:00-14:30						●												佐々木・前川

領域		基盤科目							専門科目											備考 講義担当者
月日	科目名 時間帯	理論看護学	看護倫理学	看護研究方法論1	看護研究方法論2	看護教育学	看護管理学	臨床科学	国際看護学特論	看護医科学特論	基礎看護学特論	急性期成人看護学特論	慢性期成人看護学特論	小児看護学特論	母性看護学特論	老年看護学特論	精神看護学特論	在宅看護学特論	地域看護学特論	国際看護学特論は、追って揭示する。 専門科目のうち、老年看護学特論および在宅看護学特論の履修を希望する者は、6月15日までに担当教員に連絡をし、相談すること。
9月24日(月)	14:40-16:10						●													
9月24日(月)	16:20-17:50																			
9月25日(火)	18:30-20:00																			
9月25日(火)	20:10-21:40																			
9月26日(水)	18:30-20:00																			
9月26日(水)	20:10-21:40																			
9月27日(木)	18:30-20:00																			
9月27日(木)	20:10-21:40																			
9月28日(金)	18:30-20:00																			
9月28日(金)	20:10-21:40																			
9月29日(土)	9:00-10:30																			
9月29日(土)	10:40-12:10																			
9月29日(土)	13:00-14:30																			
9月29日(土)	14:40-16:10																			
9月29日(土)	16:20-17:50																			
9月30日(日)	9:00-10:30																			
9月30日(日)	10:40-12:10																			
9月30日(日)	13:00-14:30																			
9月30日(日)	14:40-16:10																			
9月30日(日)	16:20-17:50																			
10月1日(月)	18:30-20:00																			
10月1日(月)	20:10-21:40																			
10月2日(火)	18:30-20:00																			
10月2日(火)	20:10-21:40																			
10月3日(水)	18:30-20:00																			
10月3日(水)	20:10-21:40																			
10月4日(木)	18:30-20:00																			
10月4日(木)	20:10-21:40																			
10月5日(金)	18:30-20:00						●													佐々木・前川
10月5日(金)	20:10-21:40						●													佐々木・前川
10月6日(土)	9:00-10:30																			
10月6日(土)	10:40-12:10																			
10月6日(土)	13:00-14:30																			
10月6日(土)	14:40-16:10																			
10月6日(土)	16:20-17:50																			
10月7日(日)	9:00-10:30																			
10月7日(日)	10:40-12:10																			
10月7日(日)	13:00-14:30																			
10月7日(日)	14:40-16:10																			

**GRADUATE SCHOOL
OF MEDICINE**

**Master's
Course**

Major in Nursing Science

【看護学専攻】



**KAGAWA
UNIVERSITY**